

平成 25 年 度

川 越 市 の 教 育



川越市教育委員会



川越市民憲章

先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きること誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りがたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうろおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心豊かな市民として、活力にみちたまちにします。



目 次

は　じ　め　に	1
教　育　行　財　政	2
教育委員会委員紹介	2
教育委員会議案等（平成24年度）	3
川越市教育振興基本計画	5
教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価	8
平成25年度教育行政の基本方針と重点施策	8
教　育　財　政	10
平成25年度並びに平成24年度教育費当初予算（歳出）	11
学　校　教　育	15
教育センターの概要	15
委嘱学校研究等一覧	19
教育相談事業の概要	20
特別支援教育の概要	23
情報教育の概要	24
英語指導助手配置事業の概要	25
校種間連携教育の概要	26
各種事業の概要	27
学　校　保　健	29
児童生徒の体位	31
児童生徒の「新体力テスト」平均値	32
学　校　給　食	33
社　会　教　育	36
社会教育の充実	36
公　民　館	41
図　書　館	44
博　物　館	47
学　童　保　育	50
文　化　財　保　護	51
文化財の保存	51
文化財の活用	53
新指定文化財	54
国指定史跡「河越館跡」	55
市指定史跡「永島家住宅（旧武家屋敷）」	57
資　料	58

表紙写真について

河越流鏑馬

河越流鏑馬は国指定史跡河越館跡の活用事業として平成24年11月17日に実施した。河越館跡は、鎌倉時代に活躍した中世武士河越氏の館の跡である。この時代の武士たちは戦いに備えて日々武芸の鍛錬を怠らなかった。馬を馳せつつ弓矢で的を射る流鏑馬もこうした武芸のひとつであった。この行事は、鎌倉時代に行われたであろう流鏑馬を今に再現し、見学者に当時の河越館の様子を思い描いてもらうものである。会場には馬場と呼ばれる直線コースを設置し、疾走する馬の上から3つの的を連続して射抜く。走っている馬の上から続けざまに的を射抜くのはとても難しく、3つの的をすべての的中させるのには高い技術が必要である。

は じ め に

近年の社会状況は、少子高齢化、国際化、情報化、環境問題、人々の価値観の多様化など急激に変化しており、教育分野においてもいじめ・不登校、学ぶ意識の低下、家庭や地域の教育力の低下などさまざまな問題が生じています。

川越市教育委員会では、教育を取り巻く環境の変化に対応するため、これまで、第三次川越市総合計画の施策の基本目標である「学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち」の実現に向け、さまざまな施策に取り組んでまいりました。

また、平成23年2月に策定した「川越市教育振興基本計画」（平成23年度～27年度）においては、「生きる力と学びを育む川越市の教育」を基本理念とし、「次代を担いたくましく生きる児童生徒の育成」「ふれあいと思いやりのある地域社会の実現」「心豊かで生きがいを持てる市民社会の実現」の3つの教育目標を定め、この目標に基づいて次の5つの方向性を示しました。

- 1 生きる力を育む学校教育の推進
- 2 活力ある地域を創る生涯学習の推進
- 3 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
- 4 多文化共生と国際交流・協力の推進
- 5 生涯スポーツの推進

この5つの方向性を本市の教育行政の基本方針とし、毎年度、重点施策を定めるとともに、川越市教育振興基本計画の進行管理と併せ、事務事業の点検評価を行いながら計画的に施策・事業を推進しております。

これにより、知・徳・体のバランスがとれ、自立して社会で生き抜いていくための力を身に付け、将来の川越を担うことのできる子どもたちの育成を図っていきたいと考えております。

更に、学校・家庭・地域が連携を強め、地域ぐるみで子どもたちの生きる力を育むとともに、社会教育・地域教育の充実を図るため、市民の学習環境や機会の整備を推進してまいります。

本冊子は、平成25年度における本市の教育行政及び各教育機関の概要をとりまとめたものです。

市民の皆様及び関係各位におかれましては、本冊子をご活用の上、本市教育行政への認識・理解をより一層深めていただき、「生きる力と学びを育む川越市の教育」の実現に向けてご協力いただければ幸いです。

川越市教育委員会

教育委員会委員紹介



委員長
梶川 牧子



委員長職務代理者
長谷川 均



委員
原田 由美



委員
長井 良憲



教育長
伊藤 明

川越市教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育に関する事務を管理及び執行するために設置された合議制の機関である。5人の教育委員で組織され、そのうち1人が委員長として教育委員の互選により選出され、会議を主宰し、教育委員会を代表する。更に、委員長を除く教育委員の中から、教育長が教育委員会により任命され、教育委員会の権限に属する事務をつかさどる。その事務を処理、執行するための組織として事務局が設置されている。

委員・教育長

職 名	氏 名	現 任 期
委員長	かじ かわ まき こ子 梶川 牧子	平成22年12月28日～平成26年12月27日
委員長職務代理者	は せ がわ ひとし 長谷川 均	平成25年4月1日～平成29年3月31日
委員	はら だ ゆ み美 原田 由美	平成25年4月1日～平成29年3月31日
委員	なが い よし のり 長井 良憲	平成25年4月1日～平成29年3月31日
教育長	い とう あきら 伊藤 明	平成25年4月1日～平成29年3月31日

会議の開催状況等（平成24年度）

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
定 例 会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨 時 会 議													0
学 校 訪 問 (研究発表訪問・卒業式含む)							1	2				4	7

○教育委員会議案等（平成24年度）

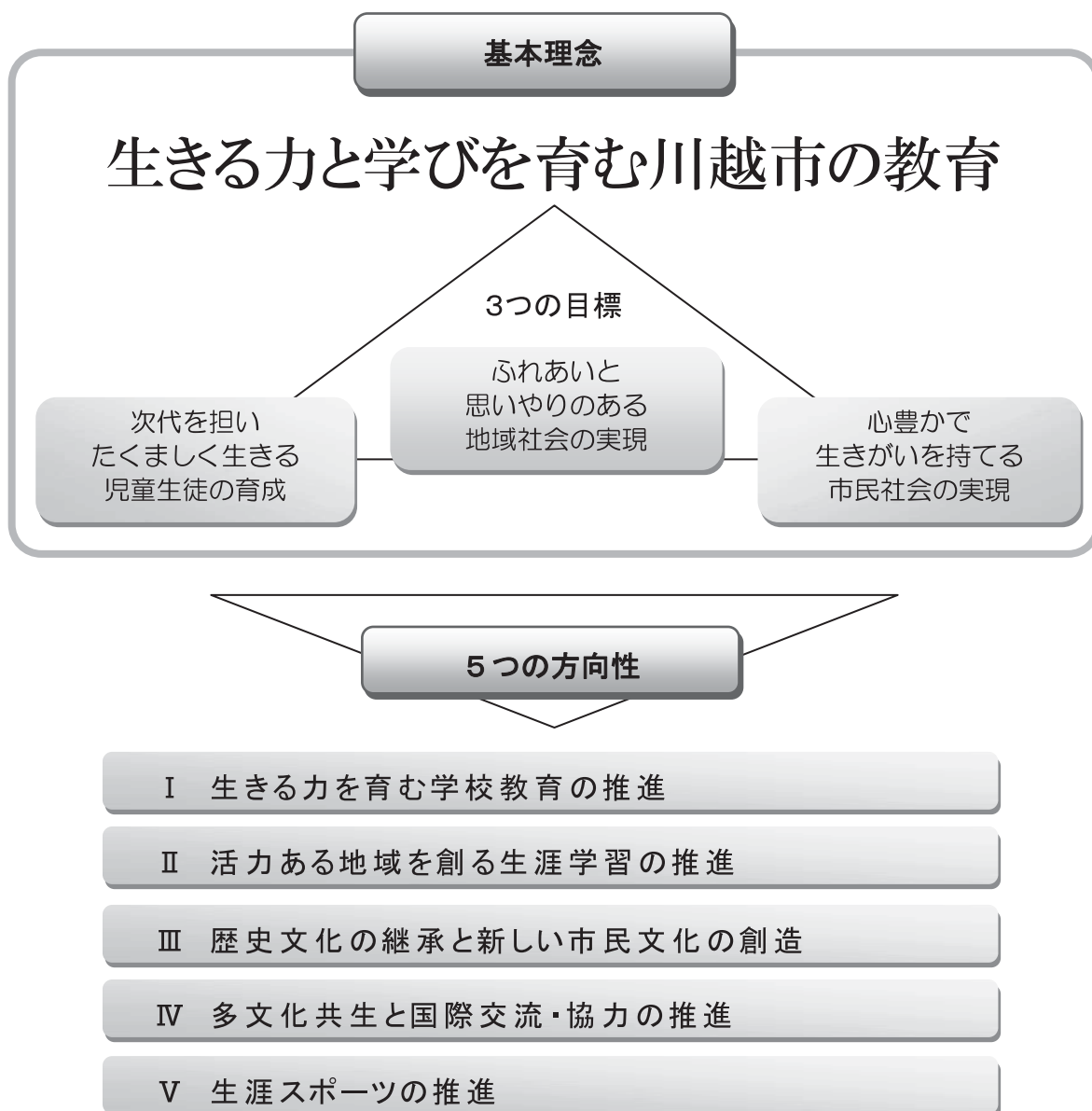
会議名	開会日	議案番号等	案 件 名
第1回 定例会	H24. 4. 23	議案第1号	川越市立高等学校通則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第2号	川越市公民館運営審議会委員を委嘱することについて
		議案第3号	川越市立図書館協議会委員を委嘱することについて
		報告事項	平成23年度川越市立学校職員の人事評価実施結果報告について
		報告事項	学校給食食材等の放射性物質の検査について
第2回 定例会	H24. 5. 17	議案第4号	一件三千万円以上の工事計画について
		議案第5号	平成24年度一般会計補正予算(教育委員会所管分)について
		議案第6号	川越市学童保育室条例の一部を改正する条例を定めることについて
		議案第7号	川越市社会教育委員を委嘱することについて
		議案第8号	川越市公民館運営審議会委員を委嘱することについて
		議案第9号	川越市立博物館協議会委員を委嘱することについて
		議案第10号	川越市立学校給食センター運営委員会委員を委嘱することについて
第3回 定例会	H24. 6. 28	議案第11号	県費負担教職員の人事に関する内申について
		議案第12号	川越市教育委員会の活動の点検評価委員会の委員の委嘱について
		議案第13号	川越市教育委員会職員人事について
		報告事項	川越市立芳野小学校耐震補強工事請負契約について
		報告事項	川越市立川越第一中学校耐震補強工事請負契約について
		報告事項	川越市立東中学校耐震補強工事請負契約について
		報告事項	川越市立砂中学校耐震補強工事請負契約について
		報告事項	川越市立大東中学校耐震補強工事請負契約について
		報告事項	川越市立鯨井中学校耐震補強工事請負契約について
第4回 定例会	H24. 7. 23	議案第14号	平成25年度使用川越市立川越高等学校用教科用図書を採択することについて
		議案第15号	平成25年度使用川越市立特別支援学校用教科用図書を採択することについて
		議案第16号	川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員を委嘱することについて
		議案第17号	川越市川越伝統的建造物群保存地区保存計画の一部を変更することについて
		報告事項	平成23年度「包括外部監査の結果報告書」に基づく措置状況について
		協議事項	教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について
第5回 定例会	H24. 8. 20	議案第18号	平成24年度一般会計補正予算(教育委員会所管分)について
		議案第19号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について
		報告事項	いじめの実態と今後の取組について
		報告事項	平成21年度及び平成23年度「包括外部監査の結果報告書」に基づく措置状況について
		報告事項	「川越市幼児教育振興プログラム」について
		報告事項	川越市立特別支援学校の平成25年度生徒募集について

会議名	開会日	議案番号等	案 件 名
第 6 回 定例会	H24. 9. 24	議案第20号	平成25年度当初教職員人事異動の方針・細部事項について
		報告事項	市内中学生による傷害事件に係るいじめ問題の今後の対応について
第 7 回 定例会	H24. 10. 15	議案第21号	県費負担教職員の人事に関する内申について
		報告事項	いじめ問題への対応について
第 8 回 定例会	H24. 11. 12	議案第22号	平成25年度一般会計予算(教育費)要求について
		議案第23号	川越市公民館使用条例の一部を改正する条例を定めることについて
		議案第24号	川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員を委嘱することについて
		報告事項	平成23年度人事行政の運営等の状況の公表について
		報告事項	平成25年度川越市立川越高等学校生徒募集要項について
		報告事項	いじめ問題への対応について
第 9 回 定例会	H24. 12. 20	議案第25号	川越市教育委員会職員人事について
		議案第26号	川越市立図書館協議会委員を委嘱することについて
		議案第27号	川越市川越伝統的建造物群保存地区保存計画の一部を変更することについて
		報告事項	いじめ問題への対応について
第10回 定例会	H25. 1. 28	議案第28号	川越市指定文化財の指定を解除することについて
		報告事項	いじめ問題への対応について
		報告事項	川越市公民館関係条例の改正について
		報告事項	県費負担教職員の退職について
第11回 定例会	H25. 2. 18	議案第29号	平成25年度教育行政の基本方針と重点施策について
		議案第30号	平成25年度学校教職員管理職人事について
		議案第31号	川越市立小中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第32号	川越市立学校職員服務規程の一部を改正する規程を定めることについて
		議案第33号	平成24年度一般会計補正予算(教育委員会所管分)について
		議案第34号	川越市文化財保護審議会委員を委嘱することについて
		報告事項	平成15年度～平成23年度「包括外部監査の結果報告書」に基づく措置状況について
第12回 定例会	H25. 3. 22	報告事項	いじめ問題への対応について
		議案第35号	川越市教育委員会職員人事について
		議案第36号	川越市職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する訓令を定めることについて
		議案第37号	川越市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第38号	川越市指定文化財を指定することについて
		報告事項	いじめ問題への対応について
		報告事項	川越市立川越高等学校授業料等減免審査基準を定めることについて

川越市教育振興基本計画

「川越市教育振興基本計画」は、本市の教育振興のために必要な施策を、総合的かつ計画的に推進するために策定した。

1. 計画の全体像



2. 計画の期間

本計画の計画期間は、平成23年度（2011年度）から平成27年度（2015年度）までの5年間とする。

3. 施策体系

◎印は計画期間内に重点的に取り組む施策である。

方向性Ⅰ－生きる力を育む学校教育の推進

施策	施策の柱	細施策
1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進	◎(1)確かな学力の育成	①学力向上対策の推進 ②市独自の少人数学級編制の推進
	(2)教育に関する3つの達成目標の推進	①学力(読む・書く・計算)向上の推進 ②規律ある態度の育成 ③体力向上の推進
	◎(3)校種間連携の推進	①小学校・中学校連携の推進 ②中学校・市立川越高等学校連携の推進 ③幼稚園・保育園・小学校連携の推進
	(4)生徒指導の充実	①道徳教育の充実 ②いじめ・不登校対策の推進 ③教育相談の充実 ④関係機関との連携事業 ⑤いきいき登校サポートプランの推進
	(5)進路指導・キャリア教育の充実	①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実
	(6)科学体験活動の推進	①科学わくわくラーニングプログラム事業の推進
	(7)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進	①学校評議員制度の充実 ②地域人材活用事業の充実 ③日本語指導ボランティアの充実
	◎(8)教職員の資質向上	①経験・職能別研修の充実 ②管理職等研修の充実 ③奨励研修の充実 ④かわごえ異業種体験研修事業の推進 ⑤大学等進学指導力向上研修の推進
	(9)特別支援教育の充実	①就学支援委員会の充実 ②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実 ③特別支援教育の理解・啓発の推進 ④市立特別支援学校のセンター的機能の充実
	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進	①英語指導助手(AET)の配置事業の充実 ②小学校外国語活動の推進 ③中学校英語教育の充実 ④国際理解教育の推進
	(11)情報教育の推進	①ICT教育の推進 ②情報モラル教育の推進 ③コンピュータ施設・設備の充実と活用
	(12)読書活動の推進	①読書活動啓発推進事業 ②図書館司書による読書活動の推進 ③図書館から学校への団体貸出の推進
	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進	①学校保健活動の推進 ②安全・安心の推進 ③体力向上の推進
	(14)学校の評価充実	①人事評価の充実 ②学校評価の充実
2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実	◎(1)学校施設の整備・充実	①学校施設の耐震化の推進 ②大規模改造工事等学校施設の整備の推進
	(2)小・中学校の適正配置と通学区域の弾力化	①小・中学校の通学区域・規模等の検討
	(3)学校図書館の充実	①司書教諭・図書整理員の配置 ②蔵書の充実
	◎(4)学校給食の充実	①食育の推進 ②給食内容の充実 ③学校給食施設の整備
	(5)市立川越高等学校の改革・充実	①市立川越高等学校将来構想の検討と推進
	(6)教育センターの充実	①教育センターの整備・開放の充実 ②家庭・地域との連携研修の充実

方向性Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進

施策	施策の柱	細施策
1 家庭・地域の教育力の向上	(1)家庭への支援	①家庭教育の充実 ②学童保育の充実
	◎(2)地域の教育力の向上	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備 ②学びを支援するシステムの整備 ③社会教育関係団体への支援
2 生涯にわたる学習活動の推進	◎(1)生涯学習推進体制の確立	①生涯学習推進のための拠点施設設置 ②社会教育職員研修の充実
	(2)多様な学習機会の創設	①学習情報の提供システム整備 ②生涯学習に関する意識調査の実施 ③町内公民館講座の開設支援
	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供	①ライフステージにおける課題の学習 ②現代的課題の学習 ③地域の教育活動を支援
	(4)人権教育の充実	①学校教育における人権教育推進事業 ②人権啓発活動の推進 ③人権教育指導者の養成 ④関係機関・団体等との連携
3 生涯学習環境の整備・充実	◎(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実	①公民館の設置 ②既存公民館の整備・充実
	(2)図書館サービス網の整備・充実	①図書館サービス網の充実 ②図書館資料・情報提供サービス機能の充実 ③図書館を活用した学習活動の推進
	◎(3)博物館の整備・充実	①展示機能の充実 ②郷土資料の収集・保存 ③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化 ④博物館・蔵造り資料館の整備
	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進	①川越シティカレッジの開催 ②大学と連携した人材の育成

方向性Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

施策	施策の柱	細施策
1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用	①文化財の保護と活用 ②文化財保護意識の啓発 ③民俗文化財の保存と後継者の育成 ④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実 ⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業 ⑥河越館跡地等の整備・活用
	◎(2)川越らしい文化芸術の振興	①連携・協働による新たな文化芸術の創造 ②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり ③特色ある文化芸術拠点の整備
	(3)文化芸術に触れる機会づくり	①文化芸術が身近にある環境づくり ②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり
	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進	①文化芸術活動への支援 ②文化芸術活動の場の整備 ③文化交流の促進

方向性Ⅳ－多文化共生と国際交流・協力の推進

施策	施策の柱	細施策
1 多文化共生と国際交流・協力の推進	(1)行政の国際化	①共生意識を醸成するための相互理解の推進 ②留学生の支援
	◎(2)国際感覚に優れた市民の育成	①人材の開発と育成 ②NGOなどとの協力と連携 ③地域の国際化推進体制の整備
	(3)姉妹都市交流の更なる充実	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化 ②新しい地域、都市との交流創出

方向性Ⅴ－生涯スポーツの推進

施策	施策の柱	細施策
1 生涯スポーツの推進	(1)スポーツ活動の推進	①総合型地域スポーツクラブの設置・育成 ②スポーツ教室・大会等の充実
	◎(2)スポーツ環境基盤整備	①スポーツ指導者等の養成・活用 ②スポーツ施設等の整備・充実

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）、各教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することになった。

川越市教育委員会においても、平成20年度から前年度に実施した事務について点検及び評価を行っている。

また、平成23年度から川越市教育振興基本計画の施策を点検及び評価の対象とし、川越市教育振興基本計画の進行管理と併せて、教育に関する学識経験を有する者の知見を活用し、実施することとした。

なお、平成22年度から文化及びスポーツに関する事務は、教育委員会から市長部局に移管されているが、川越市教育振興基本計画の進行管理の中で、市長部局における事務事業の点検及び評価も併せて実施していく。

平成25年度教育行政の基本方針と重点施策

近年の社会状況は、少子高齢化の進行、情報化の進展、社会経済のグローバル化など急激に変化している。教育分野においては、家庭や地域の教育力の低下、学校におけるいじめ・不登校、児童生徒の目的意識の欠如や意欲・体力の低下などさまざまな問題が生じている。

また、学校施設等の老朽化や更新需要の増大に対応するため、計画的な施設整備が急務となっている。

次代を担う子どもたちが変化の激しい社会を生き、心豊かに成長していくためには、学校、家庭、地域が連携・協力し、子どもたちの「生きる力」を育み、市民一人ひとりが思いやりや生きがいを持てる社会の実現が必要である。

川越市と川越市教育委員会では、川越市教育振興基本計画の5つの方向性を本市の教育行政の基本方針とし、今年度の重点施策を定め、総合的、計画的に施策を推進していく。

＜基本方針及び重点施策＞

川越市教育振興基本計画の「5つの方向性」を基本方針とし、重点施策を定める。

方向性Ⅰ 「生きる力を育む学校教育の推進」

1. 確かな学力の育成
2. 校種間連携の推進
3. 生徒指導の充実
4. 教職員の資質向上
5. 学校施設の整備・充実
6. 学校給食の充実
7. 市立川越高等学校の改革・充実

方向性Ⅱ 「活力ある地域を創る生涯学習の推進」

1. 家庭への支援
2. 地域の教育力の向上
3. 生涯学習推進体制の確立
4. 身近な学習施設としての公民館の整備・充実
5. 図書館サービス網の整備・充実
6. 博物館の整備・充実

方向性Ⅲ 「歴史文化の継承と新しい市民文化の創造」

1. 文化財・伝統芸能等の保存及び活用
2. 川越らしい文化芸術の振興

方向性Ⅳ 「多文化共生と国際交流・協力の推進」

1. 国際感覚に優れた市民の育成

方向性Ⅴ 「生涯スポーツの推進」

1. スポーツ活動の推進
2. スポーツ環境基盤整備

平成25年度 教育行政の重点施策

○方向性Ⅰ 生きる力を育む学校教育の推進

1. 確かな学力の育成
 - ①学力向上対策の推進
 - ②各学校の課題に応じた学校支援事業の推進
2. 校種間連携の推進
 - ①小学校・中学校連携の推進
 - ②中学校・市立川越高等学校連携の推進
3. 生徒指導の充実
 - ①道徳教育の充実
 - ②いじめ・不登校対策の推進
 - ③教育相談の充実
 - ④いきいき登校サポートプランの推進
4. 教職員の資質向上
 - ①経験・職能別研修の充実
 - ②管理職等研修の充実
 - ③奨励研修の充実
 - ④かわごえ異業種体験研修事業の推進
 - ⑤大学等進学指導力向上研修の推進
5. 学校施設の整備・充実
 - ①大規模改造工事等学校施設の整備の推進
6. 学校給食の充実
 - ①食育の推進
 - ②給食内容の充実
 - ③学校給食施設の整備
7. 市立川越高等学校の改革・充実
 - ①市立川越高等学校将来構想の検討と推進

○方向性Ⅱ 活力ある地域を創る生涯学習の推進

1. 家庭への支援
 - ①学童保育の充実
2. 地域の教育力の向上
 - ①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備
 - ②学びを支援するシステムの整備

3. 生涯学習推進体制の確立
 - ①生涯学習推進のための拠点施設設置
4. 身近な学習施設としての公民館の整備・充実
 - ①公民館の設置
 - ②既存公民館の整備・充実
5. 図書館サービス網の整備・充実
 - ①図書館資料・情報提供サービス機能の充実
6. 博物館の整備・充実
 - ①展示機能の充実
 - ②教育普及事業の充実と学校教育との連携強化

○方向性Ⅲ 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

1. 文化財・伝統芸能等の保存及び活用
 - ①文化財の保護と活用
 - ②河越館跡地等の整備・活用
2. 川越らしい文化芸術の振興
 - ①連携・協働による新たな文化芸術の創造
 - ②特色ある文化芸術拠点の整備

○方向性Ⅳ 多文化共生と国際交流・協力の推進

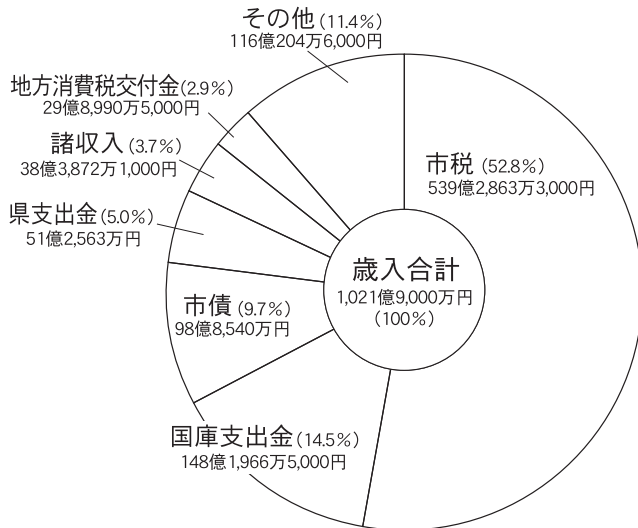
1. 国際感覚に優れた市民の育成
 - ①人材の開発と育成
 - ②NGOなどとの協力と連携
 - ③地域の国際化推進体制の整備

○方向性Ⅴ 生涯スポーツの推進

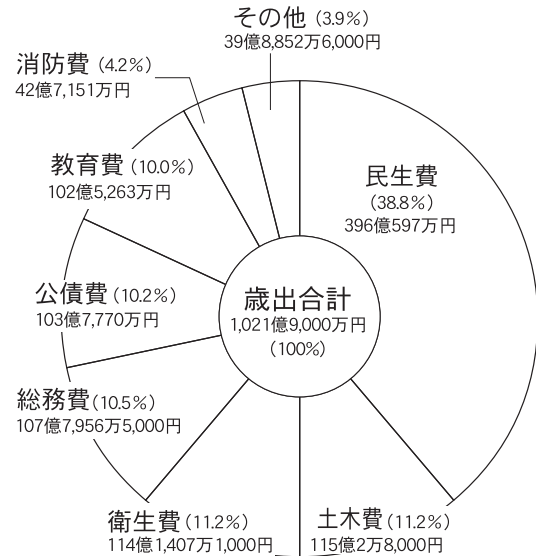
1. スポーツ活動の推進
 - ①総合型地域スポーツクラブの設置・育成
 - ②スポーツ教室・大会等の充実
2. スポーツ環境基盤整備
 - ①スポーツ指導者等の養成・活用
 - ②スポーツ施設等の整備・充実

教育 財 政

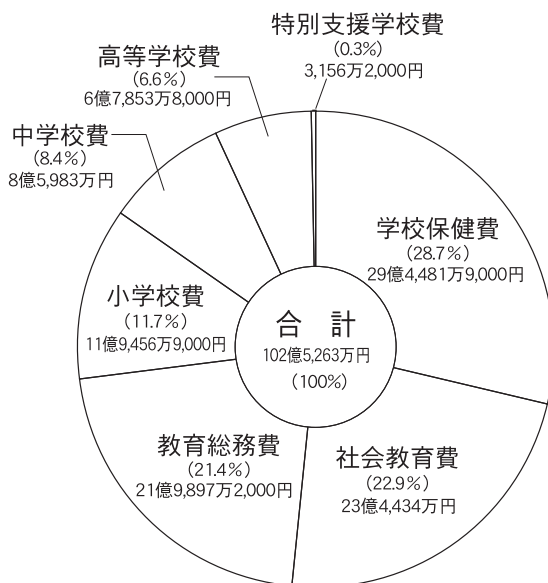
平成25年度 川越市一般会計歳入（当初予算）



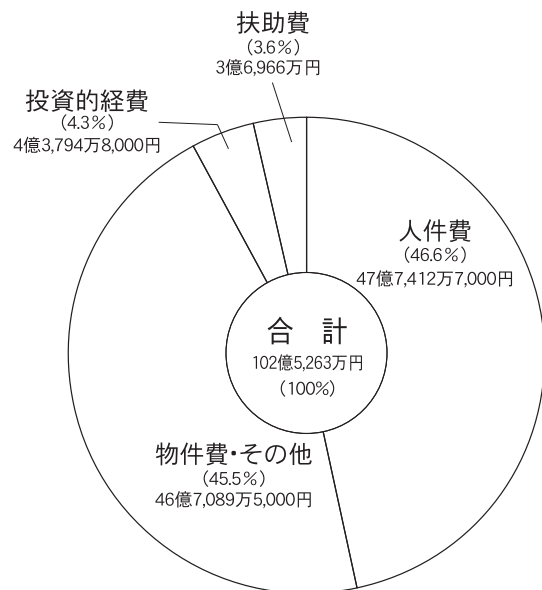
平成25年度 川越市一般会計歳出（当初予算）



平成25年度 教育費目的別当初予算の構成



平成25年度 教育費性質別当初予算の構成



平成25年度 主な事業

- オールマイティーチャーター配置
- 学童保育室運営管理
- スクールボランチ作戦
- 時の鐘耐震診断
- ネットパトロール
- 山王塚古墳調査
- 英語指導助手配置
- 中央図書館利用者用エレベーター改修工事
- 小学校大規模改造
- 新学校給食センターPFIアドバイザー業務委託
- 中学校大規模改造

平成25年度並びに平成24年度教育費当初予算(歳出)

(単位：千円・%)

費 目		25年度当初予算	24年度当初予算	比較増減額	対前年度比率
一 般 会 計 総 額		102,190,000	100,570,000	1,620,000	1.6
教 育 費 総 額		10,252,630	9,938,755	313,875	3.2
項 目					
1. 教育総務費		2,198,972	2,036,950	162,022	8.0
	1. 教 育 委 員 会 費	4,832	4,908	△76	△1.5
	2. 事 務 局 費	1,398,310	1,407,094	△8,784	△0.6
	3. 幼 児 教 育 奨 励 費	789,401	0	789,401	皆増
	4. 諸 費	6,429	624,948	△618,519	△99.0
2. 小学校費		1,194,569	1,176,229	18,340	1.6
	1. 学 校 管 理 費	873,535	855,193	18,342	2.1
	2. 教 育 振 興 費	175,420	185,357	△9,937	△5.4
	3. 学 校 建 設 費	145,614	135,679	9,935	7.3
3. 中学校費		859,830	939,334	△79,504	△8.5
	1. 学 校 管 理 費	667,845	746,935	△79,090	△10.6
	2. 教 育 振 興 費	179,985	178,399	1,586	0.9
	3. 学 校 建 設 費	12,000	14,000	△2,000	△14.3
4. 高等学校費		678,538	690,110	△11,572	△1.7
	1. 高 等 学 校 総 務 費	678,172	689,744	△11,572	△1.7
	2. 教 育 振 興 費	366	366	0	0.0
5. 特別支援学校費		31,562	16,436	15,126	92.0
	1. 特 別 支 援 学 校 費	31,562	16,436	15,126	92.0
6. 社会教育費		2,344,340	2,190,958	153,382	7.0
	1. 社 会 教 育 総 務 費	1,151,921	1,102,674	49,247	4.5
	2. 学 童 保 育 費	510,402	472,157	38,245	8.1
	3. 人 権 教 育 費	9,676	11,143	△1,467	△13.2
	4. 文 化 財 保 護 費	87,097	78,462	8,635	11.0
	5. 博 物 館 管 理 費	66,987	63,524	3,463	5.5
	6. 公 民 館 費	201,696	167,075	34,621	20.7
	7. 図 書 館 費	316,448	295,864	20,584	7.0
	8. コミュニティセンター管理費	113	59	54	91.5
7. 学校保健費		2,944,819	2,888,738	56,081	1.9
	1. 学 校 保 健 総 務 費	1,142,213	1,118,844	23,369	2.1
	2. 学校給食センター管理費	1,802,606	1,769,894	32,712	1.8

児童生徒 1 人当たり教育費及び需用費

(単位：円)

種別 \ 年度	22		23		24(決算見込み)		25(当初予算)	
		左のうち 需用費		左のうち 需用費		左のうち 需用費		左のうち 需用費
小 学 校	49,582	23,576	57,260	27,160	45,598	23,174	48,946	23,855
中 学 校	74,810	31,680	82,070	31,146	83,159	30,716	79,054	32,183
市 立 高 校	782,316	46,887	778,208	45,161	765,055	47,851	793,184	50,119
特 別 支 援 学 校	336,078	86,034	327,784	84,850	331,434	84,138	671,532	82,362

育英資金の貸付制度

目 的	経済的な理由により高等学校等の学校へ進学することが困難な方の経済的自立を助成し、併せてその才能を育成するために貸付を行う。			
対 象 者	次の条件を満たしている方 ・市内に引き続き 6 カ月以上住所を有する方 ・高等学校・中等教育学校（後期課程に限る）・高等専門学校・大学（短期大学を含む）・専修学校に入学する方、又は在学中の方 ・心身健全であり、かつ、学業成績の良好な方			
貸付金額	区 分	貸 付 金 額		
	学資金（月額）	高等学校 中等教育学校（後期課程に限る） 専修学校	国公立	13,000円
			私 立	20,000円
		高等専門学校		16,000円
		大学（短期大学を含む）		30,000円
	入学準備金	高等学校 中等教育学校（後期課程に限る） 専修学校	国公立	150,000円
			私 立	280,000円
		高等専門学校		160,000円
		大学（短期大学を含む）		360,000円
手 続	貸付を希望する方は、教育委員会が定める申請書に必要事項を記入し、選考に必要となる書類を添付して教育委員会へ提出する。			
償 還	貸付を受けた方が卒業して 6 カ月後は返済猶予期間になる。 猶予期間終了後、貸付期間の 2 倍の期間によって償還しなければならない。			

過去 3 年間の貸付状況

(単位：人・円)

種別 \ 年度	22		23		24	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
学 資 金	144(51)	42,674,000	144(39)	41,753,000	125(34)	36,232,000
入 学 準 備 金	23	6,090,000	22	6,730,000	27	6,850,000

()内は新規・内数

平成25年度 就学援助

目 的	経済的な理由により就学が困難な児童及び生徒の保護者に対して必要な援助を行うことによって、義務教育の円滑な実施に資する。			
対象世帯	次の条件を満たしている世帯 ・平成25年度中に「生活保護が停止、または廃止」になった世帯 ・平成25年度に「世帯全員が住民税非課税」の世帯 ・児童扶養手当法による「児童扶養手当」を受給中の世帯 ・生活保護世帯に準ずる程度に困窮している世帯			
援助内容	支給項目	支給金額（年額）		備 考
		小学生	中学生	
	新入学児童 生徒学用品費	19,900円	22,900円	1年生の4月認定者のみ支給
	学用品費等	1年生：12,610円	1年生：23,880円	5月以降の認定の場合、左の額を月割し、該当月数分を支給
		2～6年生：14,780円	2～3年生：26,050円	
	校外活動費（泊有）	上限：3,470円	上限：5,840円	交通費・見学科が支給対象
	修学旅行費	対象経費の実費		団体行動以外の経費、アルバム代などは対象外
	学校給食費	4,000円×11カ月	4,900円×11カ月	欠食等による減額や学校給食費が変更された場合には、その金額（ただし、認定月からの支給）
	通学費	実 費		通学区域外の特別支援学級に公共交通機関で通学している場合のみ
医療費	医療券の交付 学校から治療の勧告を受けた指定の疾患のみ		認定後の事務については <u>教育指導課</u> で取り扱う	
手 続	就学援助の受給を希望する保護者は、教育委員会が定める申請書に必要事項を記入し、認定審査に必要な書類を添付して教育委員会へ提出する。			

平成24年度実績

（単位：人、円）

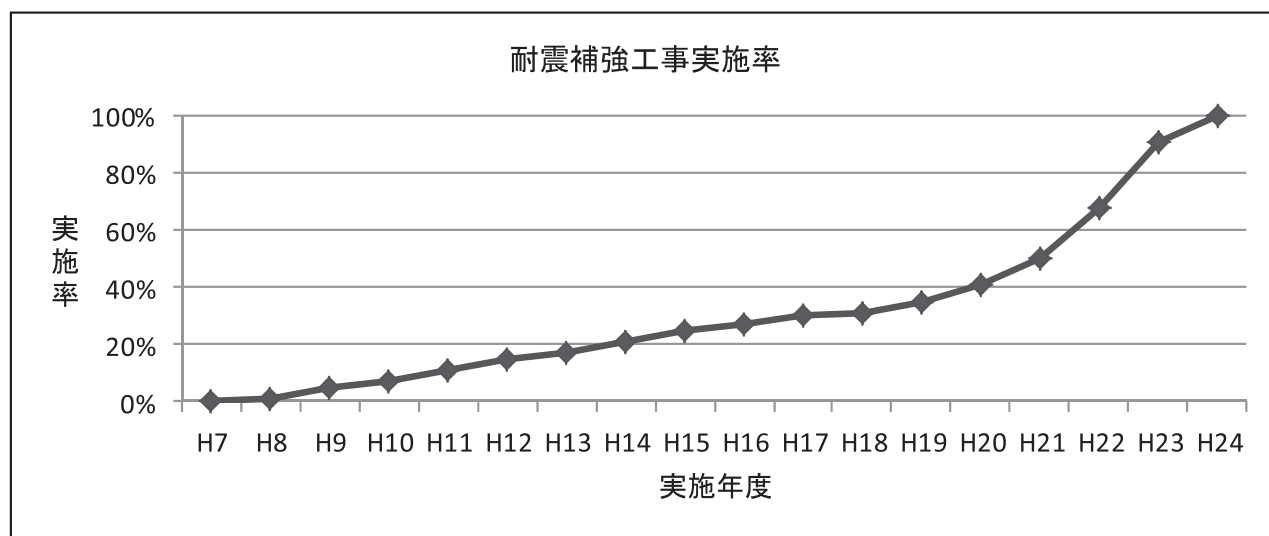
	小学校		中学校		合計	
	対象者	支給額	対象者	支給額	対象者	支給額
新入学児童生徒学用品費	288	5,731,200	505	11,564,500	793	17,295,700
学用品費、通学用品費、校外活動費（宿泊を伴わないもの）	2,626	36,715,714	1,633	40,176,410	4,259	76,892,124
校外活動費（宿泊を伴うもの）	472	1,547,940	334	1,509,690	806	3,057,630
修学旅行費	531	9,448,900	551	25,799,200	1,082	35,248,100
通学費	0	0	6	313,930	6	313,930
学校給食費	2,625	110,485,721	1,622	83,505,996	4,247	193,991,717
合 計		163,929,475		162,869,726		326,799,201

（単位：件、円）

	小学校		中学校		合計	
	対象	支給額	対象	支給額	対象者	支給額
医 療 費	229	1,284,747	158	958,657	387	2,243,404

小中学校施設の耐震補強工事実施状況

平成7年度から耐震診断調査を実施し、平成8年度から耐震補強工事を実施している。
平成24年度で、全学校施設の耐震化が完了した。



耐震補強工事実施 * 重層体育館は校舎に含む。

	耐震補強工事実施棟数						耐震補強 工事対象 棟数	工事 実施率
	小学校		中学校		計	累計		
	校舎	体育館	校舎	体育館				
平成8年度	1	0	1	0	2	2	169	1%
平成9年度	3	0	3	0	6	8	169	5%
平成10年	度1	0	3	0	4	12	169	7%
平成11年	度1	0	3	0	7	19	169	11%
平成12年	度3	0	3	0	6	25	169	15%
平成13年	度2	0	2	0	4	29	169	17%
平成14年	度3	0	4	0	7	36	169	21%
平成15年	度6	0	1	0	7	43	169	25%
平成16年	度1	0	2	0	3	46	169	27%
平成17年	度3	0	1	0	4	50	169	30%
平成18年	度1	0	2	0	3	53	169	31%
平成19年	度3	0	3	0	6	59	169	35%
平成20年	度6	0	4	0	10	69	169	41%
平成21年度	14	0	0	1	15	84	169	50%
平成22年度	13	12	0	6	31	115	169	68%
平成23年度	26	3	6	3	38	153	169	91%
平成24年度	3	0	12	1	16	169	169	100%

教育センターの概要

教 育 セ ン タ ー

- (1) 名 称 川越市立教育センター
- (2) 所在地 古谷上6083-10（電話 235-7591・ファクス 230-1023）
- (3) 沿 革

昭和56年8月1日	川越市立教育研究所準備室を設置する。
昭和61年4月1日	川越市立教育研究所を設置する。
平成12年4月1日	川越市教育総合相談センター（リベール）を開設する。
平成15年4月1日	中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。
平成19年4月1日	組織改編に伴い、係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。
平成21年4月1日	旧川越市立古谷東小学校を教育研究所（旧古谷東小）施設とする。
平成22年4月1日	川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室（リベール）を設置する。
- (4) 業 務
 - ①教育に関する専門的事項及び技術的事項の調査研究に関すること。
 - ②教育関係職員の研修に関すること。
 - ③教育に関する資料の収集及び提供に関すること。
 - ④教育相談に関すること。
 - ⑤特別支援教育の推進並びに障害のある児童及び生徒の就学支援に関すること。
 - ⑥その他教育の充実及び振興を図るための必要な業務に関すること。
- (5) 職 員
所長、副参事、研修担当、教育相談担当、管理担当、臨時講師、臨床心理士
- (6) 本年度の調査・研究
 - ①児童生徒の学力に関する調査・研究
 - 学力検査等の結果分析に基づく指導方法の工夫・改善に関する研究
 - ②教育に関する3つの達成目標推進に関する調査・研究
 - 検証結果の分析と取組の充実を図る指導方法の研究
 - ③体力向上に関する調査・研究
 - 体力向上事業を推進するための調査、指導方法の研究
 - ④男女平等教育に関する調査・研究
 - 男女共同参画社会の構築に向けた指導方法の研究
 - ⑤情報教育に関する調査・研究
 - ICTを活用した学習指導に関する研究及び情報教育に関する資料の収集整理
 - ⑥小学校外国語活動に関する調査・研究
 - 小学校外国語活動の指導計画・指導方法の研究
 - ⑦特別支援教育推進に関する調査・研究
 - ⑧不登校問題に関する調査・研究



平成25年度研修会実施一覧

分 類			研 修 会 名	実 施 月	対 象		主 催
I 基 本 研 修	1 基 礎 研 修	初任者研修	川越市立小学校初任者研修	通年	教諭等	指定	市
			川越市立中学校初任者研修	通年	教諭等	指定	市
			川越市立高等学校初任者研修	通年	教諭等	指定	県
			川越市立特別支援学校初任者研修	通年	教諭等	指定	県
			川越市立学校初任者栄養教諭研修	通年	栄養教諭	指定	県
		新規採用等 教職員研修	新規採用養護教員研修	通年	養護教諭	指定	県
			新規採用学校栄養職員研修	通年	学校栄養職員	指定	県
			新任学校事務職員研修会	4～7月	学校事務職員	指定	県
			新任学校事務主任研修会	7月	学校事務職員	指定	県
			新任転入等養護教諭研修会	4月	養護教諭	指定	市
			新任転入等学校事務職員研修会	7・9・10月	学校事務職員	指定等	市
			公立小中学校等臨時的任用教員研修会	7月	臨時的任用教員	指定	市
		教職員経験者研修	川越市立小学校5年経験者研修	5～2月	教諭等	指定	市
			川越市立中学校5年経験者研修	5～2月	教諭等	指定	市
			川越市立高等学校5年経験者研修	6～12月	教諭等	指定	県
			川越市立特別支援学校5年経験者研修	6～12月	教諭等	指定	県
			養護教員5年経験者研修	4～10月	養護教諭	指定	県
			学校栄養職員等5年経験者研修	4～10月	学校栄養職員等	指定	県
			川越市立小学校10年経験者研修	5～2月	教諭等	指定	市
			川越市立中学校10年経験者研修	5～2月	教諭等	指定	市
			川越市立高等学校10年経験者研修	通年	教諭等	指定	県
			川越市立特別支援学校10年経験者研修	通年	教諭等	指定	県
			養護教員10年経験者研修	通年	養護教諭	指定	県
			学校栄養職員等10年経験者研修	通年	学校栄養職員等	指定	県
			川越市立学校20年経験者研修	5～2月	教諭等	指定	市
		特別支援教育 新担当教員研修	特別支援学級新担当教員研修会	5・8・10月	教諭等	指定	県
			通級指導教室新担当教員研修会	4～8月	教諭等	指定	県
	2 管 理 職 等 研 修	管理職候補者研修	校長候補者研修会(1・2年次以降)	7月・随時	教頭等	指定	県
			教頭候補者研修会(1・2・3年次以降)	6～11月	教諭等	指定	県
		新任等管理職研修	新任校長・教頭事前研修会	3月	教頭、主幹教諭・教諭等	指定	県
			新任校長・教頭研修会	5～12月	校長・教頭	指定	県
		管理職研修	校長研修会	随時	校長	指定	市・県
			教頭研修会	随時	教頭	指定	市・県
			一人一人を大切に、信頼関係に立つ教育推進教頭研修会	8月	教頭	指定	市
			生きる力をはぐくむ校種間連携教育研修会	7・8・2月	校長・教頭	指定	市
	3 職 能 別 研 修	非常勤職員等研修	特別支援教育支援員研修会	7月	支援員等	指定	市
			特色あるさわやか相談室づくり研修会	4・7・12月	相談員	指定	市
			魅力ある学校図書館をつくる図書整理員研修会	4・7・9・1月	図書整理員	指定	市
			英語指導助手研修会	通年	英語指導助手	指定	市
		主幹教諭研修	主幹教諭研修会	5・8・1月	主幹教諭	指定	市
		教務主任研修	教務主任研修会	5・8・10・1月	教務主任	指定等	市
		学校事務職員研修	学校事務職員研修会	8月	学校事務職員	指定	市
		栄養教諭・学校栄養職員研修	栄養教諭・学校栄養職員研修会	7月	栄養教諭・学校栄養職員	指定等	市
		初任者研修拠点校指導教員等研修	拠点校指導教員等研修会	4・6・10・11・2月	拠点校指導教員等	指定等	市
		学校保健	養護教諭研修会	4・8・10・3月	養護教諭	指定	市
			保健主事研修会	4・8月	保健主事	指定等	市

学 校 教 育

分		類	研修会名	実施月	対象	主催		
Ⅰ	3	職 能 別 研 修	道徳教育	道徳教育推進教師研修会	5・2月	道徳教育推進教師等	指定等	市
			特別支援教育	特別支援教育コーディネーター養成研修会	5・8・1月	特別支援教育コーディネーター等	指定等	市
				就学相談担当者研修会	5月	就学相談担当者等	指定等	市
				特別支援学級担任研修会	7月	特別支援学級担任	全校参加	市
				通級指導教室担当者研修会	4・7・3月	通級指導教室担当者	指定	市
				難聴・言語障害研修会	8月	難聴言語障害通級指導教室担当者	指定・希望	市
			教育相談	学校教育相談コンサルテーション研修会	5・10月	教育相談担当者等	指定等	市
			学校図書館教育	子ども読書活動推進研修会	8月	司書教諭等	指定等	市
			情報教育	管理職のためのICT活用研修会	5月	校長・教頭	指定等	市
				情報化推進リーダー研修会	7・10月	情報化推進リーダー等	指定等	市
			進路指導・キャリア教育	進路指導・キャリア教育研修会	8月	進路・キャリア担当者等	指定等	市
Ⅱ	1	重 点 研 修	教科全般	学力向上研修会	4月	教諭等	全校参加	市
			理科	理科指導力向上研修会	8月	教諭等	全小学校参加	市
			保健体育科	保健体育科授業づくり研修会	8月	保健体育科教諭等	全中学校参加	市
				保健体育科3年経験者研修	6月	保健体育科教諭等	指定等	県
				保健体育科4年経験者研修	6月	保健体育科教諭等	指定等	県
			体育・保健体育科	体力向上全体研修会	2月	体育・保健体育主任等	全校参加	市
			生徒指導	生徒指導主任研修会	7月	生徒指導主任等	全校参加	市
			人権教育	人権教育主任研修会	5月	人権教育主任等	全校参加	市
				人権教育授業研究会	10月	教科主任等	全校参加	市
				男女平等教育研修会	7月	教務主任等	全校参加	市
			環境教育	環境教育研修会	7月	環境教育主任等	全校参加	市
			国際理解教育	国際理解教育研修会	7月・10～2月	国際理解教育主任等	指定等	市
			小学校外国語活動	小学校外国語活動指導者研修会	8月	小学校教諭等	全小学校参加	市
			英語科	英語科授業づくり研修会	7月	中学校教諭等	全中学校参加	市
			幼年期教育	子どものよりよい成長を考える研修会	8月	教諭等	全小学校参加	市
			食育	食に関する指導法研修会	7月	教諭等	全校参加	市
			学級経営	指導力スキルアップ研修会	5～1月	採用2年目教諭等	指定等	市
			学習指導	市立高等学校教員進学指導力向上研修	8月	市立高等学校教諭	推薦	市
			家庭・地域連携	保護者とともに考える研修会	5・10月	教諭等・保護者	指定・希望	市
			情報教育	パソコンホームページ更新研修会	5月	情報教育主任等	全校参加	市
			生徒指導	薬物乱用防止教育研修会	7月	生徒指導主任保健主事等	全校参加	市
			特別支援教育	特別支援教育指導法研修会	8月	採用3年目教諭等	指定	市
			情報教育	ICTスキルアップ研修会	7・8月	採用4年目教諭等	指定	市
2	奨 励 研 修	教 科 等 研 修	国語科	国語科授業づくり研修会（国語力向上コース）	7月	教諭等	希望	市
				国語科授業づくり研修会（読書指導コース）	7月	教諭等	希望	市
			社会科	社会科授業づくり研修会（副読本活用コース）	5月	教諭等	希望	市
				社会科授業づくり研修会（授業づくり基礎コース）	8月	教諭等	希望	市
			算数・数学科	算数・数学科授業づくり研修会（数学的な思考力・表現力コース）	5月	教諭等	希望	市
				算数・数学科授業づくり研修会（楽しい授業づくりコース）	7月	教諭等	希望	市
				算数・数学科授業づくり研修会（個に応じた指導コース）	8月	教諭等	希望	市
			理科	理科授業づくり研修会（新しい授業づくりコース）	8月	教諭等	希望	市
				理科授業づくり研修会（観察・実験指導コース）	8月	教諭等	希望20人	市
				理科授業づくり研修会（教材研究コース）	7月	教諭等	希望15人	市
			英語科	AETと楽しむ英会話研修会	8月	教諭等	希望	市
			生活科	学ぶ楽しさを育む生活科授業づくり研修会	7月	小学校教諭等	希望	市
			音楽科	楽しい音楽科授業づくり研修会	7月	教諭等	希望	市
				やさしい和楽器実技研修会	8月	教諭等	希望30人	市
			図画工作・美術科	楽しい図工・美術科授業づくり研修会（教材づくりコース）	8月	教諭等	希望20人	市
				楽しい図工・美術科授業づくり研修会（アートカード活用コース）	8月	教諭等	希望	市

分 類			研修会名	実施月	対象		主催	
Ⅱ 専 門 研 修	2 奨 励 研 修	教科等研修	技術・家庭科	楽しい技術・家庭科授業づくり研修会（技術分野コース）	8 月	教諭等	希望	市
			技術・家庭科	楽しい技術・家庭科授業づくり研修会（家庭科・家庭分野コース）	8 月	教諭等	希望	市
			体育・保健体育科	体力と運動技能を高める指導法研修会	7 月	教諭等	希望	市
				体育科授業づくり研修会	8 月	小学校教諭等	希望	市
		領域等研修	道徳	豊かな心を育てる道徳教育研修会	7・2 月	教諭等	希望	市
			特別活動	望ましい人間関係づくり研修会	5・8・10 月	教諭等	希望	市
			教育相談	生徒指導・教育相談初級研修会	7・8 月	教諭等	希望	市
				生徒指導・教育相談中級研修会	7・8・10・11 月	教諭等	希望	市
				生徒指導・教育相談上級研修会	4～1 月	教諭等	推薦	県
			情報教育	やさしいパソコン操作Ⅰ研修会（ワープロコース）	7 月	教諭等	希望	市
				やさしいパソコン操作Ⅱ研修会（表計算コース）	7 月	教諭等	希望	市
				パソコンプレゼンテーションⅠ研修会（基本作成コース）	8 月	教諭等	希望	市
	パソコンプレゼンテーションⅡ研修会（応用作成コース）			8 月	教諭等	希望	市	
	パソコンホームページ作成研修会			8 月	管理職・教諭等	希望	市	
	教育課題研修	生徒指導	授業に役立つパソコンⅠ活用研修会（ICTを活用した授業づくりコース）	8 月	教諭等	希望	市	
			授業に役立つパソコンⅡ活用研修会（情報モラル指導コース）	8 月	教諭等	希望	市	
			学級経営研修会	6・8 月	教諭等	希望	市	
		特別支援教育	教師のための話し方研修会	8 月	教諭等	希望	市	
			不登校児童生徒サポート研修会	5・11 月	教諭等	希望	市	
			発達障害の理解と指導法研修会	5・8 月	教諭等	希望	市	
	3 推 進 研 修	特色ある教育	地域学習推進	やまぶき夢ブラン「かわごえ異業種体験研修」	8 月	教諭等	推薦	市
				川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー	8 月	教諭等	全校参加	市
				博物館活用指導者研修会	11 月	教諭等	全校参加	市
				授業に役立つ博物館を活用した体験的な学習研修会	8 月	教諭等	希望	市
		特色ある学校づくり推進	特色ある学校づくり研修会（総合的な学習の時間）	8 月	教諭等	全校参加	市	
			今日的な教育課題の解決を考える研修会	7 月	教諭等	指定等	市	
Ⅲ 特 別 研 修			1 派 遣 研 修	長期研修教員等派遣研修	長期研修教員等派遣研修	通年	教諭等	推薦
	大学院大学派遣研修	通年			教諭等	推薦	県	
	在外教育施設派遣研修	在外教育施設派遣研修		通年	教諭等	推薦	国	
	中央研修	教員研修センター中央研修		随時	教諭等	推薦	国	
	学校と社会の相互交流事業	民間企業等派遣研修		随時	教諭等	推薦	県	
	2 員 会 研 修	県教育委員会研修	特定研修	県立総合教育センター特定研修	随時	教諭等	推薦	県
			専門研修	県立総合教育センター等専門研修	随時	教諭等	指定等	県
			県等主催研修	県教育局各課等における主催研修事業	随時	教諭等	指定等	県
	3 要 請 研 修		訪問指導研修	訪問指導研修	随時	教諭等	希望	市
			来訪指導研修	来訪指導研修	随時	教諭等	指定	市
			教育センター研修	教育センター研修	随時	教諭等	希望	市
	4 特 別 講 習	学校保健		学校環境衛生検査器具取扱い講習会	8 月	新任・転入養教・保健主事	指定	市
				応急手当普及員講習会	8 月	教諭等	指定	市・消
				応急手当普及員再講習（平成19・22年度取得者）	8 月	教諭等	指定	市・消
		教職員健康推進	教職員健康増進講習会	8 月	教諭等	全校参加	市	
		動物飼育	小学校動物飼育講習会	6 月	教諭等	全小学校参加	市	
		学校保健		就学時健康診断等に関する講習会	8 月	就学時健康診断等担当者	全小学校参加	市
				学校歯科保健指導者講習会	11 月	養護教諭	全校参加	市
				普通救命講習会	5 月	教諭等	全校参加	市
				学校プール管理講習会	5 月	教諭等	全校参加	市
	体育・保健体育科	小学校体育実技指導法講習会（水泳）	6 月	教諭等	全小学校参加	市		

※対 象：対象とする教職員の職名等を表している。
 指定＝対象者を指定 全校参加＝各学校から 1 人参加 希望＝校長の承認の下、希望により参加
 指定等＝指定を中心に、その他の参加の場合もあり 推薦＝校長の推薦の下、選考等により認められて参加
 ※主 催：消＝消防署

委嘱学校研究等一覧

1 川越市教育委員会研究委嘱校（2年目）

学校名	教科等	発表予定日	研 究 主 題
①川越小学校	その他	平成25年 11月13日（水）	「人とのかかわりを大切にし、主体的に活動できる児童の育成」～言語活動の充実を目指して～
②中央小学校	理 科 生活科 生活单元	平成25年 10月25日（金）	「自ら問題を見だし、わかる喜びを味わえる児童の育成」～実感を伴った理解を深める理科・生活科・生活单元の指導の工夫～
③仙波小学校	体育科	平成25年 11月22日（金）	「仲間と支え合い、躍動する仙波っ子の育成」～器械運動系を中心とした体育科指導法の研究～
④新宿小学校	特別活動	平成25年 10月30日（水）	「豊かなかかわり合いを通して、自分から進んで活動できる児童の育成」～学級活動を基盤とした、学習づくり生活づくりを通して～
⑤泉小学校	体育科	平成25年 10月18日（金）	「すこやかな心と体をもち、たくましく生きる泉っ子の育成」～運動の楽しさを味わい、主体的に取り組む体育科指導の工夫～
⑥霞ヶ関北小学校	国語科	平成26年 2月7日（金）	「子どもたちの自信を育む国語科教育」～「読むこと」を通して、考えを深め合い自分の思いを豊かに表現できる児童の育成～
⑦川越西小学校	特別活動	平成26年 1月24日（金）	「互いに認め合い よりよい人間関係を築く児童の育成」～思いや考えを伝え合う話し合い活動を通して～
⑧山田中学校	学力向上	平成26年 1月31日（金）	「生徒の自主的行動力を伸ばす」～確かな学力の育成にむけて～
	保健体育科 ※埼玉県体力課題 解決研究指定校	平成25年 11月19日（火）	「自ら学び・考え・実践する体力向上」の推進を目指して～自己課題を設定し、自ら課題解決をすることが出来る生徒の育成～

2 川越市教育委員会研究委嘱校（1年目）

学校名	教科等	研 究 主 題
①川越第一小学校	生活科 理 科	「個性を伸ばし、創造性を育む学習指導の充実」～体験的な活動をとおり、思考力・表現力を伸ばす理科・生活科指導の工夫～
②月越小学校	体育科	「豊かな心とたくましい体の育成」～仲間と豊かに学び、高め合う体育科授業を通して～
③南古谷小学校	体育科	「たくましい体と豊かな心をもつ南古谷っ子の育成」～学習意欲を高め、運動の楽しさを味わう体育科指導の工夫～
④大東東小学校	算数科	「学びのよさを味わえる子どもの育成」～算数科における指導法の改善・工夫を通して～
⑤霞ヶ関小学校	理 科 生活科	「わかる喜び、できる楽しさを味わい、自ら進んで学ぶ子の育成」～理科・生活科の学びあい、認めあいを通して～
⑥霞ヶ関南小学校	図画工作科	「いきいき表現 育てよう確かな力」～一人一人の思いや願いを大切に、豊かな表現のできる児童の育成～
⑦山田小学校	体育科	「進んで運動に取り組む運動好きな山田っ子の育成」
⑧高階西中学校	教科指導	「一人一人の生徒が生き生きと学ぶ指導法の研究」

※委嘱学校研究校は2年計画で行っている。

2年目の8校は平成24、25年度の委嘱学校研究校、1年目の8校は平成25年度からの委嘱学校研究校。

教育相談事業の概要

1. 川越市立教育センター分室（リバーラ）

(1) 所在地 的場2649-1（電話 234-8333・ファクス 234-8337）

(2) 沿革

昭和39年	川越市教育相談室を川越小学校内に開設
昭和53年	中央小学校内に移設（川越小学校校舎改修のため）
昭和55年	初雁中学校内に移設（中央小学校校舎改修のため）
昭和56年	川越小学校内に移設（川越小学校新築に伴い）
昭和58年	電話相談室を川越小学校内に開設
平成元年	学校カウンセラー室を川越小学校内に開設
平成6年	学校適応指導教室を中央公民館内に開設
平成12年	川越市教育総合相談センター（リバーラ）の開設
平成15年	中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる
平成22年	川越市立教育センター分室（リバーラ）の開設

(3) 設置の目的

川越小学校及び中央公民館にあった教育相談室、学校カウンセラー室、電話相談室、学校適応指導教室の各種教育相談機関を統合して、教育相談・適応指導・就学支援等の機能を充実整備するとともに、総合的な運営を図っていくため、旧第三学校給食センター施設を整備し、教育総合相談センター（リバーラ）を開設した。平成22年4月より、川越市立教育センター分室（リバーラ）となり、教育相談・特別支援教育・就学支援等の一層の充実に努めている。

このことにより、児童生徒の多様な悩みに対して、本人、保護者及び教職員にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図ることがより一層可能となった。

(4) 教育相談の内容等

幼児から高校生までの教育に係るさまざまな悩みについて、カウンセリングや遊戯療法を用いて相談援助するとともに、ことばなどの障害や就学に係る相談に応じる。また、不登校の児童生徒に対して、学校への適応指導を行う。更に、学校との連携を図りながら解決にあたるために訪問相談を行う。

未就学児の相談（ことば、きこえ等）も受けており、必要に応じてあけぼの児童園・ひかり児童園の紹介を行う。

①相談内容

- ことばや発達の遅れに関するもの
- 性格や行動に関するもの
- 不登校傾向など学校への不適応に関するもの
- その他
- 精神的な不安や身体に関するもの
- 学齢期のしつけ等に関するもの
- 非行・問題行動に関するもの

②相談受理対象者

川越市内に居住する幼児児童生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員

③相談日時

月曜日から金曜日（受付時間 午前9時～午後5時）

④電話相談

月曜日から金曜日（受付時間 午前9時～午後4時）

⑤いじめ相談直通電話

月曜日から金曜日（祝日を除く）、（受付時間 午前8時30分～午後5時30分）

土曜日・日曜日・祝日（12月29日～1月3日を除く）、（受付時間 午前9時～正午）

⑥いじめ相談電子窓口

川越市公式ホームページから電子メールで相談する。

⑥適応指導（小学生対象教室及び中学生対象教室）

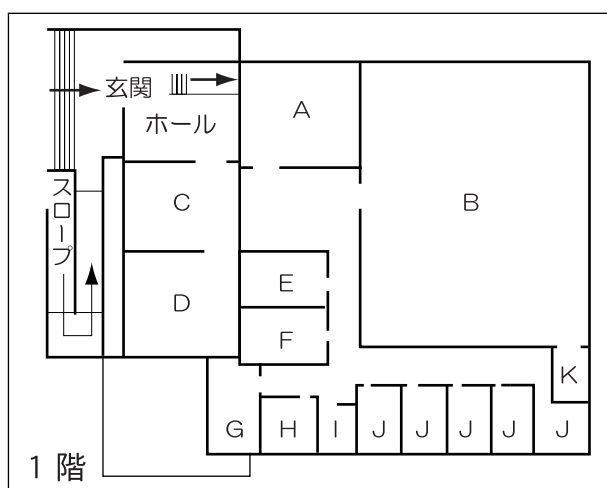
＜開設日及び開設時間＞

- 開設日 月曜日から金曜日（祝日を除く）
- 開設時間 午前9時30分～午後3時

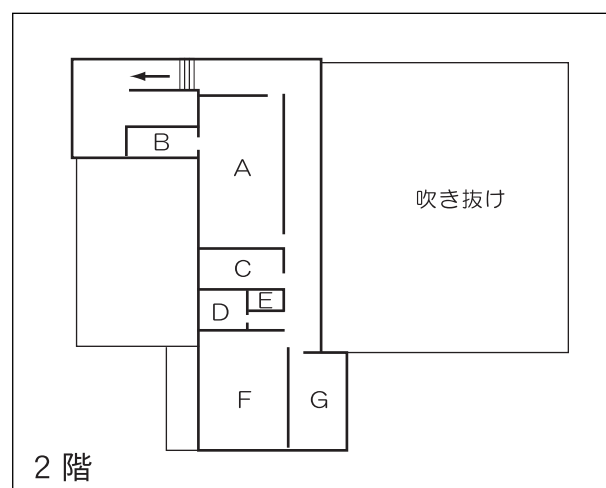
＜通室までの手順及び手続き＞

- 直接または校長と相談のうえ申込み→面接相談→体験通室→通室申請→通室決定

(5) 施設の概要



- 1 階
- A…集団活動室
 - B…プレイ室
 - C…待合スペース
 - D…小会議室
 - E…女子トイレ
 - F…男子トイレ
 - G…諸検査室兼個別相談室
 - H…個別相談室（サポートセンター川越相談室）
 - I…身体障害者用トイレ
 - J…個別相談室
 - K…体育用具室



- 2 階
- A…スタッフルーム
 - B…電話相談室
 - C…所長室
 - D…男子トイレ
 - E…女子トイレ
 - F…集団学習室1（適応指導）
 - G…集団学習室2（適応指導）

2. さわやか相談員の配置

(1) さわやか相談室設置の趣旨及び相談員の配置

埼玉県「心のオアシスづくり事業」（いじめ・不登校問題対策事業）の一環として、平成8年度から、さわやか相談室が中学校に順次設置され、平成10年度までにすべての中学校に設置された。平成19年度からは、川越市の「いきいき登校サポートプラン」の一環として、22人の川越市さわやか相談員を全市立中学校に配置している。

(2) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

①活動場所…主にさわやか相談室

②活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

(3) 相談内容

①いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談

②児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

(4) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）	学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）
川越第一中学校	223－8022	砂中学校	246－1322
初雁中学校	225－8022	福原中学校	247－0022
富士見中学校	248－6722	大東中学校	247－1322
野田中学校	241－2322	大東西中学校	248－1722
城南中学校	248－6822	霞ヶ関中学校	231－7322
芳野中学校	226－8722	霞ヶ関東中学校	232－0622
東中学校	235－2622	霞ヶ関西中学校	233－3722
南古谷中学校	235－1722	川越西中学校	233－6622
高階中学校	243－2122	名細中学校	231－8822
高階西中学校	243－8122	鯨井中学校	233－6822
寺尾中学校	247－0522	山田中学校	226－5022

3. スクールカウンセラーとの連携

埼玉県の「総合的な不登校対策」の一環として、平成25年度は10人のスクールカウンセラーが全市立中学校に配置されている。臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーが、教職員や保護者への指導・助言を行う。更に、児童生徒の心の相談にあたることで、健全な児童生徒の育成を図る。

4. スチューデント・サポーターの配置

川越市の「いきいき登校サポートプラン」の一環として、地元の大学で心理学を学ぶ学生が不登校児童生徒に家庭訪問等の支援を行う。活動内容は、学校の相談室等における会話・相談や学習支援・家庭訪問による会話・相談や学習支援、リバーラ等の施設を利用した会話・相談や学習支援などである。不登校児童生徒にとって、比較的年齢の近い学生が対応することにより、心を開き、悩みの解消の一助となることができる。

5. 臨床心理士の設置

教育センター分室（リバーラ）の相談活動をより専門的な見地から対応するために、各学校の要請に応じて、助言、援助を行ったり、相談員に対して助言を行ったりする。児童生徒、保護者、教職員の相談に応じるとともに、必要に応じて学校を訪問し、相談活動、教職員の研修の指導を行うなど、川越市の教育相談体制の一層の充実を図る。

特別支援教育の概要

1. 特別支援学級

川越市内の小中学校には、知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級、弱視特別支援学級、肢体不自由学級の4種類の特別支援学級が設置されている。これらの学級には、当該学校の学区内の児童生徒だけでなく、特別支援学級を設置していない近隣の学校の児童生徒も入級している。

(1) 知的障害特別支援学級

知的な障害のある児童生徒を対象に設置されている。

- ①小学校 ●川越小学校(2学級) ●中央小学校(1学級) ●大塚小学校(2学級)
 ●月越小学校(1学級) ●南古谷小学校(1学級) ●高階小学校(1学級)
 ●高階南小学校(1学級) ●高階北小学校(2学級) ●霞ヶ関小学校(2学級)
 ●霞ヶ関南小学校(1学級) ●霞ヶ関西小学校(1学級) ●名細小学校(2学級)
 ●山田小学校(1学級)
- ②中学校 ●初雁中学校(2学級) ●富士見中学校(2学級) ●東中学校(1学級)
 ●高階中学校(2学級) ●寺尾中学校(1学級) ●霞ヶ関中学校(1学級)
 ●霞ヶ関西中学校(1学級) ●名細中学校(1学級)

(2) 自閉症・情緒障害特別支援学級

自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置されている。

- ①小学校 ●川越小学校(1学級) ●中央小学校(1学級) ●大塚小学校(1学級)
 ●月越小学校(1学級) ●南古谷小学校(1学級) ●高階小学校(1学級)
 ●高階南小学校(1学級) ●高階北小学校(2学級) ●霞ヶ関小学校(1学級)
 ●霞ヶ関西小学校(1学級) ●名細小学校(2学級) ●山田小学校(1学級)
- ②中学校 ●初雁中学校(1学級) ●富士見中学校(1学級) ●高階中学校(2学級)
 ●寺尾中学校(1学級) ●霞ヶ関中学校(1学級) ●名細中学校(1学級)

(3) 弱視特別支援学級

視覚に障害のある児童を対象に設置されている。

- ①小学校 ●大塚小学校(1学級)

(4) 肢体不自由学級

身体に関する障害のある児童を対象に設置されている。

- ①小学校 ●中央小学校(1学級)

2. 通級指導教室

通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童を対象とした教室が川越小学校内に、また、通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童生徒を対象とした教室が中央小学校・高階小学校・霞ヶ関小学校・富士見中学校内に設置されている。各教科の指導は通常の学級で行いつつ、障害に応じた特別の指導を他の指導の場で行うという「通級による指導」が実施されている。

3. 特別支援学校

川越市立養護学校は、昭和39年に開校し、昭和47年までの間に小学部、中学部、高等部と漸次拡張されてきた。しかし、昭和47年4月、県立川越養護学校が開校したのに伴い、小学部、中学部は県立に移管し、現在は高等部だけである。平成22年4月、川越市立特別支援学校に名称が変更され、整備された校舎で、社会自立をめざして生徒たちが勉学に励んでいる。

4. 就学支援委員会

専門医、学識経験者、教育関係者、行政関係者で組織し、小中学校への就学予定者及び在籍する児童生徒のうち、障害があるため、教育上特別な措置または支援を必要とする者に対して、教育的診断を行い、教育措置の適正化を期するため活動している。

5. 特別支援教育支援員（自立支援サポーター）の配置

通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対して、個別学習指導や一斉学習指導における個別支援や適応指導等を実施するために、特別支援教育支援員（自立支援サポーター）を配置している。

情 報 教 育 の 概 要

1. 目的

今日、経済・社会、生活・文化のあらゆる場面で情報化が急激な進展を遂げている。21世紀に生きる児童生徒に対し、こうした情報社会の進展に主体的に対応できる能力を身に付けさせ、情報モラルを含む情報活用能力を養うために、情報教育を推進する。

2. 情報教育の推進

- (1) 児童生徒が情報及び情報手段を主体的に収集し、選択して活用したり、発信したりすることができる情報モラルを含む情報活用能力の育成に努める。
- (2) 情報化の進展に対応する児童生徒を育成するため、計画的にコンピュータ等の機種更新に努め、インターネットやデジタル教科書等の効果的な教育利用について、教育センターにおいて先進的な研究を行う。
- (3) 教育の情報化に対応した周辺機器及び教育用ソフトウェアを導入し、学習指導へのコンピュータ利用の推進に生かせるように努める。
- (4) 教職員のICT活用指導力の向上を図るため、教職員研修の充実に努める。

3. 情報教育の具体的施策

- (1) 学習指導へのコンピュータ利用の研究推進
 - ①コンピュータの活用について研究推進を図る。
- (2) 情報機器等の効果的な活用の促進
 - ①市内の全小中学校のすべてのコンピュータからのインターネット接続により、学習指導や校務への効果的活用を図る。
 - ②小・中学校の普通教室に校内LANを計画的に構築し、学習指導への情報機器の活用を図る。
- (3) 周辺機器と教育用ソフトウェアの充実
 - ①学習指導に活用する電子黒板等の周辺機器や教材ソフトウェア等の効果的な利用を図る。
- (4) 教職員研修の充実
 - ①各学校や教育センターにおける実技研修会や実践活用研修会の充実に努める。
 - ②情報教育担当者を対象とした研修を充実させ、情報教育のリーダーを養成する。
 - ③電子黒板やデジタル教科書の臨時研修会の実施により、積極的な活用を図る。
 - ④情報モラルについて正しい知識を身につけ、児童生徒へ指導できるよう研修内容の充実に努める。



プレゼンテーション作成研修会



小学校第6学年 社会科
電子黒板・デジタル教科書活用授業

英語指導助手配置事業の概要

1. 英語指導助手派遣事業の趣旨

今日、社会や経済のグローバル化が進展する中、国際社会でたくましく生きる日本人を育成していくことが重要課題の一つとなっている。そのために、英語指導助手（AET）を市立小・中・高等学校及び特別支援学校に配置し、児童生徒がネイティブの英語に直接触れる機会を設けるなど、今まで以上に英語指導助手（AET）を活用した授業の充実を図ることが求められる。現在、川越市姉妹都市交流事業による招致（2人）、川越市内在住（3人）及び民間派遣（16人）の計21人の英語指導助手（AET）を各学校に配置している。

英語指導助手（AET）は、小学校では、外国語活動の時間に学級担任教師と協力をして、児童が英語に親しむことのできる授業の充実に努めている。中・高等学校では、英語担当教師との共同授業において「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能のバランスを取りながら、生徒のコミュニケーション能力の育成を図っている。また、児童生徒が英語指導助手（AET）を通して外国の文化に触れることにより、国際理解教育の一端を担っている。国際化の進展に対し、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するため、英語指導助手配置事業の充実は本市の国際化への対応に資することが期待されている。

2. 英語指導助手の配置と活用

本市では、英語指導助手（AET）の配置と活用にあたって、英語指導助手運営委員会を設置し、受け入れ体制や活用について万全を期している。

(1) 英語指導助手運営委員会の構成

委員長（1人）…校長

副委員長（1人）…校長または教頭

委員（55人）…各小学校国際理解教育担当等、各中学校・市立川越高等学校英語科主任等

(2) 英語指導助手の業務

① 学校訪問による英語指導

- 各学校への訪問回数をクラス数に合わせて割り振り、年間訪問計画に基づいて各学校での指導にあたる。その際、小学校では学級担任、中・高等学校では英語担当と共に授業を実施し、生きた英語が身に付くような指導の工夫を図っている。

- 本年度は、年間を通して21人の英語指導助手（AET）が各学校での指導にあたる。

② 英語科授業づくり研修会での指導

- 英語科教員を対象とした研修会の講師を務める。

③ 小学校外国語活動指導者研修会での指導

- 小学校教員を対象とした外国語活動の研修会の講師を務める。

④ AETと楽しむ英会話研修会

- 小学校教員等を対象とした研修会の講師を務める。

⑤ 英語弁論大会の審査・指導

- 毎年秋に実施される英語祭における英語弁論大会の審査を行う。

⑥ 英語共同授業研究協議会等の指導

- 英語共同授業研究協議会等の指導にあたる。

⑦ 国際交流に関する職務

- 外国語刊行物等の翻訳・校正を務める。

- 姉妹都市訪問中学生交流団の研修の講師を務める。

3. 英語指導助手配置状況の推移

（単位：人）

	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
JET	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KET	1	2	2	3	3	3	3	5	5	6	7	7	8	10	8	8	5	3	3	3	3	3	2	2	2
現地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	3	5	5	5	5	4	5	3	3
業務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	6	11	13	13	13	13	14	—	—	—
派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	16	16
合 計	2	3	3	4	4	4	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	21	21	21	21

※ JET（語学指導等を行う外国青年招致事業） KET（川越市姉妹都市交流事業） 現地（川越市在住外国人）

校種間連携教育の概要

1. 趣旨・目的

- (1) 川越市教育の一層の充実のため、小中学校等の校種間連携を進める。
- (2) 教育委員会と学校が車の両輪として教育を推進するため、計画的に学校訪問を行い、学校と教育委員会の意思疎通を図り、教育の充実に資する。

2. 構成

小中連携

(下線は委嘱校)

グループ	学校名	担 当
1	川越第一中、初雁中、 <u>山田中</u> 、特別支援学校 川越第一小、川越小、 <u>山田小</u>	教育センター 教育センター分室
2	<u>富士見中</u> 、野田中、 中央小、泉小、月越小、 <u>今成小</u>	教育指導課 学校管理課
3	城南中、砂中、市立川越高校 <u>仙波小</u> 、新宿小、大塚小	教育センター 教育指導課
4	芳野中、東中、 <u>南古谷中</u> 、 芳野小、古谷小、南古谷小、 <u>牛子小</u>	教育指導課 学校管理課 教育センター
5	<u>高階中</u> 、高階西中、寺尾中、 高階小、高階南小、高階西小、 <u>高階北小</u> 、寺尾小	教育センター 教育センター分室 教育指導課
6	<u>福原中</u> 、大東中、大東西中、 武蔵野小、 <u>福原小</u> 、大東東小、大東西小	教育センター 教育指導課
7	<u>霞ヶ関中</u> 、霞ヶ関西中、 <u>霞ヶ関小</u> 、霞ヶ関南小、霞ヶ関西小	教育センター 学校管理課
8	<u>川越西中</u> 、霞ヶ関東中、 霞ヶ関北小、霞ヶ関東小、 <u>川越西小</u>	教育センター 学校管理課
9	<u>名細中</u> 、鯨井中、 <u>名細小</u> 、上戸小、 <u>広谷小</u>	教育センター 教育指導課 教育センター分室

中高連携

(下線は委嘱校)

学校名	担 当
<u>市立川越高</u> 、 <u>城南中</u> 、 <u>野田中</u> 、 <u>大東中</u>	学校管理課

3. 連携グループ配置



各 種 事 業 の 概 要

かわごえ異業種体験研修

幅広い教員の資質が求められている今日、教員以外の職を直接体験することにより、再度教育職を見直し、多面的・柔軟的な教育指導ができる教員の育成を目指す。

- (1) 夏季休業中の5日間、企業での体験研修を行う。
- (2) 各年度の研修参加人数は9～10人とする。
- (3) 平成15年度より始まり、平成20年度までに市立学校全体から参加している。平成26年度に2巡目が終わる。

オールマイティーチャー配置事業

平成24年度までの「少人数学級のための臨時講師配置事業」に代わる新規事業である。

学校における課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実や学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。平成25年度は、中学校10校に11人を配置した。

地域人材活用事業

川越市立小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図っている。

平成24年度の実施状況

- (1) 実施回数……205回
- (2) ご協力いただいた地域の方々……延べ594人
- (3) 事業の一例……読み聞かせ・農業体験指導・和楽器演奏・お囃子指導・運動部活動指導
吹奏楽指導・地域の学習 等

日本語指導ボランティア派遣事業

小・中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒を対象に、日本語指導ボランティアを派遣することにより、日本語の能力を向上させ、学習への理解度を深め、学校生活により順応させることを図っている。

平成24年度の実施状況

- (1) 市内小中学校14校に在籍する児童生徒28人にボランティア12人を派遣した。
- (2) 派遣回数は延べ597回であった。

川越市小・中学校児童生徒健全育成事業「スクールランチ作戦事業」

学級がうまく機能しない状況や非行・問題行動、不登校児童生徒の増加など、生徒指導上の諸課題への対応と児童生徒一人ひとりに細やかな指導・支援を行うために、市内小・中学校に生徒指導推進員（スクールランチ）を配置し、学校運営の補助を行い、児童生徒一人ひとりに対し適切な援助を行うものである。

スクールランチは、校長の指揮監督の下に、概ね以下の活動を行う。

- (1) 児童生徒への支援、教師の補助
- (2) 学校運営上の支援
- (3) その他校長が必要と認める教育活動等の支援

川越市中学生社会体験事業

地域の中で社会体験活動や多くの人々との触れ合いを通して、みずみずしい感性や社会性、自立心を中学生に養うとともに、勤労観や働く人としての基礎的・基本的な資質や能力を育成し、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけ、たくましく豊かに生きる力をはぐくむことをねらいとする。

- (1) 実施対象……原則として、中学校第1学年または第2学年の生徒
- (2) 実施場所……学区内の事業所を最優先する。
- (3) 実施期間……各学校が設定した2～3日間

トップアスリートふれあい事業
近隣大学のスポーツ分野で活躍する教員・監督・コーチや学生を各市立小学校に招き、一緒に体を動かすことを通して、運動の楽しさを児童が実感するとともに、日常生活の中で主体的に運動・スポーツに親しむ態度や習慣を育成する。 (1) 体育の授業やクラブ活動における指導及びふれあい活動 (2) 全校の朝マラソンや持久走大会に向けての指導及びふれあい活動
科学わくわくラーニングプログラム～①小学生科学体験事業
各市立小学校6年生の児童を対象に、講演会、実験・実習、施設見学等の体験活動を実施し、科学への興味・関心を醸成する。(夏季休業中に実施) (1) オリエンテーション、大学関係者等による講演会 (2) 小・中学校理科教員の指導による各種の実験・実習 (3) 科学施設見学及び体験学習
科学わくわくラーニングプログラム～②理科実験助手派遣事業
理科実験助手を配置し、体験的な学習及び個別指導などを充実させ、児童の実験・実習の技能の向上、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高める。(小学校9校) (1) 理科の実験・実習の準備や補助 (2) 理科室・理科準備室の整備等
科学わくわくラーニングプログラム～③小・中・大学連携理科ふれあい事業
理科の授業等に大学理系学部教員・大学院生・大学生を派遣し、最新の方法で実験や観察を行い、児童生徒の興味・関心、意欲を醸成する。(3大学と連携 各市立小・中学校長からの申請に基づき、必要に応じて配置) (1) 授業内容に応じた実験・観察、発展的な実験・観察 (2) 特別活動、総合的な学習の時間等における、児童生徒の興味・関心に応じた実験・観察
川越市中学生学力調査
義務教育の学習内容の定着状況を把握し、教育の成果を検証する川越市独自の調査とするとともに、進路指導の充実に資する。また、各学校及び教育委員会が教育指導上の課題を把握し、指導方法の工夫改善を図る資料とする。 (1) 調査対象・・・川越市立中学校全22校の第3学年生徒全員 (2) 調査対象教科・・・国語・数学・社会・理科・英語 (3) 調査実施予定日・・・第1回：平成25年9月4日／第2回：平成25年11月6日
学校図書館図書整理員配置
学校図書館教育の充実を図るために、臨時事務職員（図書整理員）を配置する。図書整理員は、校長の指導の下に、概ね以下の活動を行う。 (1) 学校図書館図書の受け入れ・廃棄・配架・貸し出し・返却等の事務 (2) 学校図書館の美化・整理事務 (3) 児童生徒の読書意欲の喚起や資料提供 (4) 児童生徒や教職員への資料提供
ネットパトロール事業
市内の全市立中・高等学校を対象に、生徒をネット上のいじめ等から守るために、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視をし、適切に対処する。

学 校 保 健

平成25年度学校保健関係行事

○ 児童生徒定期健康診断	(4月～6月)
○ 児童生徒心臓検診	(4月～6月)
○ 教職員健康診断	(4月～8月)
○ 保健主事研修会・養護教諭研修会	(4月～3月)
○ 学校飲料水検査	(5月)
○ 普通救命講習会	(5月)
○ B型肝炎予防接種(養護教諭)	(5月～3月)
○ 学校環境衛生一斉検査	(前期6月～10月、後期1月～3月)
○ 学校プール水質検査	(6月)
○ 児童生徒脊柱側弯検査	(6月)
○ 川越市学校保健会総会及び講演会	(7月)
○ 小児生活習慣病予防検診	(7月～9月)
○ 現地視察研修会(養護教諭)	(8月)
○ 教室等の空気検査	(8月)
○ 学校環境衛生検査器具取扱い講習会	(8月)
○ 応急手当普及員講習会	(8月)
○ 学校保健広報「わかあゆ」発行	(9月・3月)
○ 学校歯科保健優良校地区審査会	(9月)
○ 砂場の細菌検査	(10月)
○ 就学時健康診断	(10月～11月)
○ 歯科保健指導	(10月～12月)
○ 歯科保健指導者研修会	(11月)
○ 埼玉県学校健康教育推進大会	(1月)
○ 学校保健会理事会	(3月)

平成24年度日本スポーツ振興センター災害共済給付状況 (医療費)

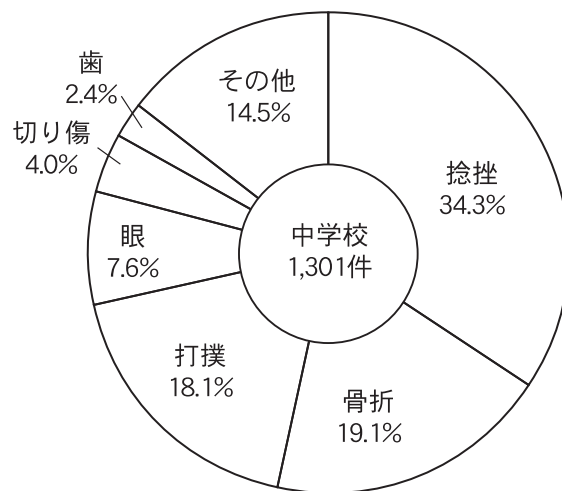
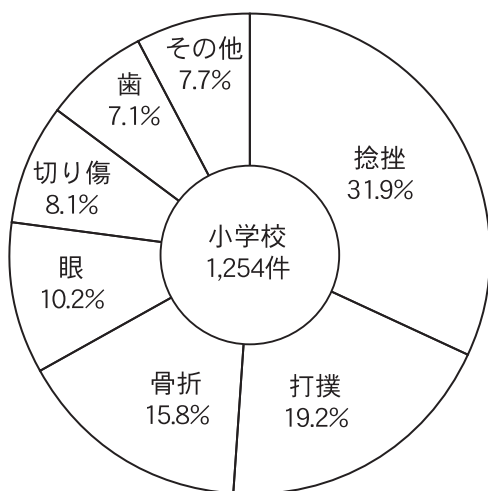
(単位:円)

月別	小 学 校		中 学 校		特別支援学校・市立高校		件数計	金額計
	件 数	給付額	件 数	給付額	件 数	給付額		
4	221	1,284,715	226	1,288,362	38	492,723	485	3,065,800
5	182	963,412	238	1,763,053	16	124,340	436	2,850,805
6	134	819,191	161	920,394	18	102,864	313	1,842,449
7	144	617,510	217	1,203,736	29	272,543	390	2,093,789
8	196	1,284,411	183	1,251,771	9	45,192	388	2,581,374
9	231	1,139,284	187	1,159,600	21	280,297	439	2,579,181
10	80	384,010	128	1,023,459	8	37,240	216	1,444,709
11	161	849,798	218	1,499,019	13	70,856	392	2,419,673
12	147	772,586	209	1,426,372	38	182,562	394	2,381,520
1	139	716,319	249	1,825,965	23	382,236	411	2,924,520
2	198	1,487,931	193	879,919	22	132,368	413	2,500,218
3	126	779,990	170	917,565	11	50,930	307	1,748,485
計	1,959	11,099,157	2,379	15,159,215	246	2,174,151	4,584	28,432,523

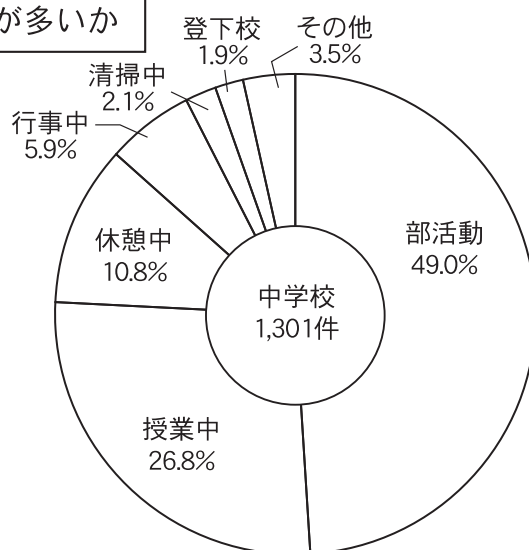
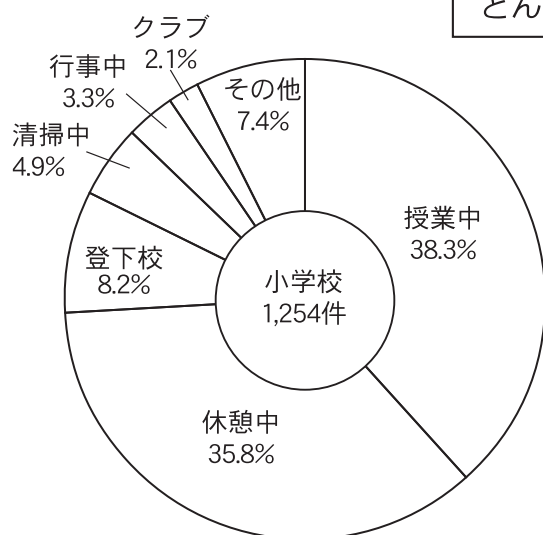
※平成20年度給付総計(延べ人数) 4,658人 (給付額) 28,641,277円
 平成21年度給付総計(延べ人数) 4,150人 (給付額) 25,708,533円
 平成22年度給付総計(延べ人数) 4,300人 (給付額) 25,308,423円
 平成23年度給付総計(延べ人数) 4,263人 (給付額) 25,101,195円

平成24年度 事故発生件数（日本スポーツ振興センターにかかわる事故による）

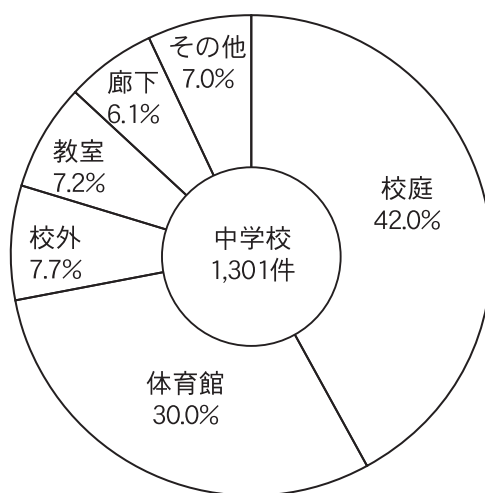
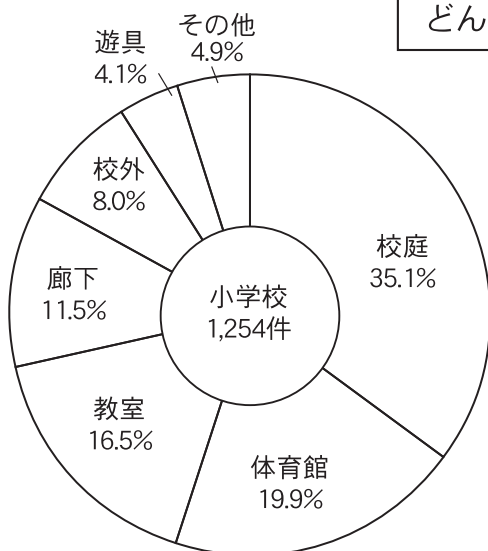
どんな負傷が多いか



どんな場合が多いか



どんな場所が多いか



児 童 生 徒 の 体 位

(平成24年度)

性別	学校別	学年別	項目	身長 (cm)				体重 (kg)				座 高 (cm)			
				市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値
			市 県 国 別												
男	小 学 校	1		116.3	4.9	116.9	116.5	21.3	3.2	21.4	21.3	64.8	3.1	64.9	64.8
		2		122.2	5.3	122.5	122.4	23.9	4.0	24.1	24.0	67.7	3.1	67.5	67.6
		3		128.1	5.2	128.6	128.2	27.2	4.9	27.5	27.1	70.5	3.1	70.5	70.3
		4		133.3	5.7	133.5	133.6	30.2	5.9	30.3	30.5	72.6	3.2	72.4	72.6
		5		138.3	5.9	138.4	138.9	33.5	6.9	33.6	34.0	74.7	3.2	74.6	74.9
		6		144.8	7.1	144.1	145.0	37.9	8.1	36.9	38.2	77.6	3.8	76.8	77.5
	中 学 校	1		151.7	8.2	152.4	152.4	43.4	9.5	44.3	44.0	80.8	4.5	81.1	81.3
		2		158.9	8.1	159.6	159.5	48.1	9.8	49.3	49.0	84.7	4.8	84.7	84.9
		3		165.2	6.6	164.7	165.1	54.0	9.6	53.6	54.2	88.2	4.0	87.9	88.2
	高 校	1		168.7	—	168.3	168.4	58.4	—	58.6	59.2	90.8	—	90.1	90.3
		2		171.1	—	169.7	169.8	61.6	—	61.2	61.1	91.9	—	91.1	91.3
		3		171.8	—	170.5	170.7	66.0	—	62.6	62.9	92.3	—	91.8	91.9
	特 別 支 援	1		165.6	—	—	—	58.6	—	—	—	89.2	—	—	—
		2		169.6	—	—	—	64.0	—	—	—	91.8	—	—	—
		3		167.3	—	—	—	64.3	—	—	—	89.9	—	—	—
女	小 学 校	1		115.5	4.9	115.6	115.6	21.0	3.2	20.7	20.9	64.5	3.0	64.2	64.4
		2		121.4	5.2	122.0	121.6	23.4	3.7	23.7	23.5	67.2	2.9	67.2	67.3
		3		127.3	5.6	127.7	127.4	26.7	4.9	26.4	26.3	70.1	3.2	70.0	69.9
		4		133.4	6.0	133.3	133.4	29.9	5.8	29.7	29.9	72.8	3.3	72.5	72.6
		5		140.0	6.7	140.7	140.1	33.9	6.9	34.8	34.0	75.9	3.8	76.1	75.8
		6		146.5	6.8	146.6	146.7	38.9	7.8	38.7	38.9	79.4	4.0	79.0	79.2
	中 学 校	1		151.9	6.0	151.6	151.9	43.5	7.5	43.6	43.7	82.3	3.6	82.0	82.2
		2		154.8	5.7	155.5	155.0	47.2	7.8	47.9	47.4	84.0	3.4	84.1	83.9
		3		156.5	5.5	156.4	156.5	50.0	7.8	50.2	49.9	85.1	3.4	84.8	84.9
	高 校	1		157.9	—	157.5	157.2	51.6	—	52.0	51.6	85.7	—	85.5	85.4
		2		158.8	—	157.9	157.6	52.7	—	52.7	52.5	86.2	—	85.5	85.7
		3		158.6	—	158.2	158.0	53.3	—	52.6	52.9	86.0	—	85.7	85.8
	特 別 支 援	1		155.3	—	—	—	50.1	—	—	—	85.1	—	—	—
		2		151.3	—	—	—	46.3	—	—	—	85.0	—	—	—
		3		157.0	—	—	—	51.0	—	—	—	85.5	—	—	—

※県・全国の平均値は、平成24年度学校保健統計調査報告書（埼玉県総務部統計課発行）による。

※調査対象：県・全国は全国児童生徒数の約1.9%を抽出。市は全児童生徒。

児童生徒の「新体力テスト」 平均値

(平成24年度)

項 目 名	学 校		小 学 校						中 学 校		
	学 年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
50m走 (秒)	男	県	11.53	10.67	10.10	9.66	9.27	8.87	8.54	7.92	7.50
	子	川越市	11.55	10.78	10.15	9.75	9.27	8.82	8.48	7.82	7.36
	女	県	11.81	10.95	10.40	9.96	9.52	9.13	8.97	8.66	8.61
	子	川越市	11.94	11.10	10.50	9.99	9.57	9.13	8.97	8.59	8.50
立幅跳び (cm)	男	県	116.32	128.39	138.96	147.57	156.09	166.54	181.11	199.32	214.74
	子	川越市	114.87	124.96	135.63	143.55	151.03	162.95	178.50	196.86	211.40
	女	県	109.07	121.04	131.23	140.62	149.89	159.03	166.60	173.45	175.82
	子	川越市	107.23	118.10	126.63	137.75	144.64	154.15	163.27	169.59	174.23
ボール投げ (m)	男	県	8.37	11.52	15.13	18.81	22.35	26.32	18.52	21.97	24.75
	子	川越市	8.13	11.38	15.22	18.40	22.19	26.51	19.07	21.96	24.91
	女	県	5.86	7.67	9.68	11.68	13.93	16.06	12.10	13.77	14.67
	子	川越市	5.72	7.64	9.52	11.43	13.41	15.53	11.95	13.72	14.65
握 力 (kg)	男	県	9.33	10.99	12.78	14.55	16.59	19.40	24.19	30.24	35.93
	子	川越市	9.18	10.88	12.39	14.39	16.15	19.32	23.47	29.32	35.20
	女	県	8.80	10.43	12.10	13.92	16.30	19.28	22.31	24.98	26.37
	子	川越市	8.68	10.37	11.76	13.68	16.02	19.24	21.75	24.33	25.71
上体起こし (回)	男	県	12.03	15.00	17.27	19.22	21.13	23.06	26.12	30.21	32.64
	子	川越市	11.75	14.73	17.10	19.31	21.50	23.15	26.29	30.77	33.10
	女	県	11.48	14.37	16.50	18.19	19.95	21.36	23.09	26.27	27.28
	子	川越市	11.11	14.26	15.70	17.89	19.68	20.74	22.47	26.71	27.62
長座体前屈 (cm)	男	県	26.03	27.86	29.79	31.59	33.71	35.73	41.82	46.55	50.62
	子	川越市	25.49	27.06	30.18	30.24	33.54	34.86	41.54	46.32	49.96
	女	県	28.50	31.05	33.17	35.47	38.38	40.87	45.54	48.21	50.27
	子	川越市	27.70	30.94	33.21	34.99	38.02	41.05	45.41	47.99	50.10
反復横とび (回)	男	県	28.09	31.98	36.06	40.25	44.07	47.26	49.21	52.83	55.83
	子	川越市	27.58	31.02	34.87	38.66	43.98	47.07	48.20	51.97	54.99
	女	県	26.69	30.42	34.01	38.08	41.85	44.53	45.21	46.92	47.47
	子	川越市	25.98	29.68	33.12	36.71	41.04	43.93	43.83	45.93	47.54
20mシャトルラン (回)	男	県	20.22	29.48	39.53	48.60	56.82	65.08	—	—	—
	子	川越市	18.56	27.59	38.39	46.36	56.35	64.96	—	—	—
	女	県	17.21	23.41	30.20	37.65	45.67	52.21	—	—	—
	子	川越市	15.85	22.40	27.83	36.37	44.68	50.59	—	—	—
持久走 (分秒)	男	県	—	—	—	—	—	—	6' 50"40	6' 17"69	6' 06"57
	子	川	越一	市一	—	—	—	—	6' 50"65	6' 15"61	6' 02"90
	女	県	—	—	—	—	—	—	4' 49"01	4' 38"80	4' 42"06
	子	川	越一	市一	—	—	—	—	4' 52"80	4' 36"43	4' 40"24

※小学校は、20mシャトルラン。中学校は、持久走。
 ※持久走の距離は、男子が1,500m、女子が1,000m。

学 校 給 食

《菅間学校給食センター》

- ・住 所……川越市菅間18－9
- ・設 立……平成17年8月
- ・給食規模……12,000食
- ・対象学校……小学校20校
- ・敷地面積……9,908.41㎡
- ・建物面積……5,715.39㎡



《今成学校給食センター》

- ・住 所……川越市今成2－35－5
- ・設 立……昭和44年（平成5年改築）
- ・給食規模……12,000食
- ・対象学校……中学校22校・特別支援学校1校
- ・敷地面積……5,492.74㎡
- ・建物面積……3,377.49㎡



《藤間学校給食センター》

- ・住 所……川越市藤間948－1
- ・設 立……昭和56年
- ・給食規模……8,000食
- ・対象学校……小学校6校
- ・敷地面積……4,725.91㎡
- ・建物面積……1,830.24㎡



《吉田学校給食センター》

- ・住 所……川越市吉田444
- ・設 立……昭和59年
- ・給食規模……5,600食
- ・対象学校……小学校6校
- ・敷地面積……3,754.00㎡
- ・建物面積……1,683.62㎡



平成25年度学校給食センター別給食数及び担当校一覧

(平成25.5.1現在)

センター名	給食数	小・中別	対 象 校
菅間学校給食センター	11,750食	小 学 校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
藤間学校給食センター	3,966食	小 学 校 6校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原
吉田学校給食センター	3,187食	小 学 校 6校	霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
今成学校給食センター	9,213食	中 学 校 22校 特別支援学校 1校	川越第一・初雁・富士見・野田・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・砂・寺尾・福原・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井・山田・特別支援学校
合 計	28,116食	55校	

学校給食の内容

1. 食育

川越市では「食育」に関して次のものを行っている。

- (1) 創意工夫を生かした楽しい食事の場を提供し、児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図っている。
 - 市内小学校の2年生約3,000人を対象に年2回実施
- (2) 学校給食を通して望ましい食習慣、食べる物に対するありがたさ、食事ができることへの感謝の気持ちを培い、好ましい人間関係の育成に努めている。
- (3) 学校給食を通して家庭・地域との連携を図り、食に関する指導の推進に努めている。
 - 児童生徒の食生活の基本である家庭との連携を図るため、給食内容や食生活の指導等を中心とした「給食だより」や広報誌「いきいき」などを発行
 - 親子で参加する夏休み料理教室、学校給食をより理解してもらうことを目的とした学校給食センター見学会、農産物の生産現場や食品加工などの現場を見学する食の探検隊等の開催
- (4) 学校との連携を図り、学校の「食に関する指導の全体計画」に基づいた食育の推進に努めている。
 - 学校食育研究会…学校給食の振興充実を図ることを目的とし、学校における給食指導、児童生徒の栄養改善に関する調査、学校給食・運営管理に関する調査を行っている。市内小・中・特別支援学校の校長と給食主任で組織され、給食指導や管理運営についての研究会を主催している。
 - 試食会…児童生徒の保護者に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施。平成24年度は95回の開催で約2,400人が参加
- (5) お米をはじめとして、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、巨峰、枝豆、とうもろこしなどの川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努めている。



学校給食センター見学会



夏休み料理教室

2. 学校給食費

区 分	月 額	年 額	徴 収数月	給食日数	1食当たり単価	備 考
小学校	4,000円	44,000円	11か月	190日	231円58銭	平成21年11月改定
中学校	4,900円	53,900円	11か月	190日	283円68銭	平成21年11月改定

1食当たり単価（保護者負担額）

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計	備 考
小学校	48円24銭	200cc 47円28銭	136円06銭	231円58銭	平成21年11月改定
中学校	60円73銭	200cc 47円28銭	175円67銭	283円68銭	平成21年11月改定

3. 学校給食摂取基準

学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。

現行の基準は平成25年4月に改訂され、次のように定められている。

区 分	小 学 校 児 童 の 場 合			中学校生徒の場合
	低学年(6～7歳)	中学年(8～9歳)	高学年(10～11歳)	
エネルギー (kcal)	530	640	750	820
たんぱく質 (g)	16～26	18～32	22～38	25～40
脂 肪 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25～30%			
ナトリウム(食塩相当量) (g)	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満
カルシウム (mg)	300	350	400	450
鉄 ()	2 mg	3)	4	4
ビタミンA (μgRE)	150	170	200	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	20	25	35
食 物 繊 維 (g)	4	5	6	6.5

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取量について配慮すること。

マグネシウム…児童(6～7歳)70mg・(8～9歳)80mg・(10～11歳)110mg、生徒(12～14歳)140mg

亜鉛……………児童(6～7歳)2mg・(8～9歳)2mg・(10～11歳)3mg、生徒(12～14歳)3mg

4. 食材の安全確保

安心・安全でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努めている。

給食指導資料

学校給食課企画・製作による次の資料が備えられている。

- 学校給食センターの1日
- こんなにおおきくなりました！！ のこさずたべてくださいね（川越産枝豆）
- おこめにつき（川越産米）
- ぼくがだれだかわかるかな？ かわごえの畑ですくすく育っているよ（川越産とうもろこし）
- しょうゆができるまで（川越産大豆使用のしょうゆ）
- みつばの成長日記（川越産みつば）
- 川越の名産 私は何でしょう 秋にほくほく！（川越産さつま芋）

社会教育の充実

目標

学校・家庭・地域の連携を更に進め、地域ぐるみの教育を振興し、児童生徒の「生きる力」を育む教育を推進するとともに、社会教育の充実を図るため、市民の学習環境の整備や学習機会の創出を総合的に推進していく。

1. 青少年教育の充実

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
ジュニアリーダースクール	子ども会の基礎的な理論・活動展開の在り方・実技指導の方法等を継続的に学習することにより、子ども会ジュニアリーダーとして必要な知識、技能を身に付け、川越市ジュニアリーダースクラブの一員として活躍できる青少年を育成する。
子ども会育成事業	子ども会の健全な育成とその発展を図るため、校区子ども会育成団体連絡協議会に子ども会育成事業を委託する。 ・委託先：校区子ども会育成団体連絡協議会（小学校区27・中学校区1）
育成者研修会	子ども会育成者としての資質向上と単位子ども会活動の振興を図る。
棚倉町交流事業	友好都市交流事業に参加することにより、他県の環境に親しみ、視野を広め協調性・自主性を育て健全なる成長に資する。
子ども会かるた大会	子ども会員が一堂に集まり、「かわごえ郷土カルタ」を活用して「5つのめあて」をもとに競技を行う。なお団体・個人とも上位4チーム（人）は川越市代表として、彩の国21世紀郷土かるた県大会へ出場し、県内子ども会代表選手と競いあうとともに、交流を深めることを目的とする。
子ども会育成会補助金交付事業	市内の子ども会育成団体の自主性を尊重しつつ相互の連絡協調を図り、その向上発展を期するため、川越市子ども会育成団体連絡協議会が行う事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 ・補助対象団体：川越市子ども会育成団体連絡協議会 ・団体数：28団体 会員数：21,403人



ジュニアリーダースクール



子ども会かるた大会

2. 家庭教育の充実

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
P T A運営講座	小・中学校P T A常置委員の研修を深めて、P T A活動の充実、推進を図り、各P T Aの行う常置委員会活動の向上発展を期して指導者の養成を図る。
家庭教育学級	P T A会員に対して、家庭教育に関する学習の機会を提供するため、各小・中学校P T Aが開催する家庭教育学級を支援する。 ・委託先：各小・中学校P T A
子ども情報誌発行事務	子どもたちの休日における体験活動を豊かにするため、「かわごえし子ども情報誌小江戸探検隊」を編集協力員（市民）の協力により発行する。
高校説明会	埼玉県内の公立高校及び県内・都内の私立高校の中から、市内中学生の進学者数上位校のうち公立24校、私立23校の47校を選び、その学校から生徒募集要項、教育方針、卒業生の進路状況等についての合同説明会を開催し、進路指導・進路選択の参考とする。
P T A研究集会	各学校・P T Aの活動の成果や諸問題について、川越市P T A連合会の活動目標・方針に基づき、自主的に研究討議しP T A活動の充実を図る。
P T A講演会 （入間地区P T A連絡協議会と合同開催）	小・中・特別支援学校P T A役員等を対象に、心豊かな子どもたちの育成に関する研修会を開催し、P T A役員としての資質を高めるとともにP T A活動の活性化を図る。
親の学習講座	多くの保護者が集まる効果的な機会を活用して「親が親として育ち、力をつけるための学習」を実施し、家庭の教育力の向上を図る。
幼・保・高家庭教育講座	子どもの年齢に応じた子育て・しつけの方法についての講話や、親同士の意見交換など、保護者に家庭での教育を見直してもらうための学習情報・学習機会を提供し、保護者と子どもが共に育ち合う環境づくりを進める。
P T A連合会補助金交付事業	川越市P T A連合会会員の意識高揚を図るとともに、青少年の健全育成を図るため、連合会が行う事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 ・補助対象団体：川越市P T A連合会 ・団体数：54団体 会員数：23,084人

3. 社会教育一般事務

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
社会教育委員協議会	社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問の対応や必要な研究調査を行うため、定時又は臨時に開く会議。定例会年6回程度。
障害者対応事業研修会	社会教育に携わる市職員を対象に、障害者に対応できる事業を実施するにあたり、障害者を理解するための研修会を開催し、障害者が広く参加することのできる事業の充実を図る。
社会教育主事研修派遣	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター実施の社会教育主事講習に職員を派遣する。

4. 川越子どもサポート推進

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
子どもサポート事業	子どもたちの生きる力を育むため、学社連携・融合を基盤として、家庭、学校、社会教育施設、地域社会が一体となって、子どもたちのさまざまな活動を支援する。 ・ 子どもサポート本部会議・子どもサポート発表会 ・ 小江戸見つけ隊作品募集
学校応援団事業	地域が学校の授業や行事、環境整備等に参加することにより、学校が特色ある教育活動を展開できるようにするとともに、地域の教育力を向上させ活力ある地域づくりを推進する。
地域教育推進事業	子どもたちが生きる力を身につけ、たくましく育ちゆくための支援の在り方を協議し、各機関や団体が連携を強め、地域ぐるみの教育を推進する社会環境を整備する。 ・ (仮称) 川越市地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議



子どもサポート事業 小江戸見つけ隊作品展



学校応援団事業

5. 人権教育推進協議会

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
人権教育推進協議会	川越市における人権教育の振興を図り、よりよい地域社会づくりに寄与するため川越市人権教育推進協議会を設置する。
人権教育実践報告会	同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について正しく理解するとともに、人権を尊重する教育の積極的な推進を図る。実践報告に基づいて意見交換をすることにより、人権教育の一層の充実に資する。

6. 小堤集会所運営管理

①小堤集会所施設の状況

建 築 年 度	敷 地 面 積	延 床 面 積	所 在 地	電 話 番 号
平成8年度	348.47㎡	290.66㎡	川越市小堤784	231-0534

②事業の概要

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
運営委員会	集会所における各種の事業の企画・実施について協議する。
施設管理	集会所建物の修繕や清掃業務等の管理を行う。

7. 人権教育の充実

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
P T A ・ 子 ども 会 育 成 会 人 権 啓 発 フィルム 研 修 会	同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について正しく理解するとともに、人権を尊重する教育の重要性について認識を深める。各 P T A 及び子ども会育成会における人権教育の推進に資する。
啓発資料作成委員会	人権教育啓発資料の充実を図り、資料活用による人権教育啓発活動の推進に寄与する。
公民館人権教育指導者養成講座事業	人権についての正しい理解を深め、日常生活の中で人権を尊重した生き方ができるように、また、各種団体及び各家庭に一人ずつの人権問題解決のための指導者を育成する。 【平成24年度実績】 87講座 4,000人
小堤集会所ふれあいまつり	集会所事業における各教室・講座で得られた学習成果を互いに発表し合い、広く大勢の人に集会所事業への関心を持っていただくとともに、相集い、相和して楽しいひとときを持ち、触れ合いの輪を広げていく。
小堤集会所事業	①集会所周辺住民の自主的組織的教育活動を助長し、教育・文化水準の向上を図る。 ②集会所の利用を通して、集会所周辺住民の人権問題に対する正しい理解と人権意識の高揚を図る。 ③地域住民相互の交流を通して、よりよい人間関係を醸成する。 【平成24年度実績】 ・指導者養成講座 5回 ・女性講座 5回 ・成人学習講座 5回 ・カラオケ教室 22回 ・フレンドスクール 8回 ・習字教室 24回 ・高齢者学級 5回 ・普通救命講習 1回
人権教育推進事業委嘱	公民館・学校・当該 P T A を一単位として公民館区全体で人権教育に取り組むように、毎年公民館 3 ～ 4 館と学校11校を指定し、市内全域に順次委嘱する。 【平成24年度】 (小学校) 高階南・高階西・寺尾・川越西・大東東・大東西 (中学校) 高階西・寺尾・川越西・大東・大東西 (公民館) 高階南・川鶴・大東・大東南
人権作文・標語・絵画公募事業	作文・標語や絵画制作への取組を通して、児童生徒の人権への関心を高め、自らの生き方を考えさせる。
人権文集「あけぼの」作成事業	子どもたちから寄せられた人権作品を、広く紹介し、より多くの人の人権意識の高揚を図る。
人権カレンダー作成事業	しおり形式のカレンダーに児童生徒の人権標語と絵画を掲載し、市内各家庭への配布を通して、市民の人権意識の高揚を図る。
「いのち・こころを大切に する絵画展」開催	子どもたちから寄せられた人権絵画を広く紹介し、より多くの人の人権意識の高揚を図る。
人権教育実践報告会開催	幼・保・小・中・高・特の学校・P T A ・公民館等の日頃の人権教育の実践報告に基づき意見交換を行い、人権教育の一層の充実に資する。 ・実践報告発表及び研究協議 ・小中学生人権作文発表

8. 公民館建設の推進

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進	(仮称)霞ヶ関西公民館については、施設機能等について検討するため、関係団体と協議する。
(仮称)西公民館建設推進	(仮称)西公民館については、建設予定地等について検討するため、関係団体と協議する。
霞ヶ関北公民館整備推進	霞ヶ関北公民館の移転改築となる公民館については、施設機能等について検討するため、関係団体と協議する。

9. コミュニティセンター運営管理

①福原コミュニティセンター

建築年度	敷地面積	延床面積	所 在 地	電話番号	平成24年度利用状況	
昭和54年度	2,975.18㎡	169.57㎡	川越市今福481-3（福原公民館内）	242-5005	407件	4,093人
施 設 の 概 要			ボランティアビューロー、談話室、集会室、器材室			

②事業の概要

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
運営審議会	庶務は福原公民館、予算管理は地域教育支援課



小堤集会所ふれあいまつり



人権啓発資料（人権文集・カレンダー・広報紙）

公 民 館

【川越市公民館 運営方針】

生涯の各時期に生じる課題や社会的に要請される現代的課題の学習に取り組むとともに、地域の教育力の向上や多様な学習の機会の創設を図り、市民の生涯学習を支援する。

また、社会教育機関としての機能を発揮するため、運営体制や施設設備の整備、充実を図る。

1. ライフステージにおける課題の学習機会の充実を図る

(1) 青少年教育の充実

- 「生きる力」をはぐくむ野外教育プログラムなどの事業をすすめる

(2) 家庭教育の充実

- 家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する

(3) 成人教育の充実

- 家庭生活の充実や親の扶養などの生活課題と向き合う講座等の開催につとめる
- ボランティア活動などの社会参加を想定した教育プログラムの提供につとめる

(4) 高齢者教育の充実

- 充実した日々を過ごすためのふれあいや学びの場を提供する

2. 現代的課題の学習機会の充実を図る

(1) 人権学習の推進

- 様々な人権問題について学ぶ場を提供する

(2) 環境学習の充実

- 日常生活と環境問題のつながりが意識できるプログラムの提供につとめる

(3) 子育て支援の充実

- 子育てサロンの全市的展開をすすめる

(4) 情報学習の充実

- パソコン講座を全市的に開催する

(5) 地域に関する学習の推進

- 地域の歴史や文化、地域課題などを題材とした講座等の開催につとめる

3. 地域の教育力の向上を図る

(1) 地域教育活動を支援する

(2) 町内公民館講座の開設を支援する

4. 運営体制の充実を図る

(1) 効率的な運営管理につとめる

(2) 公民館運営協力委員制度の活用を図り、公民館運営審議会の充実につとめる

(3) 職員研修を充実し、資質を高める

5. 既存公民館の施設設備の整備、充実を図る

(1) 施設設備の整備、充実につとめる

(2) 施設の大規模改修を計画的にすすめる

主催事業実施状況 (平成24年度)

(回数()内は講座等の事業数/参加者人数は延べ参加者数)

施 策 公民館名	ライフステージにおける課題の学習										現代的課題の学習										
	青少年教育 の 充 実		家 庭 教 育 の 充 実		成 人 教 育 の 充 実		高 齢 者 教 育 の 充 実		合 計		人 権 学 習 の 推 進		環 境 学 習 の 充 実								
	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数							
中 央	(3)	36	670	(1)	3	49	(2)	18	193	(2)	214	10,016	(8)	271	10,928	(1)	2	26	(1)	6	105
南	(2)	11	199	(4)	20	354	(5)	65	526	(2)	14	892	(13)	110	1,971	(1)	1	48	(3)	54	547
北	(1)	4	28	(1)	5	136	(3)	24	365	(1)	36	1,204	(6)	69	1,733	(1)	4	281	(7)	19	1,333
芳 野	(0)	0	0	(1)	7	184	(6)	20	423	(2)	16	508	(9)	43	1,115	(1)	4	86	(1)	2	37
古 谷	(5)	16	286	(1)	4	78	(5)	26	611	(1)	10	356	(12)	56	1,331	(1)	2	69	(1)	3	17
南 古 谷	(1)	2	64	(3)	14	328	(5)	23	297	(7)	31	498	(16)	70	1,187	(1)	5	151	(1)	5	44
高 階	(3)	11	202	(1)	8	282	(3)	11	533	(2)	19	1,964	(9)	49	2,981	(1)	4	201	(1)	5	98
高 階 南	(1)	3	107	(4)	20	500	(2)	21	387	(1)	15	1,320	(8)	59	2,314	(1)	2	141	(1)	2	50
福 原	(5)	7	139	(1)	5	110	(3)	15	209	(1)	9	555	(10)	36	1,013	(1)	6	213	(1)	1	8
大 東	(0)	0	0	(1)	4	118	(2)	9	119	(2)	18	577	(5)	31	814	(0)	0	0	(2)	2	18
大 東 南	(1)	1	15	(1)	12	370	(4)	24	912	(1)	12	1,137	(7)	49	2,434	(1)	2	132	(1)	3	33
霞 ケ 関	(3)	11	233	(1)	5	193	(5)	16	359	(1)	8	604	(10)	40	1,389	(1)	3	19	(1)	3	15
霞ケ関北	(0)	0	0	(1)	4	159	(4)	16	536	(2)	21	853	(7)	41	1,548	(1)	1	52	(1)	1	34
伊 勢 原	(4)	16	1,447	(2)	9	296	(2)	4	105	(1)	15	951	(9)	44	2,799	(1)	1	38	(1)	1	29
川 鶴	(2)	25	303	(1)	6	178	(2)	13	615	(1)	8	138	(6)	52	1,234	(1)	6	129	(2)	7	85
名 細	(3)	9	187	(3)	12	459	(5)	48	694	(1)	12	887	(12)	81	2,227	(1)	2	123	(2)	6	83
山 田	(0)	0	0	(2)	4	87	(5)	18	260	(1)	10	281	(8)	32	628	(1)	4	105	(1)	1	13
計	(34)	152	3,880	(29)	142	3,881	(63)	371	7,144	(29)	468	22,741	(155)	1,133	37,646	(16)	49	1,814	(28)	121	2,549

市内公民館（17館 1 分館 1 分室）

（平成25. 5. 1現在）

施 設 名	所 在 地	電 話	建 物 の 概 要		
			構 造	面 積	建 築 年 度
中 央 公 民 館	三久保町18-3	222-1394	鉄筋 3 階	1,208.46㎡	昭和43～44
中央公民館分室	六軒町2-15-1	224-1343	木造 1 階	169.53㎡	昭和14（移築）
さわやか活動館	的場 649-1	237-4890	鉄骨 2 階	998.88㎡	平成12（改築）
南 公 民 館	新宿町1-12-8	243-0038	軽量鉄骨 1 階	258.36㎡	平成21
北 公 民 館	氷川町107	222-1400	鉄筋 2 階	1,018.86㎡	平成 2 ～ 3
芳 野 公 民 館	北 田 島 9-12	222-1873	鉄筋 2 階	472.04㎡	昭和44
古 谷 公 民 館	古 谷 8303-2	235-1834	鉄筋 2 階	575.68㎡	昭和45
南古谷公民館	今 泉 71-1	235-1519	鉄筋 2 階	662.86㎡	昭和51
高 階 公 民 館	藤 間 2 1	242-6064	鉄筋 2 階の一部	1,086.67㎡	平成18～19
高階南公民館	藤原町23-7	245-3581	鉄筋 2 階	1,373.42㎡	昭和55
福 原 公 民 館	今 福 814-3	242-5005	鉄筋 2 階	859.32㎡	昭和53
大 東 公 民 館	南 大 塚 14-12	243-0022	鉄筋 2 階	654.37㎡	昭和47～48
大 東 南 公 民 館	南 台 3 4-3	242-0498	鉄筋 2 階	1,059.35㎡	昭和58～59
霞ヶ関公民館	笠 幡 77-1	231-1009	鉄筋 3 階の 1 階	787.55㎡	昭和50～51
霞ヶ関北公民館	的場北1-18-6	231-4455	鉄筋 2 階	877.93㎡	昭和49
伊 勢 原 公 民 館	伊勢原町5-1-1	237-5676	鉄筋 2 階の 2 階	736.30㎡	平成12～13
川 鶴 公 民 館	川 鶴 8-3	233-9306	鉄筋 2 階	1,030.54㎡	昭和63
名 細 公 民 館	小 堤 626-1	231-0001	鉄筋 2 階	1,696.84㎡	平成20～21
山 田 公 民 館	山 田 611-7	224-4194	鉄筋 2 階	584.47㎡	昭和46

※施設利用の中央公民館には「分室」「さわやか活動館」、伊勢原公民館には「霞ヶ関北小学校特別教室」の数を含む。

現代的課題の学習									地域教育力の向上								会議等		合計
子育て支援 の 充 実		情報学習の充実		地域に関する 学 習 の 推 進		合 計		地域教育活動 (主催・共催)		地域教育活動 (事務支援・援助)		合 計							
回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数		
(5) 33	1,939	(4) 8	43	(1) 2	26	(12) 51	2,139	(8) 60	843	(3) 42	534	(11) 102	1,377	(7) 70	764		15,208		
(2) 23	403	(2) 4	25	(1) 5	165	(9) 87	1,188	(5) 20	218	(2) 19	482	(7) 39	700	(3) 18	220		4,079		
(2) 29	779	(2) 4	33	(1) 3	87	(13) 59	2,513	(15) 56	1,149	(2) 13	214	(17) 69	1,363	(2) 3	75		5,684		
(1) 12	528	(3) 6	46	(1) 3	51	(7) 27	748	(6) 11	800	(5) 20	497	(11) 31	1,297	(4) 18	56		3,216		
(2) 17	570	(2) 4	49	(1) 1	20	(7) 27	725	(8) 24	1,462	(3) 16	381	(11) 40	1,843	(4) 19	58		3,957		
(1) 11	875	(3) 6	54	(1) 5	31	(7) 32	1,155	(10) 24	5,055	(3) 26	959	(13) 50	6,014	(3) 17	105		8,461		
(3) 17	886	(3) 6	90	(1) 5	264	(9) 37	1,539	(14) 40	960	(2) 16	511	(16) 56	1,471	(3) 17	92		6,083		
(7) 27	954	(3) 6	100	(2) 3	197	(14) 40	1,442	(11) 108	2,025	(1) 3	93	(12) 111	2,118	(3) 25	125		5,999		
(3) 30	684	(2) 4	58	(2) 5	60	(9) 46	1,023	(4) 10	166	(5) 50	1,265	(9) 60	1,431	(5) 22	115		3,582		
(2) 27	887	(2) 4	39	(1) 10	49	(7) 43	993	(2) 10	275	(4) 36	613	(6) 46	888	(2) 14	65		2,760		
(1) 36	1,203	(3) 6	98	(1) 3	66	(7) 50	1,532	(8) 89	1,114	(1) 5	198	(9) 94	1,312	(4) 27	204		5,482		
(1) 20	643	(3) 15	155	(3) 4	562	(9) 45	1,394	(3) 3	229	(5) 27	784	(8) 30	1,013	(5) 44	175		3,971		
(1) 21	796	(3) 6	76	(1) 3	97	(7) 32	1,055	(3) 6	445	(3) 20	281	(6) 26	726	(3) 15	106		3,435		
(1) 12	388	(2) 4	65	(1) 2	54	(6) 20	574	(13) 65	1,365	(1) 4	96	(14) 69	1,461	(3) 25	125		4,959		
(2) 22	807	(2) 4	46	(1) 3	53	(8) 42	1,120	(8) 38	1,672	(2) 14	435	(10) 52	2,107	(4) 19	77		4,538		
(1) 12	797	(2) 4	41	(1) 3	40	(7) 27	1,084	(9) 29	2,497	(3) 20	530	(12) 49	3,027	(3) 15	79		6,417		
(1) 11	646	(2) 4	38	(1) 1	22	(6) 21	824	(4) 14	442	(4) 42	872	(8) 56	1,314	(3) 15	41		2,807		
(36) 360	13,785	(43) 95	1,056	(21) 61	1,844	(144) 686	21,048	(131) 607	20,717	(49) 373	8,745	(180) 980	29,462	(61) 383	2,482		90,638		

川越市公民館利用状況（平成24年度）

公民館名	貸 館											
	1号(免除)		2号(免除)		3号(5割減額)		4号(5割減額)		その他(有料)		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
中央	329	5,219	832	12,811	46	565	0	0	1,006	10,180	2,213	28,775
分室	18	120	411	6,276	23	165	0	0	749	7,168	1,201	13,729
さわやか	55	678	695	11,679	94	1,189	33	1,108	2,093	27,133	2,970	41,787
南	53	2,234	1,046	19,406	65	870	0	0	1,496	16,660	2,660	39,170
北	57	2,042	2,179	36,733	4	42	0	0	661	10,198	2,901	49,015
芳野	24	1,108	544	8,697	0	0	0	0	249	2,023	817	11,828
古谷	33	2,359	835	12,045	1	10	0	0	234	3,128	1,103	17,542
南古谷	61	3,950	1,306	23,438	0	0	0	0	629	5,163	1,996	32,551
高階	109	8,395	2,372	42,125	84	2,426	0	0	2,769	29,213	5,334	82,159
高階南	82	6,544	2,765	49,240	2	35	25	1,001	1,123	13,536	3,997	70,356
福原	50	9,373	874	15,334	5	50	0	0	334	6,770	1,263	31,527
大東	29	1,709	1,328	26,881	5	39	0	0	438	5,700	1,800	34,329
大東南	71	6,036	1,831	32,138	27	386	0	0	690	11,761	2,619	50,321
霞ヶ関	59	3,421	1,422	29,405	0	0	29	326	262	3,323	1,772	36,475
霞ヶ関北	30	2,672	2,600	47,337	1	20	0	0	791	7,181	3,422	57,210
伊勢原	99	2,331	1,152	18,338	3	135	0	0	1,774	22,389	3,028	43,193
川鶴	26	453	1,247	23,097	5	55	24	184	1,377	16,871	2,679	40,660
名細	63	5,439	2,182	38,356	18	525	0	0	1,846	20,988	4,109	65,308
山田	100	2,195	701	10,678	3	5	0	0	620	5,719	1,424	18,597
霞ヶ関北小 特別教室	321	9,656	3	245	0	0	0	0	378	4,298	702	14,199
合計	1,669	75,934	26,325	464,259	386	6,517	111	2,619	19,519	229,402	48,010	778,731

※（使用料の減免）

1号 川越市が直接使用するとき 免除

2号 社会教育法に定める公民館事業と同様な事業を行なう機関及び団体が使用するとき 免除

3号 川越市を除く他の公共団体又は公共的団体が前2号に掲げるもの以外の目的に使用するとき 5割減額

4号 前各号に定めるもののほか、管理者が必要と認めるとき 5割減額

その他 前各号に当てはまらない一般利用 有料

図 書 館

市民の多様な学習要求にこたえるため、生涯学習に必要な各種資料の充実、図書館網の整備、施設・設備の効果的活用を図り、市民生活の向上と地域文化の発展に寄与する。

- | | |
|---|---|
| (1) 図書館サービス網の整備
● 図書館分館計画の推進
● 図書館ネットワーク網の整備、充実
(2) 図書館資料の収集・整備
● 参考図書・基本図書の充実
● 地域資料の整備
● 利用者のニーズに応じた資料収集
(3) サービス内容の充実
● レファレンスサービスの充実
● 乳幼児・児童サービスの充実
● 障害者サービスの充実 | (4) 地域文化創造の推進
● 講演会・講座の実施
(5) 視聴覚ライブラリーの整備、充実
(6) 学校との連携による児童の読書活動の推進（西図書館）
(7) 通勤・通学者へのサービスの充実（川越駅東口図書館）
(8) 地域図書館における個人学習・研究活動の支援（高階図書館） |
|---|---|

施設概要

（ ）は司書（平成25.4.1現在）

施設名	所在地	敷地面積	建 物 の 概 要			職 員				
			構 造	延床面積	建築年度	館長	副館長 主 幹	主査	事務 職員	計
中 央 図 書 館	三久保町 2-9	4,296.37㎡	鉄筋地上3 階地下1階	5,931.27㎡	昭和 59年	1 (0)	3 (2)	3 (1)	18 (6)	25 (9)
西図書館	伊勢原町 5-1-1	2,220.75㎡	鉄筋2階の 1階	2,068.60㎡	平成 14年	1 (1)		2 (2)	5 (3)	8 (6)
川越駅東口 図 書 館	菅 原 町 23-10	662.68㎡	鉄筋6階の 1・2・3階	1,315.87㎡	平成 14年	1 (0)		1 (1)	5 (2)	7 (3)
高 階 図 書 館	藤 間 27-1	8,417.25㎡	鉄筋2階の 2階	1,235.71㎡	平成 20年	1 (0)		1 (1)	6 (3)	8 (4)

※西図書館の敷地面積は、霞ヶ関北小学校複合施設棟の建築面積を記載。

※高階図書館の敷地面積は、高階市民センターの建築面積を記載。

図書館システムによる蔵書検索・予約

- ① 館内オンライン蔵書目録（OPAC）による蔵書検索（4館共通）
 - ・利用者はタッチパネル式の館内パソコンにて、蔵書の検索・予約が可能となっている。
- ② Web蔵書検索システムによる蔵書検索
 - ・インターネットを利用した蔵書検索・予約が可能となっている。
- ③ モバイル蔵書検索システム
 - ・携帯電話等によるモバイル端末での蔵書の検索・予約が可能となっている。

図書館相互・広域利用

川越市立図書館では、近隣市町村と連携を結び、市民が互いの図書館を利用できるようにしている。利用にあたっては、各図書館の規則等の定めによる。

相互・広域利用ができる市町

- ・川越都市圏まちづくり協議会構成市町（坂戸市・鶴ヶ島市・日高市・川島町・毛呂山町・越生町）
- ・ふじみ野市
- ・狭山市
- ・さいたま市

蔵書の状況

(平成25.3.31現在)

中央図書館	一般図書	331,906	西図書館	一般図書	100,419
	児童図書	123,686		児童図書	39,265
	郷土資料	23,921		A V 資料	11,184
	近世史料	111		障害資料	3,982
	和書	10,041	川越駅東口図書館	一般図書	41,014
	貴重図書	208		児童図書	22,718
	その他	48		A V 資料	11,625
	障害資料	379		一般図書	59,371
	A V 資料	7,008	高階図書館	児童図書	22,750
	マイクロ資料	1,801		A V 資料	8,550
		障害資料		252	
合 計					820,239

図書館資料の利用状況（入館者数と貸出点数）

(平成24年度)

場所	種別 開館日数	入館者数	利用人数	一般	児童	郷土	雑誌	A V	計
中央図書館	292	332,031	135,950	292,645	156,668	17	30,956	22,950	503,236
西図書館	294	335,828	161,498	340,678	155,639	1	31,712	50,191	578,221
川越駅東口図書館	291	372,802	126,665	200,653	78,566	0	25,916	37,302	342,437
高階図書館	294	289,889	139,751	251,179	132,196	0	26,337	86,449	496,161
計	1,171	1,330,550	563,864	1,085,155	523,069	18	114,921	196,892	1,920,055

レファレンス件数

(平成24年度)

	調査相談	所蔵調査	計
口頭	181	513	694
電話	54	5,834	5,888
文書	10	1	11
計	245	6,348	6,593

児童向け事業

(平成24年度)

	事業数	延べ参加者数
中央図書館	7	1,738
西図書館	14	1,761
川越駅東口図書館	9	1,233
高階図書館	7	1,336

障害者サービス状況

(平成24年度)

区分 施設名	対 面 朗 読			録音図書作成		録音図書貸出 ※2			点字図書貸出	
	延べ利用者	利用者実数	時間	録音受入資料	プライベート資料作成	自館貸出	相貸貸出 ※3	相貸借受	貸出	借受
中央図書館	8	3	18.0	—	(56) 122	(62) 62	(0) 0	(484) 569	(23) 23	(2) 7
西図書館	86	12	344.0	(29) 29	—	(147) 174	(873) 957	(1,038) 1,134	—	(21) 72
川越駅東口図書館	102	28	170.5	—	(4) 4	(125) 579	(0) 0	(49) 228	—	—
高階図書館	2	2	4.0	—	(42) 47	(0) 0	(0) 0	(2) 2	—	—
合 計	198	45	536.5	(29) 29	(102) 173	(334) 815	(873) 957	(1,573) 1,933	(23) 23	(23) 79

※1 () 内はタイトル数 ※2 録音資料はテープ、アクセシブルな情報システム(DAISY)の総計(雑誌も含む)
 ※3 相貸は、相互貸借の略

施設の利用状況 (平成24年度)

施設名	利用件数	利用人数
展示室	52	10,850
視聴覚ホール	107	6,229
グループ研究室	70	1,202
講座室	20	634
計	249	18,915

学校協力事業 (平成24年度)

	延べ参加者数
中央図書館	2,519
西図書館	556
川越駅東口図書館	135
高階図書館	357



中央図書館



西図書館



川越駅東口図書館



高階図書館

視聴覚ライブラリー

主な所有機材と利用状況

(平成24年度)

種類	所有数	利用数	種類	所有数	利用数
16ミリフィルム等	718本	798本	O H P	2台	13台
16ミリ映写機	17台	359台	D V D デッキ等	6台	32台
スライド映写機	2台	1台	スクリーン	10台	52台
O H C	2台	0台	ビデオプロジェクター	2台	70台

各館の事業取り組み

・中央図書館

市制施行90周年記念に併せた図書館事業として、川越地誌を題材にした「郷土資料解題講座」、図書館と博物館の合同企画展の「資料と写真でたどる川越市の歩み」、講師に児童文学作家を迎えた「児童文学講演会」を開催した。

・西図書館

児童を対象としたお話し会などの定例行事に加えて、霞ヶ関北小学校への学級訪問を積極的に行っている。更に、資料の貸出を促すため児童図書・一般図書の企画展示を行った。

また、録音資料の作成を積極的に進め、併せて他機関からの録音資料の借用手続きなどを行い、視覚障害者の読書環境を整えることに努めている。

・川越駅東口図書館

児童向けの行事では、お話し会や特集展示に加えて、工作教室に多くの子どもたちに参加してもらうことができた。また、新たに雑誌スポンサー制度を始めるとともに、館内のリサイクルコーナーの常設により、多くの利用者が除籍資料の活用を図ることができた。

・高階図書館

児童向け行事としては、毎月の特集・季節ごとのテーマに沿った壁面装飾を行い、資料を展示することで子どもたちが本を手に取りやすくなるよう努めた。一般図書についても新刊の展示と共に常時ミニテーマ展示を実施した。館内に、雑誌を含めたリサイクルコーナーを常設し、多くの除籍資料が活用された。

博 物 館

市制施行60周年記念事業の一環として、生涯学習の中心施設となる博物館が設立された。

市内に残る歴史的遺産の収集・保存、調査・研究を基に展示活動や教育普及活動を行い、市民の愛郷心の育成に資することを目的とする。

- (1) 資料の収集、調査・研究
 - 川越地方に関係のある郷土資料を収集する。
- (2) 保存管理
 - 収集資料は分類整理し、収蔵庫等で保存管理し、保存の万全を図る。
- (3) 展示事業
 - 常設展示では、川越の歴史を理解しやすく、親しみやすい展示にするとともに、市民の要望に添った企画展等を行う。
- (4) 教育普及事業
 - 市民の要望に添った各種講座・講演会を開催するとともに、学校教育・社会教育への協力援助を行う。



施 設 概 要

() は学芸員有資格者

所 在 地	電 話	敷地面積	建 物 の 概 要			職 員				
			構 造	延床面積	建築年度	館長	副館長	主査	事務職員	計
郭 町 2-30-1	222-5399	8,136.47㎡ 旧川越城 二の丸跡	鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階	3,985.97㎡	平成 元年度	1 (1)	1	3 (3)	8 (3)	13 (7)

博物館・川越城本丸御殿・蔵造り資料館入館者数（平成24年度）

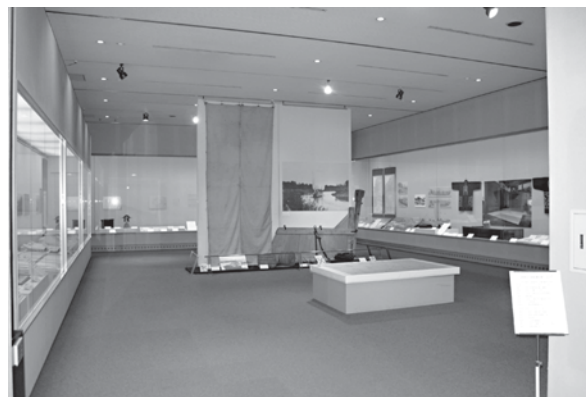
施設名	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
博物館	有料	3,918	4,628	2,318	3,292	2,954	2,784	4,596	4,713	1,451	2,553	3,352	3,835	40,394
	無料	2,203	5,060	7,147	3,125	2,472	3,101	5,194	8,138	4,134	4,189	6,772	2,389	53,924
	計	6,121	9,688	9,465	6,417	5,426	5,885	9,790	12,851	5,585	6,742	10,124	6,224	94,318
川越城 本丸御殿	有料	10,503	12,480	6,675	4,957	5,034	6,507	11,098	11,508	3,720	6,262	6,958	9,265	94,967
	無料	1,728	3,757	5,202	1,753	1,142	2,439	2,833	5,630	3,979	2,066	3,319	1,777	35,625
	計	12,231	16,237	11,877	6,710	6,176	8,946	13,931	17,138	7,699	8,328	10,277	11,042	130,592
蔵造り 資料館	有料	4,492	6,453	3,519	2,709	2,465	3,016	4,664	4,775	1,682	2,713	2,761	3,630	42,879
	無料	943	2,873	4,672	1,391	632	2,015	3,974	5,727	3,310	1,956	3,421	1,175	32,089
	計	5,435	9,326	8,191	4,100	3,097	5,031	8,638	10,502	4,992	4,669	6,182	4,805	74,968

幼・小・中・特別支援学校・高校・大学の利用状況（平成24年度）

		博物館		川越城本丸御殿		蔵造り資料館	
		園・学校数	利用者数	園・学校数	利用者数	園・学校数	利用者数
幼稚園	川越市内	1	53	1	53	0	0
小学校	川越市内	77	6,971	9	483	11	872
	埼玉県内	87	7,400	31	2,921	83	6,698
	埼玉県外	5	503	29	490	4	441
	合 計	169	14,874	69	3,894	98	8,011
中学校	川越市内	7	683	6	671	7	774
	埼玉県内	51	6,347	51	6,168	49	6,010
	埼玉県外	64	8,192	65	8,012	64	7,661
	合 計	122	15,222	122	14,851	120	14,445
特別支援学校等		10	160	12	191	10	178
高校	川越市内	2	274	2	263	2	274
	埼玉県内	2	62	0	0	0	0
	埼玉県外	1	38	0	0	1	38
	合 計	5	374	2	263	3	312
大学	川越市内	8	278	3	89	4	126
	埼玉県内	2	121	0	0	0	0
	埼玉県外	5	86	2	10	2	10
	合 計	15	485	5	99	6	136
総 数		322	31,168	211	19,351	237	23,082



子ども体験教室
「木を使って遊ぼう」の様子



第38回企画展
「新河岸川舟運と川越五河岸のにぎわい」の展示風景

展 示 事 業（平成25年度）

名 称	開 催 期 間
第23回収蔵品展「情報伝達の道具－伝える・広める－」	平成25年7月20日～9月8日
「平成25年新作名刀展－現代の刀工・刀職－ 第56回埼玉県名刀展 －武士のよそおい－」 公益財団法人 日本美術刀剣保存協会・埼玉県刀剣保存協会と共催	平成25年9月21日～10月6日
第39回企画展「戦国時代の河越－城・城下・村－」	平成25年10月19日～11月24日
第24回「むかしの勉強・むかしの遊び」展	平成26年1月18日～3月2日
第40回企画展「絵図から見た川越」（仮題）	平成26年3月29日～5月11日

各 種 講 座 (平成25年度)

講 座 名	開 催 日	講 座 名	開 催 日
博物館歴史講座	① 4月10日・17日・24日 ② 10月27日・11月10日・17日 ③ 2月9日・16日・23日 ④ 3月の予定	子ども博物館教室	① 6月1日 ② 11月23日 ③ 3月1日
		子ども体験教室	毎月第2・第3土曜日を中心に実施
野外博物館教室	① 4月20日・5月11日 ② 6月15日 ③ 10月19日 ④ 11月2日	夏休み子ども体験	① 7月25日 ② 7月31日 ③ 8月2日 ④ 8月24日
		夏休み遊びの時間	7月27日・28日
古文書講座	① 5月8日・15日・22日 ② 9月28日・10月5日・12日	講 演 会	① 4月14日 ② 4月21日 ③ 11月23日
民俗芸能実演	11月3日		
縄文土器作り教室	2月1日	裂き織教室	10月2日・8日

川越城本丸御殿概要



所在地…郭町2-13-1 (電話 224-6015)
敷地面積…2,178㎡
延床面積…802.06㎡
構 造…木造平屋建
建築年度…嘉永元年 (1848年)
展示資料…第1展示室は川越城本丸御殿保存修理工事に関する資料
第2展示室は川越城の歴史に関する資料

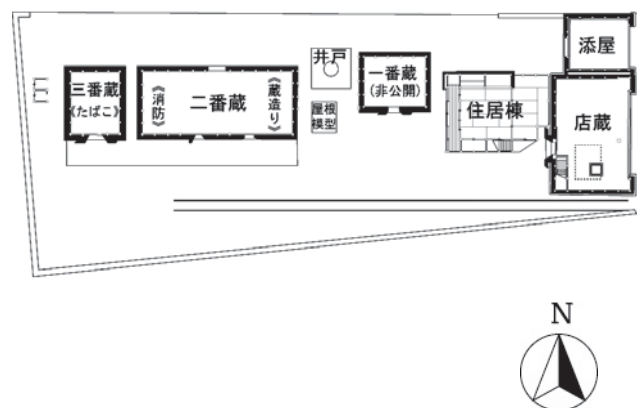


川越城本丸御殿の平面図

蔵造り資料館概要



所在地…幸町7-9 (電話 225-4287)
敷地面積…674.19㎡
延床面積…322.57㎡
構 造…土蔵造り2階建
建築年度…明治26年 (1893年)
展示資料…二番蔵は蔵造りと消防に関する資料
三番蔵はたばこ卸商万文ゆかりの資料



蔵造り資料館の平面図

学 童 保 育

今日では、結婚観や価値観など個人の意識の変化とともに、女性の社会参加が進む中で育児と仕事を両立することへの負担感が増大している。また、核家族化や都市化の進展により、育児に親族や近隣の支援を受けにくくなっているため、母親の孤立や不安感が増大していると言われている。

そこで、昼間保護者のいない家庭の児童について、安全等を確保するとともに遊びを通じた自主性・社会性・創造性の向上を図るため、市立32小学校に学童保育室を開設して放課後の生活と遊びの場を提供し、心の豊かさを育てる保育の充実に努めている。

(平成25.4.1現在)

保育室名	設置年度	建物面積(㎡)	所 在 地	電 話	指導員数	在 籍 人 数
川越第一	昭和55	139.0	郭町1-21 小学校内	224-4134	4	69
川 越	昭和54	159.0	郭町1-1-1	224-4755	5	60(3)
中 央	昭和54	127.0	中原町1-25	224-3999	4	49(2)
仙 波	昭和54	278.4	富士見町4-1	222-4877	5	78(2)
武 蔵 野	昭和56	90.9	むさし野14-1	242-6132	3	51
新 宿	昭和57	220.5	新宿町6-9-1	242-6129	4	74
大 塚	昭和49	149.2	大塚2-10-1	245-2552	4	52(2)
泉	昭和56	110.1	小室463	245-7232	3	59
月 越	昭和45	126.7	月吉町51	224-6656	5	43(4)
今 成	昭和53	106.4	今成2-42-1	225-3747	3	34
芳 野	平成6	120.7	鴨田331	224-7976	3	33(1)
古 谷	昭和55	151.0	古谷上5465	235-4725	3	65
南 古 谷	昭和54	265.0	木野目1451	235-1863	8	100(5)
牛 子	昭和51	190.4	牛子418	246-0741	6	111
高 階	昭和54	254.0	砂新田58	244-6753	4	75
高 階 南	昭和49	167.4	諏訪町12-3	244-4667	4	42(3)
高 階 北	昭和50	209.5	砂新田1-16-1	245-3906	8	85(8)
高 階 西	昭和54	130.0	藤間1102	244-6752	3	38(1)
寺 尾	昭和52	125.4	寺尾979-2	246-0740	3	36
福 原	昭和58	123.2	今福508	246-0036	3	52
大 東 東	昭和52	124.6	豊田本1162	244-9783	4	66
大 東 西	昭和50	132.5	山城32-5	246-8780	4	82
霞ヶ関	昭和54	243.5	笠幡177	232-1328	8	87(4)
霞ヶ関南	昭和50	222.9	かすみ野1-1-4	232-7070	2	21
霞ヶ関北	昭和48	232.2	伊勢原町5-1-1	232-5253	4	84
霞ヶ関東	昭和53	99.0	的場2735-2	232-7959	3	42
霞ヶ関西	昭和52	122.0	笠幡3971-4	232-5508	3	59
川 越 西	昭和59	126.0	川鶴1-5	232-5601	3	64
名 細	昭和51	171.9	小堤214	232-4519	10	103(11)
上 戸	昭和51	134.0	上戸390-1	232-4518	3	51
広 谷	昭和56	126.0	下広谷558-1	233-4790	3	38
山 田	昭和54	165.0	山田167	222-4151	5	80(2)
計					137	1,983(48)

() は障害児再掲

文化財保護

目標

川越市は、先人の努力により県内有数の歴史的遺産を受け継いでいる。これらの地域において保存・伝承されてきた歴史的建造物や史跡・天然記念物、伝統的な芸能や風俗習慣など、伝統文化を将来の世代に守り伝えるとともに、それら文化財の活用を積極的に推進する。

- 指定文化財の保存と活用に努める。
- 郷土芸能の保存・継承のため後継者の育成を図る。
- 開発等により破壊される遺跡の発掘調査を行い、記録保存する。
- 各種文化財の調査を進める。
- 国指定史跡である「河越館跡」の公有地化を進め、併せて発掘調査を実施するとともに史跡公園としての整備事業を進める。

文化財の保存

1. 文化財保存補助事業

川越市には、国・県・市指定文化財等が256件あり、これらの保存を目的に補助金を支出している。

○平成24年度の支出件数

- 無形民俗文化財の後継者育成等 15件
- 建造物等の防災設備保守等 9件
- 有形文化財の保存修理、史跡・天然記念物の保存 16件
- 団体の育成 2件

2. 新指定文化財

平成24年度には、菅間竹ノ谷家文書（有形文化財・古文書）・谷中大野家文書（有形文化財・古文書）・銅造十一面観音懸仏（有形文化財・工芸品）・砂氷川神社のシラカシ（記念物・天然記念物）・砂氷川神社のイヌツゲ（記念物・天然記念物）の5件を新指定文化財として指定した。

3. 文化財防火訓練

毎年1月26日は、「文化財防火デー」となっている。これは昭和24年の法隆寺金堂壁画の焼失を機に定められた日で、文化財を火災や震災等の災害から守ることを目標としている。川越市でも、この日に合わせて文化財防火訓練を実施し、文化財保護の意識の高揚を図っており、喜多院・東照宮・日枝神社を会場として川越地区消防組合等と共催で、防火訓練を実施している。

4. 管理施設

施設名	所在地	敷地面積	構造	延床面積	建築年	指定年月日
山車集中保管庫	郭町2-25-12	1,071.80㎡	鉄筋コンクリート造	270.90㎡	昭和45年(1970)	
時の鐘	幸町15-7	52.89㎡	木造内部4層	20.66㎡	明治27年(1894)	昭和33年3月6日

施設名	所在地	敷地面積	構造	延床面積	指定年月日	備考
永島家住宅 (旧武家屋敷)	三久保町5-3	1,184.62㎡	木造平屋	177.94㎡	平成18年3月27日	建物の一部(31.41㎡)は個人所有

施設名	所在地	敷地面積	整備年
国指定史跡河越館跡史跡公園	上戸192-1他	12,172㎡	平成21年 (2009)
川越城中ノ門堀跡	郭町1-8-6	1,078.56㎡	平成22年 (2010)

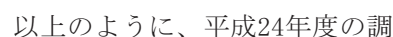
5. 文化財登録制度（登録文化財）

この登録制度は、指定制度を補完する制度である。保護対象の登録及び登録物件に関する届出制と、それに対する指導・助言・勧告を基本とする緩やかな保護措置を講じる制度である。

なお、平成16年の法改正で、建造物以外の有形文化財と有形民俗文化財、記念物の登録制度が創設されている。

6. 埋藏文化財

山王脇遺跡第12次調査は、山王塚古墳の東方約200mでの発掘調査であった。6世紀末から7世紀前半



7. 傳統的建造物群保存地区

札の辻



仲町交差点

— 52 —

指定文化財一覧

(平成25. 3. 31現在)

国 指 定 文 化 財			県 指 定 文 化 財			市 指 定 文 化 財		
種 別		件	種 別		件	種 別		件
重 要 文化財	建 造 物	4	有 形 文化財	建 造 物	9	有 形 文化財	建 造 物	47
	絵 画	2		絵 画	2		絵 画	1
	工 芸 品	4		彫 刻	2		彫 刻	12
	書籍・典籍・古文書	1		工 芸 品	3		工 芸 品	20
	無 形 民 俗 文 化 財	1		書籍・典籍・古文書	6		書籍・典籍・古文書	27
記 念 史 物 跡		1	民 俗 文化財	考 古 資 料	1	民 俗 文化財	考 古 資 料	7
指 定 文 化 財 計		13		歴 史 資 料	1		歴 史 資 料	5
				有 形 民 俗 文 化 財	1		有 形 民 俗 文 化 財	20
重要伝統的建造物群保存地区		1		無 形 民 俗 文 化 財	6		無 形 民 俗 文 化 財	11
重 要 美 術 品		2		史 跡	3	記念物	史 跡	32
登 録 有 形 文 化 財		10	記念物	天 然 記 念 物	1		天 然 記 念 物	8
登 録 記 念 物		1		旧 跡	4			
計		27	計		39	計		190
総 計			総 計		256 件			

文 化 財 の 活 用

1. 関係団体との連携

文化財保護の意識の高揚、伝統芸能の保存育成を目的とし、埼玉県文化財保護協会、川越市文化財保護協会、各民俗芸能保存団体等と連携して、各事業の実施や援助を行っている。

2. 出版物

「川越建物細見」をはじめとしたパンフレット及び書籍・地図を発行し、市民の文化財保護に対する認識を高める手段として活用されている。文化財保護課の他に、一部出版物については市立博物館、川越まつり会館でも入手できる。なお、書籍については有償にて頒布している。

出版物一覧

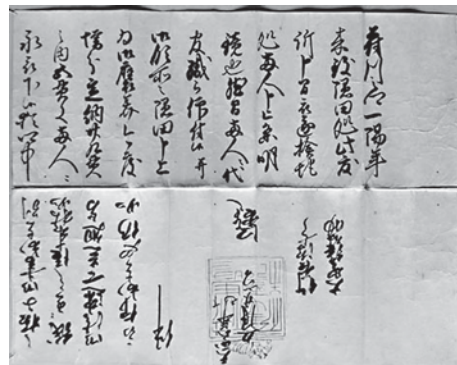
パンフレット	川 越 の 歴 史 年 表
	川 越 建 物 細 見
	国 指 定 史 跡 河 越 館 跡
	川 越 市 指 定 文 化 財 時 の 鐘
	川 越 の 祭 り と 芸 能
	国 指 定 史 跡 河 越 館 跡 史 跡 公 園
	川 越 城 中 ノ 門 堀 跡
	市 指 定 文 化 財 旧 山 崎 家 別 邸
書 籍 ・ 地 図	市 指 定 史 跡 永 島 家 住 宅 (旧 武 家 屋 敷)
	川 越 市 の 文 化 財
	ハ ン ド ブ ッ ク 川 越 の 歴 史
	川 越 の 伝 説
	続 川 越 の 伝 説
	川 越 の 人 物 誌 第 1 集
	川 越 の 人 物 誌 第 2 集
	川 越 の 人 物 誌 第 3 集 女 性 編
	川 越 氷 川 祭 り の 山 車 行 事 調 査 報 告 書
	文 化 財 案 内 マ ッ プ
	川 越 の 民 俗 調 査 報 告 書 第 1 集 福 原 ・ 南 古 谷 地 区 の 民 俗
	川 越 市 指 定 文 化 財 旧 山 崎 家 別 邸 調 査 報 告 書
	元 町 二 丁 目 井 上 家 文 書 目 録
	川 越 市 山 田 地 区 民 具 調 査 報 告 書 鹿 倉 家 の 民 具
	川 越 の 神 社 建 築
	川 越 の 寺 院 建 築

新指定文化財

市指定文化財

○菅間竹ノ谷家文書（有形文化財・古文書 平成25年3月25日指定）

菅間の旧家、竹ノ谷家に伝わる総点数770点の古文書である。竹ノ谷家は、広大な敷地に二重の堀を巡らし、人々から「ほんのうち（堀の内）」と通称されている。先祖の源七（勘解由）は、後北条氏の時代に代官職を務めた。この竹ノ谷家の古文書の内訳は、中世文書が4点、近世文書が229点、近代・現代文書が537点となる。中世文書は、中世末の後北条氏による領国支配のありさまを知り得る重要な史料である。特に、検地や隠田摘発の様子、代官職に任命された在地郷村の土豪の役割などを明らかにできるものである。近世文書については、竹ノ谷氏が江戸時代を通じて菅間村の名主役を務めていたことから、村政の基本となる史料が揃っている。近代・現代文書については、芳野村村長当時の史料や自家についてまとめたものなどがある。竹ノ谷家文書は、各時代のすべての史料が重要な内容をもっており貴重なものである。



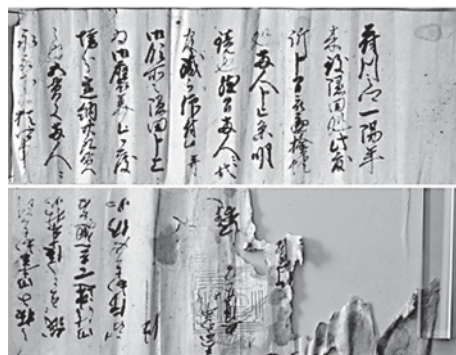
〔天正五年丁丑五月廿六日 北条氏印判状 写 江雪奉（折紙）〕

○谷中大野家文書（有形文化財・古文書 平成25年3月25日指定）

谷中の旧家、大野家に伝わる3点の古文書である。大野家は、越前大野がその発祥の地であると同家の系図に示されている。故があつて武蔵河越に転移し谷中に居住したという。後北条氏の時代に代官職を務めた。

大野家文書3点は、菅間竹ノ谷家文書の中世文書4点のうち3点と原文書・写の違いはあるが、内容は同じものであり貴重なものといえる。

なお、菅間竹ノ谷家文書・谷中大野家文書の原文書・写の双方が残存することは、いずれも宛所が「竹谷 大野」の併記である点から、後北条氏などから連名で出された文書のその後のあり方を考えるうえで重要である。



〔天正五年丁丑五月廿六日 北条氏印判状 江雪奉（折紙）〕

○銅造十一面観音懸仏（有形文化財・工芸品 平成25年3月25日指定）

懸仏は、仏が衆生を救済するため、仮に神の姿をとって現れること（権現）だとする神仏習合思想から生じた本地垂迹説に基づいてつくられたものである。この懸仏の場合、神の依代である鏡に本地仏の十一面観音が出現した姿を表現しており、円形の鏡板と仏像を一体で鑄造したものである。

この懸仏は、笠幡の神田家に伝わったもので同家の屋敷神として祀られる稲荷神社に奉納されたと考えられ、作風から狭山市柏原に栄えた「柏原鑄物師」の製品と思われる。神田家に近い尾崎神社の懸仏とともに当地域に存在する柏原鑄物師の作例として貴重である。



○砂氷川神社のシラカシ（記念物・天然記念物 平成25年3月25日指定）

砂氷川神社^{しゃそう}社叢の東端にあるシラカシは、幹周り3.88m、樹高18.6m、根回りは12.3～16.08mである。枝張りは、東西14.3m、南北18.6m。樹齢は、シラカシが植栽される例が多いことから神社の創建年の延享元年（1744）頃に植栽され、270年程度と推定される。樹勢は良好。樹木としての成熟度は高く老齢化している。枝振りは均一ではなく東側に多く張り出している。また、全面に大小のコブがある根元部分は、神社石垣を抱き込むような形態を成しており、根の成長に伴って石垣は膨出している。

川越の原風景が照葉樹林帯の中にあることから市内全域で人々の生活と密着してきたシラカシ、その中で威容を放つ当シラカシは「川越市の木」のシンボルとしての位置付けは意義深い。



○砂氷川神社のイヌツゲ（記念物・天然記念物 平成25年3月25日指定）

砂氷川神社境内の南西端にあるイヌツゲは、樹高5m、根回り9.12m～11.22mである。根元から3本株立ちしている幹周りは、それぞれ104cm・85cm・104cmである。枝張りは、外周25.28m。樹齢は、幹周りが104cmであることから当社創建時の延享元年（1744）頃から存在したと考えられ、270年程度と推定される。樹勢は良好。

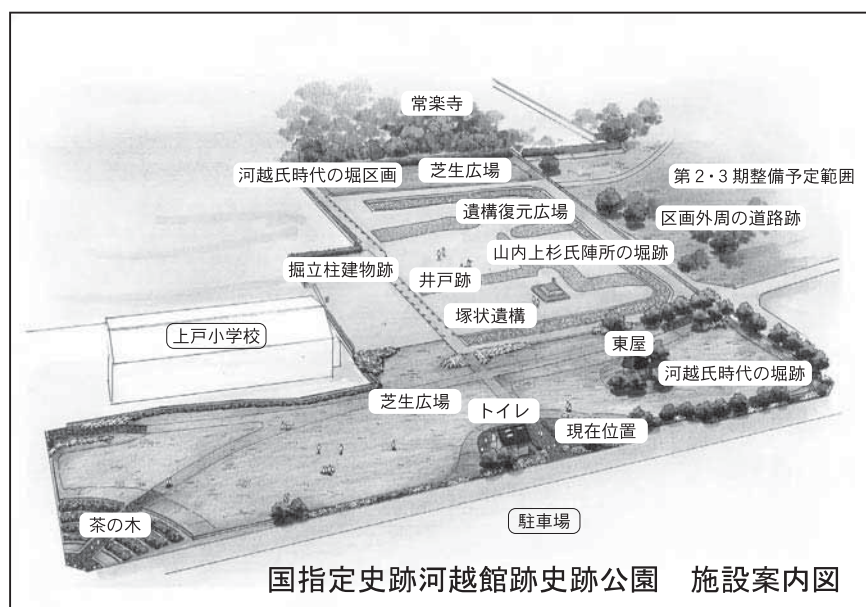
イヌツゲは、常緑の低木で、最大樹高で5m前後である。本州以南に自生するが、県内では通常樹高2～3mである。良く分枝し、雌雄異株である。一般に湿気のある土壌を好み、半日陰を好むが、成木では乾燥・寒さ・日照にも耐え萌芽力も強い。当社のイヌツゲは、際立つ大きさを誇り江戸期からの文化的伝承物としての価値が認められる。



国指定史跡「河越館跡」

河越館跡は、入間川の左岸、上戸地区の常楽寺を中心とした地域に位置し、その指定区域面積は、48,509.18㎡である。当館跡は、鎌倉～南北朝時代に武蔵国で有力な武士であった河越氏の館跡であり、昭和59年12月6日に国の史跡として指定を受けている。

館跡の整備を進めるにあたって、川越市は昭和61年に「史跡河越館跡保存管理基本計画」を策定。続いて、平成12年度には、「河越館跡整備基本計画」を策定した。現在は、これらの計画に沿って

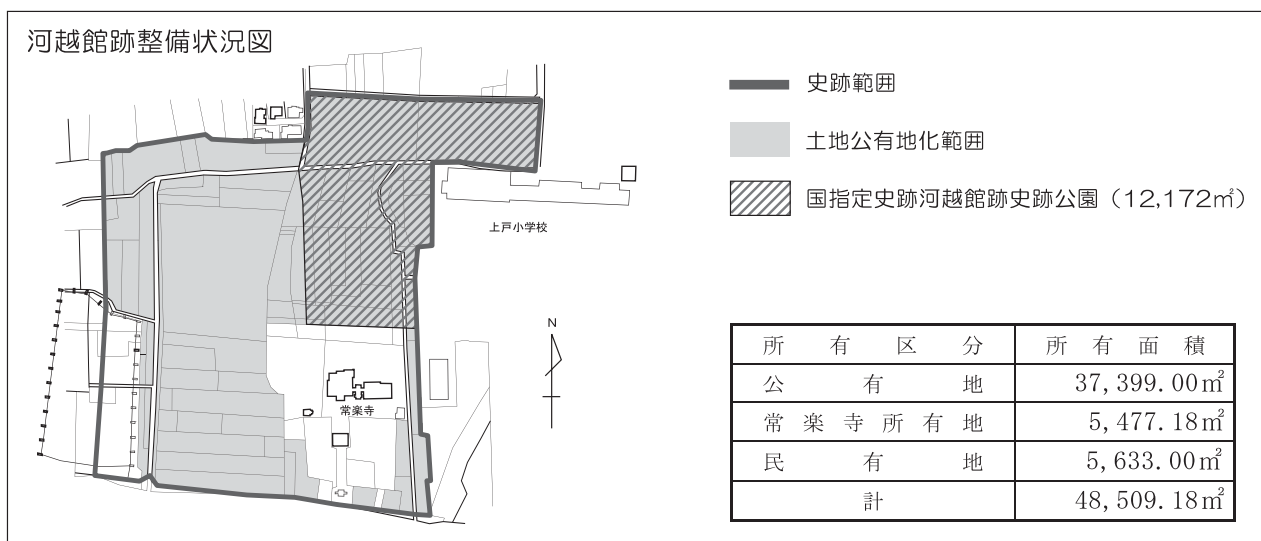


国指定史跡河越館跡史跡公園 施設案内図

史跡整備事業を行っている。

整備事業は、国・県の補助をうけ、土地の公有地化、遺跡確認発掘調査とその成果に基づく遺構・施設整備を実施している。土地は、公有地化予定面積の約93%（一部民有地を除く）を取得している。発掘調査は、今までに16回実施しており広大な史跡範囲を効率よく調査するため、学識経験者を中心とする調査指導委員会を設置して指導・助言を受けながら進めている。遺構・施設整備内容の検討は、歴史系だけでなく建築や造園など広い分野の研究者で構成している整備検討委員会によって進めており、平成17年度には「河越館跡史跡整備基本設計」を策定した。続いて、平成19年度には、遺構整備・施設整備についてより具体的に検討した「河越館跡（第1期）史跡整備実施設計」を策定した。なお、この「実施設計」を基本に河越館跡（第1期）史跡整備工事を平成19年度から平成21年度の3カ年で実施。平成21年11月15日「国指定史跡河越館跡史跡公園」として開園した。公園は、次世代に伝えるべき貴重な史跡である河越館跡の保存を図るとともに郷土学習の場、市民の憩いの場として有効な活用を目指すことを目的としている。また、「史跡の広場」「茶太郎広場」の2つにゾーニングされており、「史跡の広場」では、河越氏時代の遺構を中心に復元したものとなっている。一方、「茶太郎広場」は、中世の銘茶「河越茶」と深い関係があったと考えられる河越氏に因んで生まれた史跡公園のイメージキャラクター「河越茶太郎」が元気よく遊ぶ姿をイメージし名付けられた。広々とした芝生の中にある東屋とともに憩いの空間として利用でき、さまざまなお茶の木についても楽しめる広場である。

平成24年度は、史跡河越館跡の歴史的意義や文化的価値を広く理解してもらうための活用事業として「河越流鏑馬」や研修、学校への出前授業などを実施した。平成25年度では、活用事業を更に充実させていくとともに、23年度をもって完了した発掘調査の成果を精査、検討し第2期整備へ向けての準備を行う。



復元された堀



史跡公園の様子

市指定史跡「永島家住宅（旧武家屋敷）」

〔所在地〕 川越市三久保町5番3 〔敷地面積〕 1184.62㎡（市有地）

〔建物構造〕 木造平屋 〔建物面積〕 177.94㎡（市所有146.53㎡ 個人所有31.41㎡）

【概要】

永島家住宅は、川越城南大手門近くの侍町であった南久保町（現三久保町の一部）の一角に構えられた武家屋敷である。古文書や絵図資料から、その武家屋敷に住んでいた武士は、松平大和守家時代には250石から350石、最後の松平周防守家時代には110石の武士が住んでいたことがわかっている。また、特に御典医の居住が知られ、周防守家の石原昌廸は、30人ほどからなる藩医の筆頭の立場にあったことがわかっている。

明治時代には、石原家そのまま屋敷としていた。石原昌廸の二男・久は、東京帝大に進学しドイツ留学を経て帝大の口腔外科初代教授に就任している。久が留学する頃から永島家が屋敷を借りて住み始め、大正6年に石原氏から買い取っている。

【経緯】

平成

17年7月 永島家住宅の市買取り保存整備要望がオンブズマン会議に申し立てられる。

11月・12月 川越市文化財保護審議委員会が文化的な価値を判断するために調査。

18年3月27日 永島家住宅（旧武家屋敷）が市指定文化財になる。〔種別・史跡 面積1184.62㎡〕

21年6月 史跡の一部（302.46㎡）が永島氏より市に寄付される。

22年8月 東海大学情報デザイン工学部羽生研究室が建物調査。

9月 史跡の残地全部（882.16㎡）が永島氏から市に寄付される。

23年6月 「歴史まちづくり法」の「歴史的風致維持向上計画」の「重点区域における施策・事業」に位置付けられる。

7月 建物（全体の約8割、146.53㎡）が、永島氏から寄付される。合わせて残り約2割の建物を市が無償貸借することを契約する。

8月 第1回永島家住宅保存管理計画策定委員会

10月 第2回永島家住宅保存管理計画策定委員会

24年1月 第3回永島家住宅保存管理計画策定委員会

3月 第4回永島家住宅保存管理計画策定委員会

（永島家住宅保存管理計画書完成）

庭園の一般公開を開始する。



【平成24年度 見学者数】 毎月第3土曜日 9:00～16:00公開

公開月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
見学者数(人)	172	86	40	54	38	52	1,575	57	20	77	15	161	2,347

※10月21日(日)川越まつりに伴う特別公開、3月30日(土)春まつりに伴う特別公開の見学者数を含む。

◇資料 目次

○教育委員会事務局組織の改正	59
○委員会等一覧	60
○歴代教育委員会委員長	61
○歴代教育長	61
○歴代教育委員会委員	61
○事務局組織の主な事務と教育機関	62
○主な教育機関の組織と事務	63
○教育施設配置図	64
○市立学校一覧	65
○市立学校施設の現況	67
○児童生徒数と今後の推移	71
○小・中・特別支援学校職員の数	73
○高等学校教職員の数	73
○私立幼稚園一覧	74
○私立幼稚園数・園児数・学級数の推移	74

資 料 編

教育委員会事務局組織の改正

昭和27年11月	教育委員会事務局設置、総務課、学校教育課、社会教育課		
昭和33年 5 月	係の新設		
	総 務 課……	庶務係、経理係	
	学校教育課……	学務係、指導係	
	社会教育課……	社会教育係、社会体育係	
昭和38年10月	保健体育課の新設		
	総 務 課……	庶務係、管理係	
	学校教育課……	学務係、指導係	
	社会教育課……	社会教育係、社会体育係	
	保健体育課……	保健係、体育係	
昭和43年11月	学校給食企画課の新設		
	学校給食企画課……	調査企画係	
昭和44年 8 月	学校給食センターの設置		
	学校給食企画課の廃止		
昭和49年 7 月	社会教育課に 2 係新設		
	社会教育課……	同和教育係、文化財係	
昭和52年 8 月	学校給食課の新設		
	学校給食課……	庶務係、管理係	
昭和56年 8 月	総務課に 1 係新設		
	総 務 課……	施設係	
昭和58年 4 月	教育次長 2 人制となる		
平成元年 7 月	2 部 5 課12係となる		
	管 理 部……	総 務 課	庶務係、企画調整係
		教育財務課	管理係、財務係
	指 導 部……	学校教育課	学務係、指導係
		社会教育課	社会教育係、同和教育係、文化財係
		保健体育課	保健係、体育係、給食係
平成 6 年 4 月	2 部 6 課15係となる		
	管 理 部……	教育総務課	総務係、企画調整係
		教育財務課	管理係、財務係、学童保育係
		保健体育課	保健係、社会体育係、給食係
	指 導 部……	学校教育課	学務係、指導係
		生涯学習課	生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係
		文化財保護課	管理係、調査係
平成 9 年 4 月	保健体育課給食係を第一学校給食センターへ移す（管理係として）		
	2 部 6 課14係となる		
平成11年 4 月	2 部 7 課17係となる		
	生涯学習部……	教育総務課	総務係、企画調整係
		教育財務課	管理係、財務係、学童保育係
		生涯学習課	生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係
		市民スポーツ課	スポーツ振興係、国体準備担当
		文化財保護課	管理係、伝建地区担当、調査係
	学校教育部……	学校管理課	学務係、教職員係
		教育指導課	指導係、保健係

平成13年 4 月	生涯学習部に国体推進室を新設 生涯学習部……国体推進室 国体推進担当
平成15年 4 月	生涯学習課に高階地区公共施設整備担当を新設、同和教育係を人権教育係とする 国体推進室の廃止
平成16年 4 月	生涯学習部に高階公共施設整備推進室を新設 生涯学習部……高階地区公共施設整備推進室 高階地区公共施設整備推進担当
平成18年 4 月	学校教育部に学校給食課を新設 学校教育部……学校給食課 管理係、学校給食費係
平成19年 4 月	生涯学習部を教育総務部に名称変更 係制を廃止し、グループ制を導入
平成20年 4 月	高階地区公共施設整備推進室の廃止
平成22年 4 月	教育総務部に地域教育支援課を新設 教育総務部……地域教育支援課 地域教育支援担当、人権教育担当 旧生涯学習課の事務は地域教育支援課と市長部局の文化振興課へ移管、旧市民スポーツ課の事務は市長部局のスポーツ振興課へ移管
平成25年 4 月	教育指導課に生徒指導担当を新設、学校給食課に施設担当を新設

委員会等一覧

○川越市幼児教育振興審議会

委員…11人 任期…平成25年 7 月25日～平成27年 7 月24日

○川越市就学支援委員会

委員…25人 任期…平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日

○川越市社会教育委員協議会

委員…21人 任期…平成23年10月 1 日～平成25年 9 月30日

○川越市人権教育推進協議会

委員…18人 任期…平成25年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日

○川越市小堤集会所運営委員会

委員… 9 人 任期…平成25年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日

○川越市公民館運営審議会

委員…23人 任期…平成25年 5 月22日～平成27年 5 月21日

○川越市コミュニティセンター運営審議会

委員…10人 任期…平成24年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日

○川越市文化財保護審議会

委員…12人 任期…平成25年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日

○川越市立博物館協議会

委員…15人 任期…平成24年 6 月 5 日～平成26年 6 月 4 日

○川越市立図書館協議会

委員…14人 任期…平成25年 1 月17日～平成27年 1 月16日

○川越市立学校給食センター運営委員会

委員…15人 任期…平成23年 9 月 1 日～平成25年 8 月31日

歴代教育委員会委員長

氏 名	就任年月日	退任年月日
岸 憲 夫	S 27. 10. 5	S 30. 4. 22
佐々木 文 蔵	S 30. 5. 1	S 31. 9. 30
竹 内 栄 吉	S 1310. 1	S 39. 9. 30
橋 村 尚 中	S 9310. 1	S 40. 8. 13
水 村 三 郎	S 04 8. 13	S 42. 11. 30
内 田 秀 夫	S 2412. 1	S 44. 11. 30
佐々木 文 蔵	S 44. 12. 1	S 45. 10. 12
内 田 秀 夫	S 5411. 9	S 49. 4. 2
鈴 木 咸	S 49. 4. 3	S 49. 12. 20
鈴 木 咸	S 49. 12. 25	S 51. 4. 7
水 村 三 郎	S 15 4. 8	S 62. 1. 15
関 本 定 雄	S 26 1. 16	H 8. 7. 27
采 澤 好 子	H 8. 10. 4	H 10. 10. 3
佐久間 勇 次	H 10. 10. 4	H 12. 9. 30
齊 藤 信 子	H 2110. 10	H 18. 12. 27
伊 藤 幾 造	H 91 1. 5	H 21. 3. 31
星 野 明 徳	H 12 4. 1	H 25. 3. 31
梶 川 牧 子	H 52 4. 1	

歴代教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日
江 原 四 郎	S 7211. 1	S 32. 9. 30
大 塚 仁之助	S 32. 10. 1	S 35. 9. 30
斎 藤 芳 一	S 5310. 1	S 51. 9. 30
斎 藤 芳 一	S 1510. 15	S 55. 10. 5
村 田 和 男	S 65 4. 1	H 7. 3. 31
大久原 秀 雄	H 7. 4. 1	H 13. 3. 31
星 野 明 徳	H 31 4. 1	H 17. 3. 31
山 浦 秀 男	H 71 4. 1	H 21. 3. 31
新 井 孝 次	H 12 4. 1	H 25. 3. 31
伊 藤 明	H 25. 4. 1	

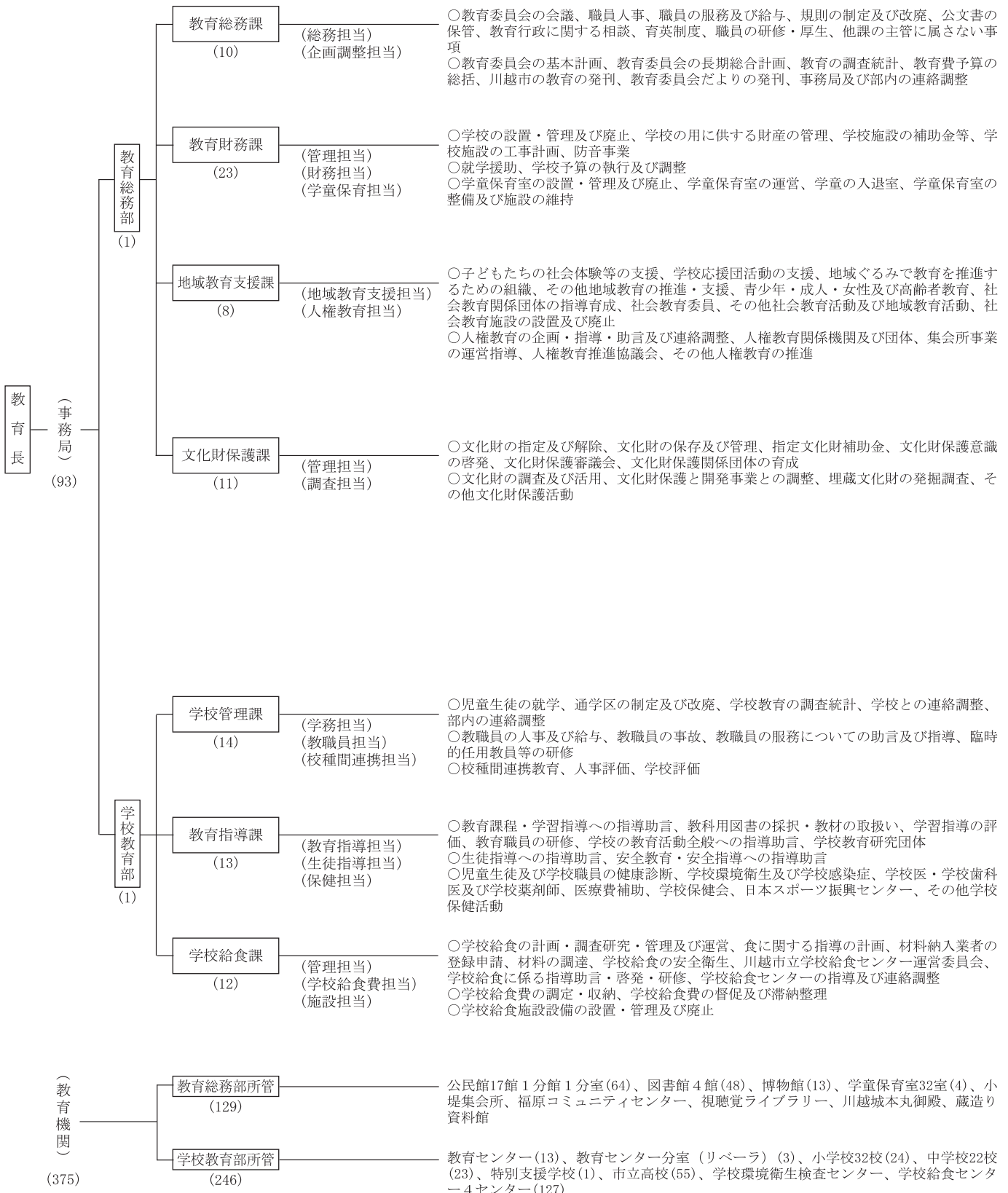
歴代教育委員会委員

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
岸 憲夫	S 27. 10. 5	S 30. 4. 22	
佐々木文蔵	S 27. 10. 5	S 31. 9. 30	
橋本 正代	S 27. 10. 5	S 31. 9. 30	
青山 四郎	S 27. 10. 5	S 31. 9. 30	
西川 卯八	S 27. 10. 28	S 29. 7. 1	議会選出
佐藤仲治郎	S 29. 7. 2	S 30. 4. 3	議会選出
須賀喜久治	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	市町村合併による
浜野 真平	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
新井 茂重	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
松本 正夫	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
石川 定彦	S 30. 4. 1	S 31. 7. 14	〃
長谷 嶺宗	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
戸田 松雄	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
小林玉之助	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
加藤源四郎	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
岸野們太郎	S 30. 5. 19	S 31. 5. 28	議会選出
金子 良雄	S 31. 5. 28	S 31. 9. 30	議会選出
竹内 栄吉	S 31. 10. 1	S 39. 9. 30	
仲 篤司	S 31. 10. 1	S 34. 9. 30	
橋村 尚中	S 31. 10. 1	S 40. 8. 13	
粕谷 武蔵	S 31. 10. 1	S 32. 9. 30	
粕谷 武蔵	S 32. 11. 9	S 36. 11. 8	
大塚仁之助	S 31. 10. 1	S 35. 9. 30	教育長
斎藤 芳一	S 35. 10. 1	S 51. 9. 30	教育長
内田 秀夫	S 38. 7. 8	S 50. 7. 7	
関口道之助	S 39. 12. 24	S 47. 12. 23	
水村 三郎	S 40. 4. 1	H 5. 3. 31	
佐々木文蔵	S 41. 4. 7	S 45. 10. 12	
鈴木 咸	S 45. 12. 21	S 49. 12. 20	
岩田 正	S 47. 12. 28	S 55. 12. 27	

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
鈴木 咸	S 49. 12. 25	S 51. 4. 7	
関本 定雄	S 50. 12. 25	S 54. 12. 24	
斎藤 芳一	S 51. 10. 6	S 55. 10. 5	教育長
田中 賢司	S 52. 12. 24	S 53. 12. 24	
田中 賢司	S 53. 12. 27	H 6. 12. 26	
関本 定雄	S 55. 7. 28	H 8. 7. 27	
岩田 正	S 56. 4. 1	H 8. 6. 19	
村田 和男	S 56. 4. 1	H 7. 3. 31	教育長
大久原秀雄	H 5. 4. 1	H 13. 3. 31	教育長
采澤 好子	H 6. 12. 27	H 10. 12. 26	
岡安 道夫	H 7. 7. 1	H 9. 3. 31	
伊藤 幾造	H 8. 10. 1	H 21. 3. 31	
佐久間勇次	H 8. 10. 1	H 12. 9. 30	
奥村 順一	H 9. 4. 1	H 13. 3. 31	
齊藤 信子	H 10. 12. 28	H 18. 12. 27	
長澤 仁志	H 12. 10. 1	H 16. 9. 30	
長澤 仁志	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31	
深井 英男	H 13. 4. 1	H 17. 3. 31	
星野 明徳	H 13. 4. 1	H 17. 3. 31	教育長
白倉喜美枝	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31	
山浦 秀男	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31	教育長
相馬 實	H 18. 12. 28	H 22. 12. 27	
星野 明徳	H 21. 4. 1	H 25. 3. 31	
長谷川 均	H 21. 4. 1		
後藤 佳子	H 21. 4. 1	H 25. 3. 31	
新井 孝次	H 21. 4. 1	H 25. 3. 31	教育長
梶川 牧子	H 22. 12. 28		
原田 由美	H 25. 4. 1		
長井 良憲	H 25. 4. 1		
伊藤 明	H 25. 4. 1		教育長

事務局組織の主な事務と教育機関

() 内は平成25年4月1日現在の職員数

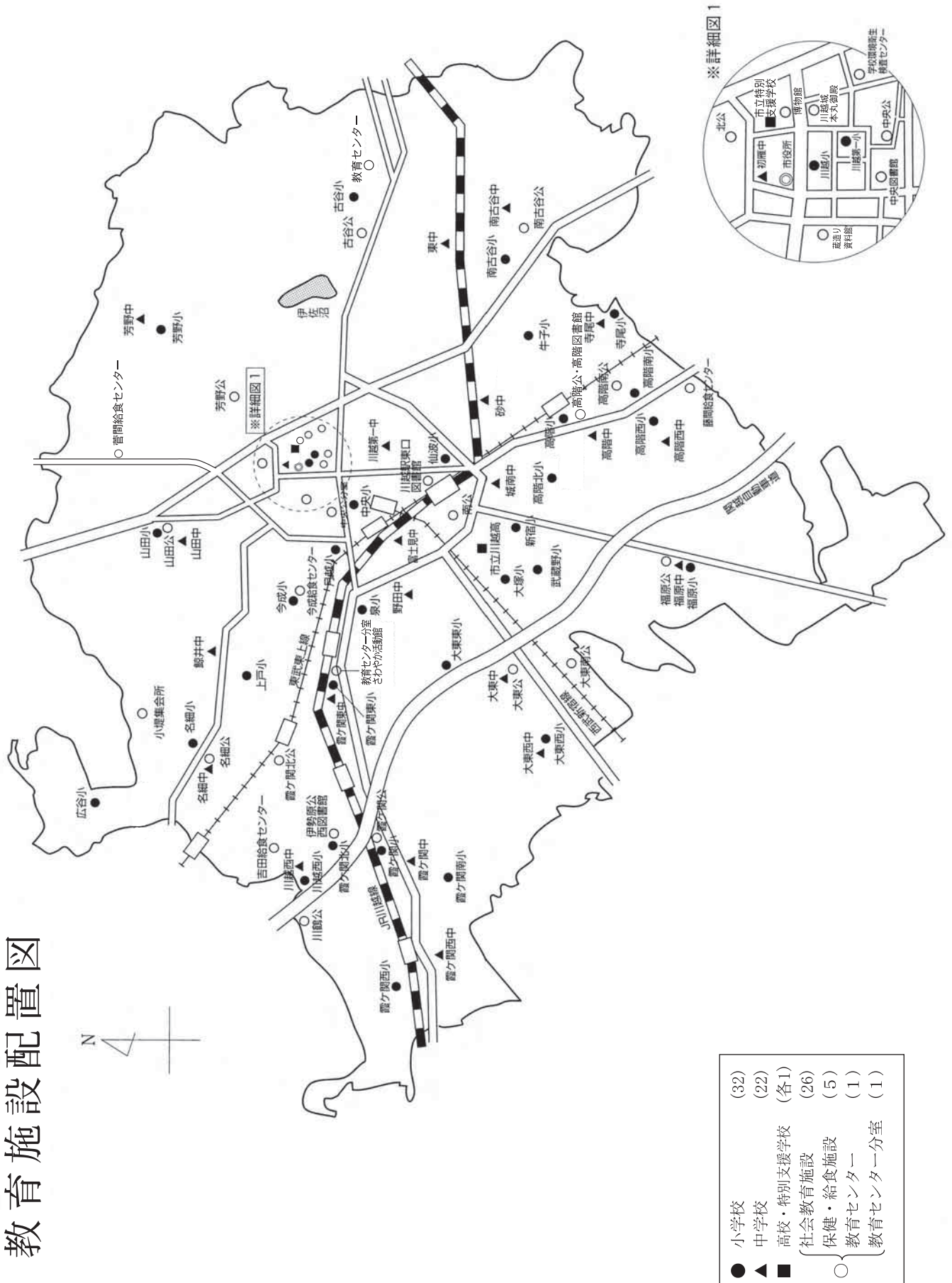


主な教育機関の組織と事務

() 内は平成25年4月1日現在の職員数



教育施設配置図



市立学校一覧

小学校

(平成25.5.1現在)

学 校 名	校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数			開 校 年	所 在 地	電 話
			校長教員	養護	事務			
川越第一	金子正樹	新家子直之	23	1	1	明治6年	郭町1-21	222-0308
川越	小池幸	金井進	26	1	1	明治6年	郭町1-1-1	222-0309
中央	加藤伸二	小金井幸則	21	1	1	明治7年	中原町1-25	222-0310
仙波	平野秀昭	吉田哲夫	27	1	1	明治27年	富士見町4-1	222-0195
武蔵野	鶴野一郎	天宮弘	24	1	1	昭和45年	むさし野14-1	242-1394
新宿	平岡健	武井澄江	22	1	1	昭和57年	新宿町6-9-1	246-4227
大塚	浅見一広	細沼良行	21	1	1	昭和51年	大塚2-10-1	245-2929
泉	須田亮	平岩俊哉	21	1	1	明治7年	小室463	242-3119
月越	大久根正	中村美紀	18	1	1	昭和34年	月吉町51	222-2261
今成	齋藤清隆	森田惠	16	1	1	昭和49年	今成2-42-1	224-3534
芳野	関根廣紀	大野晴代	16	1	1	明治6年	鴨田331	222-1264
古谷	山口勝彦	島田正人	21	1	1	明治7年	古谷上5465	235-0193
南古谷	谷川輝之	生駒義郎	35	2	2	明治6年	木野目1451	235-2150
牛子	山上泉	井口修一	27	1	1	昭和52年	牛子418	245-6702
高階	田中巖	関根甲子	25	1	1	大正12年	砂新田58	242-0689
高階南	宮崎宣男	斉藤伸之	20	1	1	昭和45年	諏訪町12-3	242-7566
高階北	浅見由利子	久津間明	29	1	1	昭和48年	砂新田1-16-1	244-0988
高階西	磯田祥史	高橋史和	18	1	1	昭和49年	藤間1102	243-6042
寺尾	松本英之	山田勇	18	1	1	昭和53年	寺尾979-2	245-9555
福原	吉田宏	大山雅久	29	1	1	明治7年	今福508	243-4036
大東東	小林三千雄	新井啓太郎	24	1	1	明治6年	豊田本1162	243-3105
大東西	小谷彰範	水戸部匡	23	1	1	明治7年	山城32-5	243-3910
霞ヶ関	山田直樹	勇達也	26	1	1	明治6年	笠幡177	231-1303
霞ヶ関南	石野道子	村上重仁	13	1	1	昭和49年	かすみ野1-1-4	232-0395
霞ヶ関北	吉田一彦	増尾政明	22	1	1	昭和44年	伊勢原町5-1-1	231-1968
霞ヶ関東	山口武士	小島仁	16	1	1	昭和50年	的場2735-2	232-4871
霞ヶ関西	太田康子	宮島幸夫	23	1	1	昭和53年	笠幡3971-4	232-8500
川越西	新井弘	栗田友季子	17	1	1	昭和58年	川鶴1-5	231-0181
名細	齋藤薫	伊藤真	23	1	1	明治7年	小堤214	231-2216
上戸	宮崎洋子	馬橋泰雄	19	1	1	昭和51年	上戸390-1	232-7200
広谷	宮崎厚	野崎正行	16	1	1	昭和56年	下広谷558-1	233-3941
山田	神谷内守	藤田貴訓	25	1	1	明治8年	山田167	222-2042
計	32校		704	33	33			

※教職員数は教職員定数を表す。

中 学 校

(平成25. 5. 1現在)

学 校 名	校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数			開 校 年	所 在 地	電 話
			校長教員	養護	事務			
川越第一	猪 鼻 幸 正	伊 藤 博	27	1	1	昭和22年	小仙波町5－6	222－1204
初 雁	中 島 明 男	田 中 孝	27	1	1	昭和22年	宮下町1－21－3	222－0749
富 士 見	吉 野 榮	吉 田 剛	21	1	1	昭和24年	東田町17－1	242－0931
野 田	田 中 潔	長 澤 和 明	17	1	1	昭和57年	野田町2－19－14	246－8484
城 南	岩 沢 庸 夫	齋 木 眞 一	27	1	1	昭和22年	新宿町3－19－1	242－0978
芳 野	小 熊 利 明	藤 下 純 二	12	1	1	昭和22年	石田本郷733	222－1265
東	矢 嶋 充 夫	勢 昌 章	20	1	1	昭和36年	小中居278	235－2731
南 古 谷	高 柳 栄	梶 田 英 司	18	1	1	昭和58年	久下戸3721	235－2664
高 階	嶋 津 文 行	小 杉 功 吉	28	1	1	昭和22年	藤間10	242－1010
高 階 西	駒 井 忠 幸	江 原 勝 義	17	1	1	昭和60年	砂新田2593	244－6741
寺 尾	駒 井 勇	長 田 茂 樹	23	1	1	昭和52年	寺尾1068	245－6701
砂	内 藤 隆	山 下 豊	20	1	1	昭和56年	砂260	242－6588
福 原	小 林 一 康	中 村 健 二	17	1	1	昭和22年	今福512	243－4140
大 東	疋 田 正 典	神 田 郁 夫	23	1	1	昭和22年	南大塚1－20－1	243－3738
大 東 西	飯 嶋 晴 美	大 野 光 男	17	1	1	昭和62年	大袋新田391	246－7166
霞ヶ関	江 崎 貞 二	福 島 一	23	1	1	昭和22年	笠幡72	231－1302
霞ヶ関東	日出間 均	堤 貴 幸	19	1	1	昭和52年	的場2706	232－4606
霞ヶ関西	和 栗 智 巳	横 内 治	18	1	1	昭和58年	笠幡3464－3	231－0188
川 越 西	小 野 勝 弘	齊 藤 正 巳	17	1	1	昭和58年	川鶴1－1	231－0641
名 細	中 野 浩 義	石 井 伸 明	22	1	1	昭和22年	小堤14	231－2213
鯨 井	本 郷 順	原 島 洋 司	12	1	1	昭和55年	鯨井562－2	231－0255
山 田	文 屋 芳 浩	勝 田 茂 雄	17	1	1	昭和22年	山田550	222－2043
計	22校		442	22	22			

特 別 支 援 学 校

市立特別支援学校 (高等部)	関 根 康 弘	吉 野 和 仁	21	1	2	昭和39年	宮下町1－19－1	222－2753
-------------------	---------	---------	----	---	---	-------	-----------	----------

高 等 学 校

市立川越高校	安 食 邦 明	中 村 光 一	48	1	7	大正15年	旭町2－3－7	243－0800
--------	---------	---------	----	---	---	-------	---------	----------

市立学校施設の現況

小 学 校

学 校 名	校 舎 保 有 面 積				
	鉄 筋 コンクリート造	鉄骨その他造 (鉄筋コンクリート造換算)	木 造 (鉄筋コンクリート造換算)	計	1人当たり 校舎面積
川 越 第 一	5,143	126		5,269	8.4
川 越	8,088	41		8,129	12.5
中 央	5,030	48		5,078	10.9
仙 波	7,356			7,356	9.3
武 蔵 野	6,088	116		6,204	8.9
新 宿	5,434	105		5,539	8.5
大 塚	5,075	109		5,184	11.8
泉	4,895	81		4,976	9.8
月 越	6,396	38		6,434	17.6
今 成	4,069	223		4,292	11.2
芳 野	3,699	144		3,843	11.5
古 谷	4,859	92	70	5,021	9.5
南 古 谷	5,145	134		5,279	5.6
牛 子	5,437	78		5,515	7.2
高 階	6,639	131		6,770	10.3
高 階 南	5,383	146	26	5,555	12.7
高 階 北	5,375	143		5,518	7.5
高 階 西	5,169	179		5,348	11.5
寺 尾	6,054	103		6,157	14.0
福 原	7,146	94		7,240	9.0
大 東 東	4,487	173	20	4,680	7.1
大 東 西	4,529	489	20	5,038	7.6
霞 ケ 関	7,012	106		7,118	10.5
霞 ケ 関 南	4,544	250		4,794	19.8
霞 ケ 関 北	8,219	88		8,307	14.0
霞 ケ 関 東	4,653	93		4,746	14.6
霞 ケ 関 西	5,347	148		5,495	10.7
川 越 西	6,398	110		6,508	14.6
名 細	6,153	81		6,234	11.9
上 戸	5,137	124		5,261	10.9
広 谷	5,762	124		5,886	16.5
山 田	5,321	162		5,483	8.3
計	180,042	4,079	136	184,257	10.3

(平成25. 5. 1現在/単位：㎡)

屋 内 運 動 場		校 地 保 有 面 積				
鉄 骨 その他造 (体育館用 トイレを含む)	1人当たり 屋内運動場 面 積	建 物 敷 地	屋外運動場	1人当たり 屋外運動場 面 積	計	1人当たり 校地面積
809	1. 3	5, 375	(135) 10, 152	16. 2	(135) 15, 527	24. 8
788	1. 2	9, 708	4, 136	6. 4	13, 844	21. 4
808	1. 7	6, 483	4, 463	9. 6	10, 946	23. 5
809	1. 0	6, 502	6, 387	8. 0	12, 889	16. 2
809	1. 2	6, 565	9, 848	14. 1	16, 413	23. 4
1, 053	1. 6	(903) 5, 758	(1, 583) 6, 338	9. 8	(2, 486) 12, 096	18. 7
859	2. 0	5, 775	6, 034	13. 7	11, 809	26. 8
1, 022	2. 0	(881) 5, 483	5, 863	11. 6	(881) 11, 346	22. 4
804	2. 2	11, 047	7, 044	19. 3	18, 091	49. 6
883	2. 3	4, 633	8, 322	21. 7	12, 955	33. 7
829	2. 5	4, 697	14, 036	41. 9	18, 733	55. 9
805	1. 5	8, 959	9, 275	17. 6	18, 234	34. 5
793	0. 8	5, 560	7, 864	8. 3	13, 424	14. 2
819	1. 1	6, 293	7, 444	9. 7	13, 737	18. 0
813	1. 2	8, 325	8, 584	13. 0	16, 909	25. 6
792	1. 8	6, 952	8, 010	18. 3	14, 962	34. 2
800	1. 1	5, 177	(7, 521) 7, 521	10. 2	(7, 521) 12, 698	17. 2
883	1. 9	6, 085	9, 394	20. 1	15, 479	33. 1
793	1. 8	5, 028	6, 693	15. 2	11, 721	26. 6
800	1. 0	8, 655	8, 293	10. 3	16, 948	21. 0
883	1. 3	5, 154	6, 543	9. 9	11, 697	17. 7
803	1. 2	6, 000	8, 519	12. 8	14, 519	21. 8
841	1. 2	10, 552	8, 140	12. 0	18, 692	27. 5
738	3. 0	7, 947	7, 380	30. 5	15, 327	63. 3
1, 442	2. 4	14, 211	9, 850	16. 6	24, 061	40. 6
839	2. 6	5, 770	7, 944	24. 5	13, 714	42. 3
803	1. 6	(968) 5, 833	7, 432	14. 5	(968) 13, 265	25. 9
1, 053	2. 4	9, 821	12, 539	28. 1	22, 360	50. 0
813	1. 6	8, 775	10, 669	20. 4	19, 444	37. 2
793	1. 6	3, 982	10, 313	21. 4	14, 295	29. 6
966	2. 7	7, 160	6, 798	19. 0	13, 958	39. 1
1, 056	1. 6	6, 790	12, 995	19. 6	19, 785	29. 8
27, 801	1. 6	(2, 752) 225, 055	(9, 239) 264, 823	14. 8	(11, 991) 489, 878	27. 4

() 内は借用分・内数

中 学 校

学 校 名	校 舎 保 有 面 積				
	鉄 筋 コンクリート造	鉄骨その他造 (鉄筋コンクリート造換算)	木 造 (鉄筋コンクリート造換算)	計	1人当たり 校 舎 面 積
川 越 第 一	5,408	459		5,867	9.4
初 雁	6,717	144	50	6,911	13.0
富 士 見	5,425	239		5,664	15.9
野 田	6,245	436		6,681	24.5
城 南	5,589	451		6,040	9.9
芳 野	4,057	186		4,243	23.6
東	5,597	472		6,069	15.7
南 古 谷	5,883	423		6,306	17.0
高 階	6,014	47		6,061	12.3
高 階 西	5,381	409		5,790	19.0
寺 尾	6,269	118		6,387	15.2
砂	7,020	580		7,600	18.4
福 原	5,667	399		6,066	17.8
大 東	6,680	350		7,030	13.8
大 東 西	6,155	109		6,264	19.2
霞 ケ 関	4,453	658		5,111	12.1
霞 ケ 関 東	5,537	159		5,696	15.3
霞 ケ 関 西	7,443	113		7,556	27.1
川 越 西	6,252	423		6,675	19.0
名 細	5,547	396		5,943	15.7
鯨 井	4,614	90		4,704	25.2
山 田	4,555	444		4,999	16.0
計	126,508	7,105	50	133,663	15.8

特別支援学校

市立特別支援学校	1,372	413		1,785	38.0
----------	-------	-----	--	-------	------

高等学校

市立川越高校	(鉄骨換算) 17,383			17,383	20.3
--------	------------------	--	--	--------	------

(平成25.5.1現在/単位：㎡)

屋 内 運 動 場		校 地 保 有 面 積				
鉄 骨 その他造 (体育館用 トイレを含む)	1人当たり 屋内運動場 面 積	建 物 敷 地	屋外運動場	1人当たり 屋外運動場 面 積	計	1人当たり 校地面積
766	1.2	(800) 10,178	(489) 10,203	16.3	(1,289) 20,381	32.6
1,320	2.5	6,064	19,826	37.3	25,890	48.8
789	2.2	8,347	(1,391) 16,355	45.8	(1,391) 24,702	69.2
1,455	5.3	12,815	15,961	58.5	28,776	105.4
794	1.3	6,800	(9,898) 16,738	27.3	(9,898) 23,538	38.4
810	4.5	5,052	8,462	47.0	13,514	75.1
813	2.1	8,832	12,585	32.5	21,417	55.3
1,449	3.9	11,420	17,208	46.5	28,628	77.4
793	1.6	7,056	10,129	20.5	17,185	34.9
1,435	4.7	(3,204) 9,275	(1,836) 20,003	65.8	(5,040) 29,278	96.3
794	1.9	5,621	14,166	33.7	19,787	47.1
909	2.2	10,682	20,531	49.7	31,213	75.6
804	2.4	8,804	(3,599) 16,401	48.1	(3,599) 25,205	73.9
813	1.6	10,239	15,177	29.9	25,416	50.0
1,436	4.4	10,657	13,033	39.9	23,690	72.4
817	1.9	6,838	16,177	38.2	23,015	54.3
809	2.2	6,749	14,162	38.0	20,911	56.1
1,409	5.1	(1,073) 13,366	(3,167) 13,859	49.7	(4,240) 27,225	97.6
1,453	4.1	10,928	15,200	43.2	26,128	74.2
818	2.2	7,420	12,783	33.8	20,203	53.4
910	4.9	9,263	13,102	70.1	22,365	119.6
789	2.5	4,589	18,135	58.1	22,724	72.8
22,185	2.6	(5,077) 190,995	(20,380) 330,196	39.1	(25,457) 521,191	61.7

		1,160	2,000	42.6	3,160	67.2
--	--	-------	-------	------	-------	------

3,836	4.5	13,612	27,437	32.1	41,049	48.0
-------	-----	--------	--------	------	--------	------

() 内は借用分・内数

児童生徒数と今後の推移

小学校

(平成25.5.1現在)

学 校 名	平成25年度					平成26年度以降の児童数の推移		
	児 童 数	学 級 数	特別支援学級 児 童 数	特別支援 学 級 数	合 計 児 童 数	26年度	27年度	28年度
川 越 第 一	626	19			626	626	626	639
川 越	630	19	18	3	648	643	627	616
中 央	452	15	14	3	466	466	465	463
仙 波	794	24			794	783	802	806
武 蔵 野	700	21			700	677	671	655
新 宿	648	18			648	650	646	651
大 塚	420	13	20	4	440	441	436	446
泉	506	17			506	515	503	505
月 越	354	12	11	2	365	348	333	334
今 成	384	12			384	384	378	371
芳 野	335	12			335	335	359	371
古 谷	528	17			528	545	543	549
南 古 谷	930	28	14	2	944	975	968	955
牛 子	765	23			765	782	767	728
高 階	650	19	10	2	660	652	652	669
高 階 南	429	14	9	2	438	407	400	434
高 階 北	712	21	25	4	737	703	654	628
高 階 西	467	14			467	458	457	467
寺 尾	440	14			440	442	459	452
福 原	807	24			807	841	847	876
大 東 東	659	21			659	664	674	684
大 東 西	665	19			665	667	682	675
霞 ケ 関	664	19	16	3	680	706	716	765
霞ケ関南	239	9	3	1	242	221	203	210
霞ケ関北	593	18			593	571	538	494
霞ケ関東	324	12			324	312	300	291
霞ケ関西	507	17	5	2	512	533	572	596
川 越 西	447	14			447	418	385	342
名 細	500	16	23	4	523	562	586	650
上 戸	483	16			483	482	486	507
広 谷	357	12			357	366	381	396
山 田	653	19	11	2	664	663	669	680
計 32 校	17,668	548	179	34	17,847	17,838	17,785	17,905

※特別支援学級児童数・同学級数は、その左の児童数・学級数には含まれていない。

		平成25年度					平成26年度以降の児童数の推移		
		児童数	学級数	特別支援学級 児童数	特別支援 学級数	合計 児童数	26年度	27年度	28年度
学年別	1年	2,997	101	24		3,021	2,994	3,040	3,072
	2年	2,789	94	31		2,820	3,021	2,994	3,040
	3年	2,932	88	26		2,958	2,820	3,021	2,994
	4年	2,929	85	23		2,952	2,958	2,820	3,021
	5年	3,055	92	38		3,093	2,952	2,958	2,820
	6年	2,966	88	37		3,003	3,093	2,952	2,958

中学校

(平成25.5.1現在)

学 校 名		平成25年度					平成26年度以降の生徒数の推移		
		生徒数	学級数	特別支援学級 生徒数	特別支援 学級数	合計 生徒数	26年度	27年度	28年度
川越第一		626	17			626	607	636	641
初雁		515	15	16	3	531	513	506	520
富士見		340	9	17	3	357	380	398	389
野田		273	9			273	285	290	308
城南		613	17			613	627	625	627
芳野		180	6			180	172	170	173
東		384	11	3	1	387	419	414	409
南古谷		370	11			370	386	395	434
高階		468	14	25	4	493	449	448	438
高階西		304	9			304	285	278	259
寺尾		415	12	5	2	420	446	448	431
砂		413	12			413	456	498	561
福原		341	10			341	400	467	516
大東		508	15			508	536	590	629
大東西		327	9			327	327	327	333
霞ヶ関		414	12	10	2	424	448	510	535
霞ヶ関東		373	11			373	353	333	329
霞ヶ関西		273	9	6	1	279	293	296	315
川越西		352	10			352	311	279	249
名細		368	12	10	2	378	394	421	458
鯨井		187	6			187	215	236	252
山田		312	9			312	324	353	364
計	22校	8,356	245	92	18	8,448	8,626	8,918	9,170
学年別	1年	2,711	84	27		2,738	3,043	3,137	2,990
	2年	2,812	81	33		2,845	2,738	3,043	3,137
	3年	2,833	80	32		2,865	2,845	2,738	3,043

※特別支援学級生徒数・同学級数は、その左の生徒数・学級数には含まれていない。

特別支援学校・高等学校

(平成25.5.1現在)

学 校 名	1年	2年	3年	合計生徒数
市立特別支援学校	16 (2)	15 (2)	16 (2)	47 (6)
市立川越高校	287 (8)	291 (8)	277 (8)	855 (24)

() 内は学級数

小・中・特別支援学校教職員の数

(平成25. 5. 1現在)

区 分	校 長		教 頭		主幹教諭		教諭・助教諭		養護教諭・ 養護助教諭	栄養教諭・学校栄養職員		事務職員		用務員		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小 学 校	28	4	27	5	4	1	254	475	32	1	6	6	30	12	10	332	563
中 学 校	22	0	22	0	6	0	252	210	23	1	2	8	15	16	5	327	255
小 計	50	4	49	5	10	1	506	685	55	2	8	14	45	28	15	659	818
特別支援学校	1	0	1	0	0	0	9	10	1	0	0	2	0	0	1	13	12
合 計	51	4	50	5	10	1	515	695	56	2	8	16	45	28	16	672	830
男 女 計	55		55		11		1, 210		56	10		61		44		1, 502	

※兼務者数を除く。

※学校基本調査による。

高等学校教職員の数

(平成25. 5. 1現在)

校 長	教 頭	教 諭		非常勤講師		養護教諭	事務長	事務職員		用務員		計		
男	男	男	女	男	女	女	男	男	女	男	女	男	女	計
1	1	35	11	3	7	1	1	4	2	3	0	48	21	69

※再任用教諭を除く。

私立幼稚園一覧

(平成25. 5. 1現在)

園名	区分	所在地	電話	園名	区分	所在地	電話
初雁幼稚園		大手町-8	222-5385	かすみ幼稚園		安比奈新田6-1	231-0805
川越幼稚園		中原町-5-6	222-5139	新河岸幼稚園		砂 65-2	242-5161
ひつじ幼稚園		仙波町-36-1	222-1743	川越あさひ幼稚園		旭町3-20-6	242-6732
川越双葉幼稚園		幸町5-11	227-5258	川越ひばり幼稚園		寺山466-1	226-0115
ひまわり幼稚園		三久保町16-6	222-2492	岡田幼稚園		古谷 440 5	235-0345
あそか幼稚園		小仙波町5-4-2	222-1671	のぞみ幼稚園		笠幡 764	234-5686
ルンビニ幼稚園		宮元町1-14	222-2538	南双葉幼稚園		むさし野-6	243-1021
高階幼稚園		砂新田-4-1	242-2259	川越白ゆり幼稚園		上戸189-9	232-1121
日の丸幼稚園		新宿町-23-8	242-2041	あおば幼稚園		下新河岸-62	244-3010
霞ヶ関幼稚園		霞ヶ関北6-3-1	231-1777	ひまわり東幼稚園		郭町2-18-7	224-7950
ふじま幼稚園		熊野町31-10	242-7777	藤原白百合幼稚園		藤原町22-10	244-5221
ながさわ幼稚園		鴨田 856-2	223-2215	川越なかよし幼稚園		今福2721-3	243-4108
みよしの幼稚園		的場 1904-11	232-8870	第二ひつじ幼稚園		今成2-10-9	225-3208
東光幼稚園		藤間 126	242-3185	川越第二ひばり幼稚園		笠幡1600	232-2413
ふくはら幼稚園		今福 1780-5	243-4216	ひかりの子幼稚園		大袋新田181-1	245-9489
ひまわり南幼稚園		寿町1-2288	242-4382	川鶴ひばり幼稚園		川鶴3-10	233-2588

私立幼稚園数・園児数・学級数の推移

(平成24. 5. 1現在 平成24年度学校基本調査より)

年 度	園 数	園 児 数				学 級 数
		3 歳	4 歳	5 歳	計	
20	35	1,633	2,265	2,422	6,320	261
21	35	1,556	2,362	2,309	6,227	260
22	34	1,745	2,189	2,376	6,310	259
23	34	1,748	2,327	2,198	6,273	256
24	34	1,775	2,294	2,351	6,420	260

※園数は休園1園を含む。

※川島町の1園を含む。

川 越 市 の 教 育

平成25年 8 月

発 行 川 越 市 教 育 委 員 会

〒350-8601

埼玉県川越市元町1-3-1

TEL (049) 224-6074 (直通)



川越市マスコットキャラクター
ときも



古紙再生紙及び大豆油インクを使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。